滿洲日報

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

閘北の敵殲滅のため 空中から爆撃を開始
虹口一帶は完全に占據す

【上海特電三日發】右翼市川第○大隊の突撃部隊は零時半頃まで虹口一帶の敵を完全に撃滅したが、占據地區内各所に火災起り目下盛んに燃えつゝあり、敵の中央及び左翼に對しては午後二時半を期し空中から爆撃を開始したが之と同時に全線に亘つて突撃を開始し閘北一帶の敵を殲滅する筈で最初陸戰隊參謀部の決定せる作戰通り進行しつゝあり、尚今朝來の戰闘で我軍に戰死一名負傷二十一名を出した

【上海三日發】午前十一時第○大隊は警備第一線の鐵道線路を突破し右翼から進撃し野砲は射的場から掩護砲撃中敵は大膽にも本部西方の同濟路に迫撃砲を据えわが本部を目標に猛射してゐる更に敵は本部に逆襲せんとする模樣なのでわが軍は本部臨の土嚢中から機關銃で猛射を浴せ防戰中である

【上海特電三日發】敵の本據たる北停車場附近及び商務印書館其他閘北一帶に亘つて合計十二個の爆彈を投下し敵兵に機關銃を浴びせつゝ我水上機○機は午後三時五分悠々能登呂に向け歸還した、砲臺爆破に依つて同地附近にあつた支那兵約二千名は算を亂して潰走したが之が何處へ集結するかに就き我軍は警戒中なるが虹口苦力區に沿ふ一帶の敵兵を掃蕩したので市川第○大隊は前進を中止した

艦隊司令部發表

【上海三日發】午前十一時三十分第一遣外艦隊司令部發表＝閘北における淞滬鐵道以東邦人居住地區の保安上支那軍隊の閘北一帶よりの退去を必要と認め之が實現には兩軍の不幸なる衝突を避けるため極力外交々渉により努力したるも支那側に誠意なく却て攻撃に出でつゝあり、三日午前の如きは陸戰隊本部及び女學校に在るわが大隊本部には數十發の砲彈を送り現下の狀況は武力を以て支那軍隊を閘北一帶より退却せしむる行動に出づる外なきものと認め陸戰隊は敵の挑戰に應戰中、戰況の推移に依ては直に爆撃を行ふ事あるべし

けふ更に總攻撃
徹底的に敵を撃滅か

【上海三日發】本日の砲撃と爆撃で大いに敵の陣地に損害を與へた我軍は明朝を期し更に總攻撃を斷行し、退却した敵を徹底的に撃破する計畫で、更に砲撃爆撃の壯烈な場面が展開されるものと豫想されてゐる

爆撃に敵は全く沈默
北停車場方面敵陣地全滅

【上海三日發】能登呂の爆撃機四機は閘北一帶に總計十二個の爆彈投下し、**敵の砲撃の根據たる北停車場附近の敵陣地は迫撃砲陣地の一部を除く外全部粉碎**し終つた、一方陸上からは野砲機關銃を以て敵に猛撃を加へ午後三時敵は全く沈默敵が反撃せぬ限り今日の爆撃は中止の豫定と發表さる

【上海三日發】能登呂搭載の飛行機二機は本日午後二時半より三時迄敵陣地に盛に爆彈を投下し各所に火災起り黒煙濛々とあがりつゝある、これがため敵は全く沈默し無氣味な小康狀態となつた

海陸呼應し敵を猛撃

【上海三日發】今朝或任務を帶びて日本に向つたわが第○○驅逐隊が呉淞を通過の際同砲臺より砲撃を受けたので堀悌吉少將の率ゆる第○戰隊の巡洋艦由良、神通、阿武隈及び加藤隆義少將の率ゆる第○航空戰隊の加賀鳳翔の各機は敵の陣地を占據沈默せしむるため海と空から猛撃を開始した午後二時頃迄に目的を達し第○戰隊の特別陸戰隊を呉淞に上陸せしむる豫定である

ヴイを通過するや砲臺より砲撃小銃機關銃の射撃を受け直ちに反撃正午射撃止む、此間敵砲彈三十發、小銃機關銃彈無數に落下せるも、檣橋下に小銃彈一發命中せるのみ

二、我砲撃により午前十一時半呉淞臺中央の火藥庫爆發火災を起せり

第三戰隊も參加

【上海三日發】第三戰隊も呉淞砲臺砲撃に一時五十分參加した

頑强に抵抗

【上海三日發】我に砲撃を加へた呉淞砲臺は我の反撃にも拘はらず頑强に抵抗しつゝあるので十一時四十分偵察中の爆撃機○機及び巡洋艦も參加猛撃中である

堅壘呉淞砲臺
一擧にして烏有に歸す

【上海三日發】午前十一時我第二十六驅逐隊の一艇が呉淞通過中敵砲臺より砲撃を受けたゝめ我陸戰隊及び第一航空隊は協力して目下敵砲臺を攻撃中である

【上海特電三日發】航空母艦加賀の爆撃機は本日午後二時爆撃を開始し流石堅壘を誇る呉淞砲臺は一擧にして烏有に歸した

【上海三日發】呉淞沖合の射撃詳報、第二十六驅逐隊(樅、栂、栗)は午前十時四十五分呉淞砲臺沖合を通過中同砲臺より突然數十發の不法射撃を受けたため我方では直にこれに應戰、第三戰隊(由良、那珂、阿武隈)及び航空戰隊と協力し同十一時三十分一齊に攻撃を開始した

全堡壘全く機能失ふ

【上海三日發】我軍は黄浦江河口の要害を占むる呉淞砲臺の全堡壘を完全に破壞し去り午後四時半砲臺としての全機能を奪つた、國際港としての上海への航路は完全に確保された譯である、今日迄の日本船其の他外國汽船に對して屢々不法停船や交通妨害は一掃された譯である、我軍は明早朝第三戰隊掩護の下に同所に特別陸戰隊を上陸せしめ堡壘高く日章旗を飜へす筈である、なほ司令部では該砲臺の占領は全く國際交通の安全を期するためであると語つてゐる

呉淞砲撃公報

【東京三日發】上海三日午後六時着海軍省公報
一、第二十六驅逐隊は今朝十一時二十五分呉淞砲臺附近フオート

本高橋沙砲臺も陸戰隊占據
國際通路保全のため

【上海三日發】三日午後五時十分司令部發表
我第三戰隊は國際通路保全のため本日午後四時本高橋沙砲臺を完全に粉碎せり、なほ第三戰隊特別陸戰隊約三百名は明朝上陸

伏見宮殿下 御就任御挨拶

【東京三日發】新伏見宮軍令部長殿下には三日午前十時半參謀本部に閑院參謀總長宮殿下を訪はせられ御就任の御挨拶を述べさせられたのち種々御協議遊ばされ同十一時御退出あらせらる

龍華に敵一萬
機を見て爆撃

【上海三日發】わが飛行機偵察の結果上海の東北二里の龍華に集結してゐた敵軍約一萬は上海に向け移動し居る事判明したが、わが軍は機を見てこの大部隊に爆撃敢行砲臺を占據する事となつた

獅子山砲臺砲撃抗議
支那側の强辯

【南京三日發】南京政府外交部は南京における日支交戰に關し兩國政府間に交換された抗議書のテキストを本日公表したが、支那側の抗議左の如し
日本軍艦は探照燈を照し八門の砲を開いて獅子山方面に砲撃すその責は日本にあり、斯る不祥事の繰り返へされぬ事を要求す

正規兵便衣隊 放火退却

【上海三日發】午前の我軍の猛烈なる反撃に敵は辟易し彼我陣地の中間地帶陸戰隊本部より南三百米乃至五百米の東寶興路東横濱路一帶に便衣隊と正規隊とを以て放火せる後西方に退却した同方面は午後二時半盛に燃えつゝあり、一方我軍の一部は江灣競馬場附近の敵を一掃すべく同方面に向けて進撃を開始した

租界到る處に敵彈落下す
虹口方面の激戰にて

【上海三日發】敵軍の租界内虹口方面攻撃猛烈を極め午前十一時より午後零時半迄に呉淞路三笠牛肉店にてロシア人一名負傷北四川路ダンスホール、ゴールデンスター南潯路某料理店等に砲彈落下し西華德路東館附近路上にも一彈落下し大穴を開けた

我本部附近に落彈

【上海三日發】敵砲彈は本部女學校附近に盛に落ち一彈は千里本、金剛支配人宅、一彈は鹿子島電通支局長宅隣りに落下屋根に大穴を開けたが人無く無事であつた

同濟路火災

【上海三日發】午後一時同濟路の南北兩側は敵の手榴彈から發火し盛に黒煙を揚げ燃えつゝあり、この中を我軍進撃を續け敵を撃退したがなかなかの激戰で我軍は負傷者十二名出した

支那兵舍火災

【上海三日發】午後二時三十五分わが爆撃機の投下せる爆彈北停車場附近の支那兵舍に命中し目下盛んに燃えつゝあり

我軍死傷者

【上海三日發】午後三時までの我軍死傷者は戰死二重輕傷者二十四名で戰死者の氏名は
林　宮城(二中隊二等水兵)
河合　明(五大隊三等水兵)

酒井中尉等重傷

【上海三日發】本日午前十一時半邦人居住區占據に際し酒井中尉外二名重傷を負ふた

戰死者二十六名

【上海三日發】本日の戰闘で我軍の戰死者左の如し
第十五驅逐隊三等機關兵西田信次、三等水兵河合明、第五中隊二等水兵林宮吉、第五中隊二等水兵中野鐵雄これで戰死者總計は三十六名となつた

砲聲、爆音、火災
北四川路の凄慘な光景

【上海特電三日發】砲彈落下と便衣隊の放火による北四川路兩側各所に火災起り黒煙天に沖し砲彈の音殷々轟々飛行機の爆音と相合し凄慘の光景を呈してゐる

【上海特電三日發】午前十一時三十五分我陸戰隊本部に敵砲彈落下し電話線架設中の我兵六名負傷した

【上海特電三日發】午前十一時十五分敵の一彈我陸戰隊臨時病院に落下炸裂した

長江筋の形勢不穩
各地居留邦人續々引揚

【漢口二日發】形勢惡化し沙市領事以下在留民は軍艦鳥羽に避難し上流宜昌に引揚げた、大冶在留民も避難引揚に決した模樣、長沙も形勢不穩で二日朝當地より小艦が急航したが減水甚だしく航行不便で引揚方法につき懸念されてゐる又九江の在留民全部六十名も引揚げることに決定したが避難先は當地か上海か未定である

マニラ艦艇待機

【マニラ三日發】當地アジア艦隊驅逐隊旗艦ブラツク、ホーク號は三日午後二時食糧軍需品を滿載して上海に向つた、又本日上海着のアジア艦隊旗艦ヒユートン號は當地に在泊中の航空母艦一、潜水艦二に對し今朝待機命令を發した

事件現狀奏上

【東京三日發】荒木陸相は午前十一時半宮中に參内上海、ハルビン兩事件の現狀並びに軍部の對策につき委曲奏上した

米艦入港

【上海三日發】アメリカ東洋艦隊旗艦ヒユーストン以下驅逐艦八隻は今朝十時呉淞沖六十哩に到着我軍艦と砲臺との交戰のため上海に入港出來ず區域外にて砲火の終るを待ち午後二時半上海に入つた

日支諸懸案の解決に
列國の干渉は許さず
防衞準備の中止にも絶對反對
三國提案と帝國態度

【東京三日發】英、米、佛三國共同提案に對する帝國政府の回答は大體既報の如く芳澤外相より三國大使に傳達される事となつたが右提案に對する外務當局の意見は左の如きものである

一、日支双方が**戰闘行爲を停止する件に關しては何等異存はない**

二、今後兵力の動員せず戰闘行爲準備を行はざる事に關しては現在上海の事態は頗る惡化してをり現場より遠隔の地にある日本としては**最惡の場合を豫想して相當の準備を整へ置くは當然**の事である

三、日支戰闘員を相互接觸點より撤退する事に關しては原則的に贊成である、然し**これ以上撤退するは居留民保護を徹底し得ざるを以て承服し難し**

四、**中立地帶の設置問題は第三國の趣旨を尊重する限り原則的に贊成**である

五、**列國のオブザーヴアーを加へ日支兩國間一切の懸案を解決するため支那と交渉開始する件に關しては絶對反對**である、即ち英、米、佛三國大使は右懸案中の〻如くであるが**滿洲問題**をも含む旨言明したもの**に關しては一切列國の容喙干渉を許さざるものである**但し日支間一切の懸案の交渉にあらずして上海事態拾收のため當面の問題に關する交渉あらば列國のオブザーヴアーを參加せしめるに異議なし、即ち日本政府は第一、第三、第四項は大體において承服するも第二項第五項、就中第五項に對しては强硬に反對する事に内定した、而して右回答の結果、英、米、佛諸國との間に新なる事態を發生すべき事を豫想される場合においては單に右關係國のみの打合せ協議のみならず、直に臨時閣議をも召集すべきであるが、三國の停戰提議を我方において

三國へはけふ回答

【東京三日發】芳澤外相は既報の如く本日西園寺公を訪問したが午後九時東京驛着、歸京と同時に犬養首相、大角海相、荒木陸相に會見し公との會見内容を説明し、これに基き各相間に愼重意見の交換をなし

關東軍司令部條例の組織、權限擴張御裁可

【東京特電三日發】關東軍司令部では滿洲事件勃發以來その任務著しく複雜擴大して來たので、陸軍では同司令部條令改正につき研究審議してゐたが、**愈々成案を得たので三日荒木陸相より上奏御裁可を仰いだ**、その主要な改正は**司令部の組織權限の擴張**をなすもので殊に現在の**參謀長の少將級を中將級**とするにあるが、その候補者として軍務局長小磯中將又は兵器本廠長畑中將の輔補が傳へられてゐる

平和確保に對する總ゆる盡力が喫緊
一般軍縮會議開會に際して
ヘンダスン議長演説

【ジユネーヴ特電二日發】二日午後四時三十分開會された一般軍縮會議で議長ヘンダスン(英)氏は左の如く開會の演説をなした
世界人類のため重大意義ある國際軍備縮小會議が今茲にその事業を開始せんとするに際しこの會議に代表を參加せしめてゐる二國の間に現に存すること極めて重大なる狀勢に吾々が直面してゐるのは最も不幸なことである、この會議の目的は平和維持に對して更に今日以上の措置を講ぜんとするにあるがためである、今や聯盟規約並びに不戰條約の調印各國全部は相率ゐて暴力と戰爭の一切の行爲に對するこの二大保障が最格に遵奉されるやう確保するため總ゆる盡力をなすことは喫緊のことである、この會議は誠に比類なきものである、此處には實に十七億人類の代辯者が一堂に會して、全世界の人類といふ人類がその家庭と產業が大人口の中心にあると、アフリカの沙漠にあると、東方の叢林中にあると、將又北極地方の雪と氷の間にあるとを問はず、此會議に彼の名を代表すべき何人かを選つてをらぬ人はないのである、此會議よりも以上に人類に執り緊要且つ有益な事業を任務とした會議は日今迄未だ開かれたことがない、世界は軍備縮小を望んでゐる、全人類はこの會議に對し現在の如き巨大なる國家軍備が永久に終らねばならぬといふことを切に期待してゐる、若し吾々にして成功せんか、吾々は今日まで吾々が戰爭防止のため忍耐强く建設に努めて來た防塞の强化に對し決定的な寄與をなすに至るであらう、然し若し失敗せんか、世界は迅速に膨脹してゆく軍備の競爭の渦中に再び逆戻りする危險に曝されるのである、軍備制限、縮小問題は世界經濟的、金融的危機と根本的關係を有する問題である、過去の軍備負擔は多數諸國に豫算不均衡の主要なる誘因の一となつてゐる吾々は世界人類をより高き平和的協力の高原へと今一層高く導き得る、この際互にこの機會を捕へる用意が出來てゐるだらうか今茲にこの重大意義ある一般軍備縮小會議を開會するに當り

未だ公式の議事日程が出來てゐないから余は茲に會議プログラムを假に次の如く要約したい
一、軍備の迅速且つ實質的縮小と制限
二、新に締結すべき軍備制限縮小條約の範圍以上に如何なる軍備をも維持させる事を決定すること
三、充分合理的なる短期間の間隔を置き更に新たなる軍縮會議を開催すべき案を樹立すること
(寫眞はヘンダスン氏)

軍縮會議委員會

【ジユネーブ特電三日發】軍縮會議はスイス大統領モツタ氏を名譽議長に推擧し左の三委員を任命した
一、全權委任狀審査委員會
一、議事手續決定委員會
一、請願規則起草委員會
右委員會は明日より本會議總會は六日開く筈

一歩も讓らず抵抗
汪精衞氏聲明書を發す

【北平二日發】汪精衞氏は洛陽遷都に當り長文の聲明を發したが、右は今後全國民一致して長期の抵抗をなすため一歩も讓らず飽く迄抵抗すべしとの政府の決意を示してゐる

いて全部容認せぬ迄もこれを基礎として妥協の餘地あると認むる時は、事態は自然好轉を豫想されるを以て關係閣僚の協議のみによつて決定したる案を以て回答せらるる事となるが、何れにしても芳澤外相は歸京後は打ち合せに時間を要するから帝國政府の正式回答は明日發表さるゝであらう

けふ臨時閣議で回答決定

【東京三日發】英米佛三國大使の停戰提議提出に對する帝國政府の回答は明四日臨時閣議で最後的審議決定したる上同日午後發表さるゝ模樣である

め回答前に元老西園寺公に上海事件に關する今日迄の經過英、米、佛各國との折衝並に停戰交渉の内容を詳細報告し今後の方針回答案の内容につき十分なる諒解を求むるためである

支那は正式受諾
三國共同提議に對し

【南京三日發】國民政府は英、米佛三國の共同提議に係る日支紛爭解決の調停案五項目を全部受諾する旨本日三國政府に正式回答した

遽かに空嘯く羅外交部長

【上海三日發】軍隊總動員までやつて固い決意を物々しい準備を示してゐた支那側の對日宣戰はその後有耶無耶になり外交部長羅文幹氏は對日宣戰等は跡形もない事であるとうそぶいてゐる彼曰く
支那は日本軍の脅威に對し主權擁護の立場から自衞手段を取つたまでで日本に對し宣戰するなどは始めから考へもしない事である

支那の態度次第
今後も事態擴大免がれず
芳澤外相語る
園公訪問後

【東京三日發】芳澤外相は三日午後二時半西園寺公を興津に訪問英米、佛の停戰提議につき會談二時間にして辭去したが語る
老公も支那問題について心配して居られる、今日の會見内容は語られない、英、米、佛の提議に就ては政府も引續き相談中である、上海居留民は目下陸戰隊で保護中であるから引き揚げの要はない、支那軍の出やう如何に依つては戰爭擴大は免れないが、我軍はこれ以上積極的行動には出ない、國際聯盟理事會も樂觀出來ないが全權には十分訓令を發してゐるから適當に善處するであらう

支那調査委員きのふパリ出發

【パリ三日發】支那調査委員一行は愈々本三日午前當地を出發した一行の東京着は三月四日頃の豫定である

支那側の狡猾な宣傳に困る
犬養首相の時局談

【東京三日發】犬養首相は三日午後南京事件につき左の如く語つた
上海南京事件勃發のため遊説が出來ないでゐる、黨の方も大切だが、對支問題は國家的重大問題である、支那人は昔から宣傳が上手で困る、南京の砲撃も先づ日本軍艦が砲撃し日本の應戰を豫想してアメリカに日本軍艦が大砲を先に射つたといふやうに狡猾な事を宣傳してゐるが、電報は日本軍艦の發砲より先にアメリカに打電してゐる始末である、上海事件費は緊急勅令によることにならうがまだ手續はとつてゐない

松平我全權

【ジユネーヴ二日發】全權松平大使は昨今聯盟筋の日支問題認識不足から危險性あるため三日から各國全權を訪問し日本の立場を説明し諒解を求むるに努力する事となつた

極東に在る軍艦五隻を上海に增派すべく出動命令を發した

上海事件抗議は世界平和の攪亂
某外人支那通の談

上海來電に依れば三年間支那各地を遊歷して詳細にわたり支那の實情を調査してゐる某外人は左の要旨の談話を試みた
歐米人は滿洲事變勃發當初は支那側の虚僞の宣傳に迷はされ日本は滿洲を併呑するものと誤信してゐたがその後眞相の判明するに從つて一般人は理事會の態度を危險視し彼等は嚴然たる既存條約を犯して居ながら**責任を**日本に轉嫁せる支那側を援助することは列國間の總ての既存條約を否認干犯することを公然許すもので、かくては世界の平和維持上由々しき一大事なることを漸次知るやうになつた、余は最近英米兩國政府が上海事變に關し日本に抗議を提出せんとする新聞記事を讀んだが若しかかる事實ありとせばこれ世界平和攪亂のみに有効なる手段であつて、しかも最近の報道は上海英、米兩國領事は支那側の不信行爲を詰問せりと傳へ又英國軍隊の如きは血迷へる支那便衣隊の攻撃に對し應戰したりとさへ傳へてゐる、然かるにも拘らず本國政府が**日本に**抗議せんとする如きはその眞意の何處に有するやを知らず苟くも道義觀念あるものゝ常識を以てすらも判斷に苦しむところである、このことにして若し眞なりとせば世に之れ程大なる矛盾を敢てして平和を云々するは餘りにもご都合主義である、列國が支那を援助すればする程、支那側は增長し從つて禍亂は擴大せらるるのである、理事會は認識不足により手段の選擇を誤まつて逐次目的に反する結果を招來してゐる、この間の消息は今更調査員を派遣せずとも平素の支那人に接してゐる自國居留民に**質せば**諒解せられる筈である、古來支那の官憲に迷はされぬけがけの功名をあせつて成功した例しがない、何れは排外運動に移るは歷史の證明する處である、要するに世界平和は嫉妬猜疑を捨て正義に立ちかへり協調精神を發揮して始めて招來し得べきものにして支那に對しては特に一致の步調を採らざれば不可能である【奉天電話】

出淵駐米大使 米國務次官訪問

【ワシントン二日發】出淵大使は三日ニユーヨークの日本協會において恒例の演説をなす豫定であつたが、時局のためこれを中止したが同樣の理由で駐米イギリス大使リンゼー氏もカナデイアン倶樂部における演説を中止した、なほ出淵大使は本日國務次官キヤツスル氏と會談時局問題につき意見を交換した

三國抗議を審議

【東京三日發】貴院同和會は三日午前十時昭和會館で例會を開き上海事件に關し意見交換の結果英米佛三國の抗議は全く誤れる事實を基礎としたもので事件の發展は支那側が先發砲したによるといふに意見一致したが更に眞相を極めた上愼重協議する事となつた

廣東政府は近く獨立

【香港三日發】廣東政府は日支紛糾の渦中に捲き込まれる事から避けるため近く獨立を宣言するであらうとの噂が昨日來當地及び廣東

洛陽遷都
鄭州も危險とて

【北平三日發】林森、蔣介石、馮玉祥等中央委員は鄭州會議の結果遷都を實行することに決し、即時洛陽に赴いた、なほ西宮を國府總公署に當てた
鄭州はなほ我飛行機の襲撃を受ける虞ありとて最初の方針通り洛陽で傳へられてゐる

各派別候補數

【東京三日發】三日迄の立候補黨派別左の如し(三日午後六時現在)
政友會 三〇〇　民政黨 二三三
社民黨 一四　大衆黨 一〇
革新 二　安達派 一〇
中立其他 二三　合計 五九二

大山郁夫氏愈よ近く渡歐

【東京三日發】大山郁夫氏は今回ロシアを通過せぬといふ條件で問題の旅券が下附されたので愈々近く横濱發アメリカ經由で渡歐約一ケ年の豫定でドイツ、イギリス等を視察する事となつた

加藤勘十氏脱黨

【東京三日發】一部の有志から東京第五區の推薦候補に擔ぎ出されてゐた全國勞農大衆黨加藤勘十氏は二日夜に至り突如脱黨屆を提出した、理由は加藤氏を最高指導者とする勞農倶樂部全國同盟の指導精神と大衆黨との運動方針が一致せず且第五區選擧闘爭に對して黨本部のとつた行動を潔しとしないためであると觀られてゐる

西園寺公に詳細報告
きのふ外相から

【東京三日發】芳澤外相は本日午

伊國軍艦出動

【ローマ二日發】イタリー政府は

滿鐵に關する事項を擔任
關東軍附の後宮大佐

【大阪三日發】第四師團參謀長後宮大佐は近く關東軍司令部附として榮轉する模樣である、同氏はかつて關東軍附であつた關係上滿州事情に精通して居り榮轉後は滿鐵に關する事項を擔當する事になる模樣である

軍革案は一年延期

【東京三日發】三日の非公式軍事參議官會議は閑院、梨本兩宮殿下を始め奉り白川、鈴木、金谷、菱刈、渡邊の各參議官、荒木陸相、武藤教育總監等參集の上午後一時三十分より陸相官邸に開會本年度特別議會に提出さるべき陸軍々制改革案問題につき審議され一ケ年延期に意見一致した

家庭

溫い誠心をこめて大きな二つの仕事
兵士ホームと鮮支人隣保事業へ踏出した在滿婦人達

在滿婦人團體聯合會では暴虐極まりない支那兵匪のために家を失ひ家族を失つた不幸な罹災鮮人と事變の餘波をうけて生命と生活の不安に脅かされてゐる支那良民とを物質的に精神的に救濟し一方には

正義 の劍を振つてあらゆる苦難と戰ひ危險に曝されてゐるわが忠勇な將士方のために適當な慰安の道を講じたいとの念願から鮮支人隣保事業並に兵士ホームの創設を計畫してゐましたがこの二大事業を遂行するのには五萬八千五百圓といふ巨額の資金を要するのでこれを汎く一般から募集することゝなり大連婦人團體聯合會でも數十名の募金委員を擧げていよく募金に着手することになりました　で隣保事業の方は奉天に適當な既設建物を借受けて諸種の慰安や娯樂を與へ診療所を設け、學校、幼稚園を開いてその

子女 の教育し講演會、講習會、圖書雜誌、母の會、戸主會、青年會、處女會等によつて一般の教養を高め職業を與へ、體育保健方面を指導し、又人事、法律、健康等各方面にわたる相談機關を設けて不幸な彼等の相談相手となり指導者たらしめやうといふのです　兵士ホームの開設地は軍隊の移動の狀況により適宜移動し得ることゝし、さし當つて奉天、長春、鐵嶺(又は四平街)の三ケ所に開設の豫定ですが、これは公會堂倶樂部等の一部を借受けて蓄音器、圖書、雜誌、新聞、圍碁、將棋、時々餘興等の催し物をして將士を慰め簡易賣店を設けて安價に物品を

供給 しやうといふのです　そしてこれは皆篤志な婦人たちの手によつてなされ、こゝに出入する將士たちは或ひは母のやうな、或は姉のやうな、妹のやうな澤山の婦人たちの溫かい心に迎へられて、その愛に飢た荒み易い氣持を癒すことの出來るやう、そして眞にアット、ホームな心持でその心身を休め、破れた服のほころびも縫つてもらへるやうにしてといふのが兵士ホーム創立の目的なのです　隣保事業も兵士ホームも共に現地にある人々から一日も早くその實現が望まれてゐますので出來るならば二月中旬までには事業をはじめたいと聯合會では意氣込んでゐます

今年多い中耳炎
耳はこうして冒される　急性にやつて來る徵候

大連市民を脅してゐる風邪も例年に比しますと肺炎などの餘病を引起して斃れるものは今年は稀で經過から見ますと至極よい樣ですが最近熱も下がり一先づ安心といふ所で中耳炎を冒されてゐる者が多い、森本醫師にその原因に就いて伺ひました

◇「一年を通じて一、二月頃に中耳炎を冒される者は例年では穩で大抵三、四月頃から花見時節にかけて增加するものです、然し最近この患者が多いと云ふのは一は今年餘り溫かすぎるためではないかと思はれます、と云ふのは最近の季候がもつと寒ければ熱が下つたと申しても病後を慮つて二、三日は餘分に床に就いてゐるため安靜が保たれ結局は病後を大切にする事になり、從つて中耳炎に冒される者が尠くなるわけです、周知の通り鼻、喉、耳の內部は通じお互に密接な關係を持つてゐるのでもし鼻、喉の粘膜が冒されると—自然耳の方まで炎症を起すのが當然で耳の方の粘膜は弱つてゐるのですこれを知らずに熱が引いたからと云つて床を離れ無理をやります、子供は早速あばれ廻つたり、戶外に飛びだします或は兩鼻を強く一度にかんだりするために弱つてゐる耳に菌が入り中耳炎を起す事になるのです

◇健康な人でも風邪後は充分氣をつけてゐないと中耳炎に罹りやすいので常に鼻の惡い人、アデノイドの人、扁桃腺肥大の人などにあつては特にこの中耳炎を起し易いのです、中耳炎は乳兒や大人よりも耐えず動き廻る三、四、五、六歲位の幼時に多いので、症狀としましては外部がはれ上つたりする事がなく赤ん坊は痛いためむづがり始終かぶりをしお乳を吞まうとせず寢みません、物言へる子供にしましても齒が痛むのかそれとも耳が痛むのか判らない位でお母さんにもどこが惡いのか判らないのですがもし風邪後三十八度乃至四十度位の高熱が上がり急に耳が痛むと云つたら中耳炎と見て差支へない位でこの樣に急性にやつて來るものです、この樣な場合は早速濕布するか氷で冷やして安靜にし醫者の手當を早く受ける事を忘れてはなりません、日數を經過すればする程手遅れし治る經過も思ふ樣に早く治らぬ事になります

けふの節分に　厄除の元祿髷

◇いくら文化のすゝんだ今日でも厄年に對する危惧はなかなか私どもの頭から拭ひ去られません其處に起つたのがいろんな厄除けのおまじなひです

◇今年三十三と十九の厄を迎へた御婦人方よ！今日の節分に十九の娘さんなら赤い手柄の大丸髷を、三十三のマダムならふくよかな桃割か粹な元祿髷にでもお上げになつてお宮詣りなさいまし、あなたについてゐた厄は忽ち退散するさうですから

◇寫眞は厄除けの元祿髷で磯口逸子さんの結上げです

怠惰な子供
捨て置いたら大變　原因を究めて矯正が必要

◇**幼い時** から習慣となつた怠惰の惡癖は成長した曉人生の最も意義ある働きを嫌ひ果ては社會の害蟲となる場合が多からしめるものです、左右どちらへも矯め易い時代の兒童を正しく導くか或は、その子の生涯を無意味に、或は社會の害蟲と等しきものに導くかは育兒の任にあるお母さんにとつて重大問題です

◇**怠惰に** も偶然の事情によるもの、或は不健全な思想によるもの、身心の異狀によるものなどと色々種類がありますが、母親は子供が怠惰であればその惡癖の原因を究めてそれに對する適當な方法を講ずる必要があります、作業に興味を持たない子どもについてその原因をしらべて見ますにたいていはその子が作業に對し、以前に苦痛を嘗めた結果その作業が嫌ひになつたり、或は又これに反して他人の仕事であるため人の眼をかすめるとか、共同作業だからと他人に働かせて自分は安佚を貪るなど、忌はしい考へによるなどますます子供はよい氣になつて頻繁にこれを反復し常習犯となつて、とりかへしのつかない一生を早や幼い中に築き上げて了ふ樣になります

◇**この樣** に作業に興味をもたない兒童は、また作業の性質や初めの着手の個所を知らないのに原因することもありますからこんな場合には作業に就く前に充分作業のとりかゝりや、着手の個所などを諒解させて初の間は苦痛を感じても努力し、遂行することに努めさせ完成後の自己成功の最も嬉しい境域を味はゝせる樣にしたいものです、又前の苦い經驗を追想し、そのため作業を嫌ふ場合もやはり前に苦痛となつた原因をよく究めてその原因を取り除いて今度は自分自身の力によつて遂行した時の快感を味はゝせることに指導し努力すべきです

◇**これに** 反し不健全な思想にするものは、その原因が複雜であるのと又こんな怠惰者は多くは自我が強く、自己の惡い思想に對する單なる訓戒や叱責、忠告などに對しては直に反撥して了ひますからその矯正には大へん困難なのですが、これらに對してもやはり充分その原因を究め、彼等の環境、娯樂、讀書交友、教育狀態等を調べて環境を變化し勤勞に伴ふ快感を緋解するやうに仕向け、怠惰によつてよく見る所の悲慘な狀態を如實に見せるなどして彼等の怠になる事を未然に防ぎたいものです

童話　月夜の凧(3)
八木橋ゆじろ

勇吉の顏には微笑が浮んでゐるのでした。はつと氣がついては一生懸命に凧の骨を削りました。

しかし、凧の骨を削ることより頭の中に、凧を張つて上る凧の事に氣をとられ勝でした。

「あつ！」

突然、勇吉は指を押へて立ち上りました。

鉋丁がすべつて、勇吉の指を切つたのです。

「どうしたの？ええ？勇坊や！」

お母さんも、驚いて立ち上りました。

「ち、ち、ち……」

勇吉は眼をつぶつて唸りました

「これ、お見せ、指を切つたね」

お母さんは靜くなつて吉の押へてゐる右を離して見ました。人差指の先をよほど深く切りこんでゐました。見るく切れ目から、血がぞくく噴き出てきました。

「だから言つたことでない。あぶなつかしい事だ。もぎされたら大變な事になつた」

お母さんは、布を裂いて繃帶して呉れながら、小言を言はれました。

勇吉は、自分のしたあやまちであるから、痛さをじーつとしのびました。

「もう、お止し、お止しつて言ふのに」

お母さんがどんなに止めても、勇吉は凧の骨を作る事を止さうとしませんでした。

痛んだ右手を窮屈さうに使ひながら、夜遲くまで一生懸命でした。

そして、夜遲くまでかゝつて、ようやく凧を作り上げました。

凧と言つても、古い箒の竹の柄を割つて作つた骨に、汚れた紙を飯粒で貼つた、名ばかりの凧に過ぎません。

でも、寢床に入つてから、しばらく眠れなかつたそれほど、勇吉にとつては嬉しい喜びでした。

寢床が溫まつて來ると、先刻切つた指先が、大へん痛んできました。しかし、それよりも凧上げ、その喜びが大きかつたに違ひありません。

じーつと眼を瞑つて勇吉は自分の凧を上げてゐる姿を床の中で想像して見ました。

アサヒ ノボル (43)
作 中濱しんいち　画 河野さじし

㊀ココニチツトヰルナラナハダケハトイテヤルガニゲタラヒドイメニアハスゾトイフ

㊁タイチヤンハシカタガナイカラメヲツブツテヰルトジブンヲタスケテクレタサルガナイテヰル

㊂キケバコレカラヒサシブリニサルジルヲツクツテユクワイニタベルノダトオホキバリ

㊃ナントカシテタスケタイトオモツテモカタナトテツパウヲモツタバンニンガウゴカナイ

サル ジル ジル

KO.

滿日各地版

わが軍の匪賊討伐 一月中で七十三件
警官隊と交戰せるもの二百件 夥しい匪賊の被害

【奉天】舊正月を前に控へ各地における匪賊の横行益々盛んで放火掠奪等を敢行するのみか最近は電信、電話線を切斷し運行中の列車襲撃を行ひ我討伐隊に對し頑強に抵抗をなし猛威を振つてゐるため同地方居住民は戰々兢々として依然不安の狀態を續けてゐるが今一月中我軍が討伐のため出動せし主なるものでも左記七十三件の多きに上つてゐる

△一日 五龍背北方地區（運行妨害電線切斷等のため出動し附近を掃蕩す）打虎山西南方張富棚（約二、三百の敵と交戰撃退す）

△二日 五龍背驛附近（約百五十の兵匪より襲撃を受け之を撃退す）煙臺東方小樹堡（兵匪約九十と交戰し之を撃退す）渾河鐵橋附近（夜間巡察中の我兵は約八名の兵より射撃せられ之を撃退す）奉山線馬三家子附近（約五十名の兵匪と交戰撃退す）鄭通線大架驛附近（張學仁の率ゐる約四百の賊と交戰撃退す）奉山線白旗堡（約二百の兵匪を襲撃々退す）

△三日 橋頭西方北甕溝（兵匪約百と交戰す）

△四日 鞍山西北方劉二堡附近（砲二門を有する約六百の兵匪を撃退追撃中別に砲一門を有する新なる賊約五百と遭遇し之を撃退す）新民屯（兵匪約五百新民屯附近の鐵道を破壞し且新民屯市街を襲撃す之がため上記部隊は奮戰之を撃退す）

△五日 新民屯西北方王莊屯（五六十の騎馬賊を攻撃す）新民屯北方大干屯（多數の馬賊を攻撃す）安奉線吳家屯附近（約百の兵率を撃退す）安奉線南攻附近（兵匪約百を撃退す）安奉線石橋子附近（約百の兵匪根據地を襲ひ多大の損害を與ふ）

△六日 遼陽西方劉二堡（兵匪掃蕩のため出動撃退す）遼陽北方張臺子（四百の賊と交戰す）義州北方二道頭溝（敗殘兵約百名、頑強に抵抗せしも之を撃退す）

△七日 新民屯東南長河沿（匪賊の討伐を實施す）渾河西方莫家堡（匪賊團を包圍し之を捕ふ）鐵嶺附近（兵匪數百鐵嶺公安隊及縣政府監獄等を襲撃せしを以て之を撃退す）遼陽西方大沙嶺（五百の兵匪と交戰撃退す）本溪湖北方三塊石山附近（匪賊約三百と交戰し多大の損害を與ふ）錦西（兵匪數百襲撃せしを以て之を撃退す）陳相屯西南方地區（馬賊約二百陳相屯襲撃を企圖しある情報に接し掃蕩す）

△八日 溝幇子驛附近（匪賊約三十を撃退す）開原西南方沙河堡（兵匪二百現はれ放火掠奪中の報により討伐に向ふ）鐵嶺北方柴河附近（約百の兵匪と交戰撃退す）田莊臺附近（數百の兵匪襲撃の報により出動す）奉天西北方西十里河附近（四十の騎馬賊を撃退す）

△九日 沙河西方三家子（兵匪五百を掃蕩す）彰武附近（兵匪掃蕩のため出動撃退す）

△十日 鳳凰城西南方白旗附近（約三百の兵匪と衝突し敵を西南方に撃退す）打虎山附近（百の兵匪を激戰後撃退す）打虎山東方唐家窩棚（兵匪多數現はれ出動す）

△十一日 錦西西方地區（二千の兵匪より襲撃せられこれを撃退す）鐵嶺東方馬家塞（馬賊約六十と交戰撃退す）巨流河北方地區（附近兵匪の掃蕩を實施す）錦西南方青石嶺（四百の賊を撃退す）新立屯北方地區（千五百名の賊と遭遇激戰の後新立屯に引揚ぐ）齊々哈爾西方地區（三百の兵匪と交戰撃退す）新城子北方安家窩棚（三百の賊を撃退す）

△十二、三日 鄭通線（通遼方面に出動す）奉天西方地區（該地方の兵匪討伐を實施す）牛莊田莊臺附近（兵匪の討伐をなす）湯崗子西方地區（以下同上）

△十四日 齊々哈爾北方地區

△十五日 新民屯西北方地區、錦西西方地區

△十六日 中固西方前後史家堡

△十七日 遼陽北十粁の小煙臺、牛莊西北方沙嶺、通遼西方閻家園子、通遼北方地區

△十八日 鳳凰城東方湯寶城、打虎山北方八道家、義州東方地區

△二十日 打虎山西方高山子

△廿一日 石橋子南方地區

△廿二日 興城地方地區

△廿二、三日 法庫門附近

△廿四日 本溪湖東北方地區、遼陽西方大沙嶺附近

△廿五日 石山站、大凌河、公主嶺東方地區、法庫門南方及び西方地區

△廿六日 打虎山西北方地區、大房身

△廿九日 十里河西方尤家甸子

△三十日 錦州東南地區（該地一帶の大々的討伐を實施す）大凌河々口北方地區（東北方に退却中の兵匪數百を攻撃し殲滅的打撃を與ふ）

尚この外警察官と交戰せる匪賊事件を擧ぐれば二百件に達してゐると

四勇士の告別式
二日大石橋で執行さる

【大石橋】一月二十九日午前九時頃遼陽縣下尤家甸子附近の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げたる大石橋獨立守備第三大隊第一中隊故尾池伍長土屋森谷森下各上等兵の告別式は一日夜來俄に降り出したる大雪のため大石橋小學校講堂に祭壇を變更し二日午後一時より嚴かに執行された、四個の遺骨には戰友の手により順位に關東長官關東軍司令官滿鐵總裁副總裁營口領事大石橋營口各警察署及聯合婦人會並に市民一同其他各種團體滿洲日報社等より贈られたる花環幾十旒の賑飾り列べられたる森嚴なる祭場自から四勇士の武勳を物語る中に營口大石橋及沿線各地の官市民各團體代表約五百名着席するや葛目少佐の挨拶に式を始め讀經、中隊長弔詞、戰友弔詞、營口領事、地方事務所長、警察署長、在鄉分會長、驛長、市民代表、營口市民、代表沿線官民代表の順に弔詞あり次ぎに各機關要路よりの弔電朗讀の內に森下上等兵母堂より「良雄天晴れであつたぞ、母は滿足に思ふ」との母人の純情現はれたる電文あり堂に滿ちたる參列者一人として暗涙に咽ばざる者なし、斯くて午後二時半喪主赤重大尉の挨拶に式を閉ぢたが近來稀なる盛儀であつた

河野大尉遺骨

【旅順】故陸軍歩兵大尉河野基英氏の遺骨は二日午後一時三十分旅順驛發列車にて出發故國へ向つたが驛頭には大谷要塞司令官永山市長各團體各學校生徒兒童ホーム等を埋め敬虔莊嚴默禮の裡に寂しい旅順と別れを告げた

杉山曹長遺骨

【安東】安東守備隊故杉山曹長の遺骨は一日午前六時四十五分安東市民多數の見送りを受け北行したが、その戰友の腕に淋しく抱かれ空しく去り行く情景は見送る一同の涙を唆つたと共に集る人々は永久士の冥福を祈つた

新義州の婦人會聯合

【安東】新義州には愛國婦人會始め白百合會、各宗教婦人會等數種の婦人團體があり各々の使命に向つて活動してをり一面それ等團體はそれぞれ隱然たる一大勢力を有して居るが、稍もすれば相對立の姿勢となり確執することなきにしもあらず從つて其の活動能力を減殺することなきを果し難きに鑑み最近に至り有識者間に於ては各婦人會を打つて一丸となし所謂聯合婦人會を組織して中心點を置き聯絡を計ると同時に統制を期し大同團結して活動すべしと唱導されてゐるが將來益々婦人の活動を期待すべき事多々ある今日最も機宜に適した提唱であると云はれてゐる

本溪縣の小子臣 歸順許さる
縣民災厄を免かる

【安東】本溪縣下に暴威を揮ひ其部下千百餘名を率ゐ居る匪賊頭目小子臣は過般來本溪縣知事李濟東の斡旋に依り我軍に歸順方申出で一月二十日部下六名と共に本溪湖支那街に來りて板津大隊の來溪を待つて居り板津大隊長は早川大尉陳省政府員帶同三十一日來溪し關係者立會頭目小子臣と會見した板津大隊長は小子臣の誠意ある無條件歸順申出を認め之を許す事となつた、之に依り部下千百名の內大部分は歸農する事になり小子臣は更生すべく縣民また干戈の災厄を免れ得るので板津大隊長の苦心斡旋と關係斡旋者の功績は特筆に値する

馬賊三名處刑

【鐵嶺】去月二十日得勝臺東方陳堡の激戰で鐵嶺公安隊の手に逮捕された馬賊三名縣下八塊屯出身陳永發（三）屆中屯出身尹富山（三）四沖出身胡善富（三）は省政府の命により二日午後一時二十分南門外の刑場に引き出され銃殺されたが折柄の降積れる白雪の中に端坐し數發の銃聲と共にあたり一面朱に染め揃がつて觀衆は積雪を冒し數百名が人垣を作つた

八卦溝に強盗

【鞍山】一日午前二時頃鞍山東接續地遼陽縣八卦溝後街農范伴何方に三人組の強盗が侵入し范の長男治國（二）に對し拳銃を突き付け脅迫して所有金全部を提供すべし若し應ぜざる時は直に殺害すると脅迫し所持金三十錢と銀腕輪時價四圓一個を強奪し南方に向つて逃走したと

巡邏中射たる

【鐵嶺】一日午後九時半頃新臺子派出所應援出張中の巡査村上、遠藤兩氏が市中巡邏の途税捐局附近に差かゝつたとき突然闇の中より五六名の一組に狙撃されたが幸ひ彈丸は外れて兩氏に異狀なく急報に接し新臺子派出所員守備隊等總出となつて捜査したが犯人逮捕に至らなかつた同地には西方に接近せる賊團より多數の密偵が潛入してゐるらしく極力嚴探中である

疑問の死は自殺
三通の遺書發見さる

【奉天】自殺か強盗の犯行か謎の死を遂げた市內木曾町九番地大連火災海上保險會社代理店事務員畠山武良三（五）に關してはその後取調べの結果同氏の机の抽斗から三通の遺書が發見されたそれによると自分の肺結核を恐れ家族は勿論一般社會に迷惑の掛らぬ內にと自己清算から厭世の自殺を決行した事が判明するに至つた尚その長に宛た遺書は左の如くで涙の決心がありありと書かれてある

妻子に宛てたもの（原文のまゝ）

一昨年八月風邪以來肺炎慢性氣管支炎の經過良好ならず又不良とも思はれざれ共これ忌むべき結核の道程を辿りつゝあるに外ならず而して窮屈なる入院は勿論自宅靜養もこの元氣にては出來ず今二、三年位は執務し得るとは思へ共發熱病菌發見の場合は職を失ひ家族並に社會に危險を及ぼすに至らば誠に申し譯なし實に殘念だが仕方なしこれ運命の然らしむる處と斷念す一般社會より精神狂若しくは小心者と嘲笑されんも最善の處置と信じ決行す將來層一層自己子供等の育立を望む尚軍隊及び警察に各百圓宛寄贈ありたし

石田氏宛のもの

引繼ぎ完了を待ち得ず內憂外患卑怯にもこの始末にて何とも申し譯なし從來余に與へられし溫情を書が遺族に賜はらんことを

野田病院長に宛たもの

一昨年八月風邪以來格別の御手當を辱うせしも何等異狀無之發熱又は時間の問題必然的に錢るべきも將來肺患者として長年月の療法を好まず之に加ふるに累の遺族一般社會に及ぼすに至りては申し譯なしと御禮旁意中を申述べ候也

土地貸下受付

【奉天】奉天地方事務所地方課土地係では二月一日より土地貸下の受付を開始したが今年の貸下地區は奉天舊競馬場、蘇家屯驛前通りの二ケ所にして問題の加茂町粹山裏の空地は目下本社に申請中で認可指令のあり次第貸下受付を開始する筈である

奉天の失業救濟
救濟と職業紹介とに 市政公所乘り出す

【奉天】奉天市政公所では財界の不況並に今次の事變で失業者續出するに鑑み之れが救濟と職業紹介の爲め失業職工冬期紹介所を設置し既に業務を開始して居るが市政公所に登記したるものは非常に多く目下の處三十餘名に達して居るが今後尚多數の申込あるべく見られて居る、尚奉天市長趙欣伯氏は最近奉天城內に避難し來れるもの五六萬に達し內住居なきもの多數ありこれ等を救濟すべく官有の家屋を一齊開放し收容することに決し特に行政處長代理陳芳親に命じこれが實行に着手せしめた

集金人襲はる

【鞍山】鞍山遼陽縣吳華堡現住所立山屯北部福生溪藥商店員曾賀一（五）は一日朝遼陽縣馬圈子部落に集金に赴き其の歸途午後一時頃立山驛西南方一キロの鞍山製鐵所舊ノロ捨場附近の中に差し掛ると二人組の辻強盜現はれ銃を擬し集金した現大洋全部を強奪し西方に向けて逃走した

地委聯合會準備打合會

【奉天】滿鐵地方委員聯合會開催に先立つて之れが準備打合會は既報の通り一日午前十時より奉天事務所階上會議室に於て開催された當日の出席者は奉天石田、鶴原、安東大津、大石橋小林、開原佐竹、公主嶺丹宗、長春鶴崎の七委員で定刻石田氏議長席につくや

一、第九回全滿地方委員聯合會定時會開催日時、會場の件

二、提出議案期日の件

三、特別委員を常任委員に變更の件

四、時局に關する對策

五、聯合會名稱變更の件（滿鐵云々を全滿に）

につき協議を爲したが日時は三月五六の二日間、會場は奉天加茂小學校、議案提出は二月二十日迄奉天事務所地方課宛、聯合會の名稱變更は聯合會の名稱變更に伴つて決定されるものとして原案通り可決時局に關する對策としては意見區々にして追つて協議する事にし聯合會の名稱變更は三月五六の大會に於て決定することにした、尚當日は滿洲見本市開催に關し入江中村、矢部輸組書記の三氏右委員會を經て滿鐵に要望せしめたき旨を請願し委員會も之れを容れて午後零時閉會した

沿線往來

▲伍堂滿鐵理事 二日來奉

▲佐野關東軍經理部長 同上

▲香村岱二氏（新奉天獸醫研究所長）二日奉天各方面歷訪新任挨拶

▲關東廳遼陽地方事務所長 一日奉天往復

▲朝鮮より派遣され旅順衞戍病院に勤務中の吉井班長以下二十四名の赤十字社看護婦は二日午後八時二十分旅順驛發列車にて官民多數の見送りを受け赴奉

光輝稀に見る戰ひ
一兵をも損せず敵を殲滅した 前小煙臺の戰鬪詳報

（三）

斯くの如く我が部隊は何れも所命の下に些の支障無く各々其の部署に就き克く滿を持して戰鬪の開始を待つ內午前七時日出時刻稍前東天漸く曙勝ちに明け行く頃前小煙臺南端附近に在りし敵の監視部隊らしきもの我が軍の襲來を認めたのか突如我南方地區に肉薄せる葛目第三中隊に對し射撃を開始した、午前七時なり時正に到る即ち葛目少佐は既に戰鬪準備を完全に整備し只々友軍との呼應時刻七時を待つて居た山砲に對し一齊に射撃開始の命を下すと共に於て前小煙臺の戰鬪の幕は東天に昇る旭日と共に切り落された、敵の總部隊又地の利を得たる要害に依り我れに數倍する兵數を頼みてか是れ又頑強に應戰す、砲聲頻りに起り我が將兵の士氣正に沖天の概あり

◇

一方本部の指揮下にある主力部隊第一第二第四中隊は各々所定の地區に隱蔽展開の陣を敷き所定時刻正に七時南方に銃砲聲を聞きつゝ尙ほ且つ隱忍自重し生きま唾を呑みつゝ今や遲しと敗走し來る敵を待つ、第一中隊右側の本部大隊長以下各幹部又一刻千秋の思ひあり、時も時午前七時二十分頃我れ先きに逃走せんと約四百騎の敵兵混亂せる隊伍を以つて後小煙臺より出で來り北方に血路を求めて驀進し來る謀つた策は正に當つた、我が隱蔽展開せる左翼第二中隊の正面片唾を呑みつゝ六百五百三百愈々近距離圈內に入る「時」正に到る、第二中隊は不意に之れに猛射を加ふ、敵の狼狽一方ならず文字通りに混亂しつゝ左に方向を急轉し中央第一中隊の潛伏線に正面より逃進し來る、第一中隊は此の時未だ隱蔽して尙ほ射撃を開始せず沈默を守り續け居たが、敵はさる事とも知らず三百米突圈內に猛進し來りたる時命令一下各種火器の威力を最高度に發揚して一齊之れに猛射を加ふ、時や遲しと待ち受けたる右翼第四中隊又一齊射撃を開始し葛目少佐の山砲續いて後小烟臺北端附近に射程を延伸し逃れまいと射撃する、敵は愈々刻一刻混亂の極に達し獵夫に追ひ出されたる猪の目當もなくひた荒れに荒れ狂ふが如く我が包圍圈內に渦卷き狀を呈し其の最も近きは我が銃口前□米突に迫る我が包圍部隊は刻一秒正確なる射的を定め其の射撃愈々熾烈其の度を加ふや敵の死傷相次いで山を爲す、我が友軍の小隊旗分隊旗中隊旗煙砲彈雨の中に馳せ交ひ大和男の子の雄叫び此處又彼處に起る快！又快！壯烈勇武言語に絕し戰勝の愉悅を覺えしむ、時正に旭日東天に懸り光輝燦然たり

◇

一、本戰鬪は全く敵の意表に出で完全無缺なる包圍に依り徹底的打撃を之に與へ以つて滿鐵線並に附屬地襲撃の野望を根底より覆滅した

二、本兵匪は近き將來に於ては再び團結統制ある活動を爲し得ないだらう

三、本戰鬪の景況は逐次近隣兵匪に傳はりて其の心膽を寒からしめ彼等をして我滿鐵線に近迫横行するを躊躇せしむるに至るだらう

四、本戰鬪に於ける彼我の損害左の如し

▲敵軍 戰場に遺棄せる死體のみにて少くとも百三十、傷者多數（後日密偵の報告に依れば輕重傷者合して二百名に達したと云ふ）鹵馬約六十頭

▲我軍 死傷なし

◇

兵匪の主力前小烟臺より潰走して我が包圍圈內に入つた時は即ち彼等の運命の盡きし時にして當時の景況は「壯烈」の二字に盡く

◇

戰鬪直後敵の一部は辛うじて北方東南方及び南方に脫走し亦一部は前小烟臺內に潛伏してゐたらうが戰鬪翌日及び翌々日前小烟臺に派遣せる密偵の報告によれば敗走せる敵は再び前小烟臺を根據として再擧を計ることも困難にして一夜の內に二三度駐屯地を變更して辛ふじて生命を維持して居る樣であるわが軍復仇的觀念を以てする滿鐵線並に附屬地の襲擊に對し至嚴なる警戒を爲しつゝあり極力敵情を搜索し再び出動暴虐なる兵匪の剿滅の機を窺つてゐる（完）

（寫眞は前小煙臺に入城する我軍）【大石橋支局發】

公主嶺

野砲隊待機

某地第〇〇團第〇聯隊野砲兵第〇〇隊は一日午後九時三十分公主嶺驛着の臨時列車にて來公目下待機中である

大師寺の祭典

櫻町高野山大師寺では鎭護國家を宗是とせる弘法大師相傳の節分の星祭を四日午後六時盛大に執行する

聖體御安泰奉告祭執行

過般の不祥事件は恐懼に堪へざるも幸ひ聖體御安泰遊ばされたることは大慶至極の旨一般在住者に通知し一日午前十時公主嶺神社は右奉告祭を莊嚴に執行した

開原

鮮人民會成立

久しき問題であつた開原朝鮮人民會設立問題も時代の要求により洪淳享、鄭晃極、崔國鉉三氏が發起人となり一月三十日普通學校に創立準備委員會を開催し民會組織方法を討議の結果會規起草委員五名を選定し二月二日再び準備委員會を開催三日在開鮮人總會を開催する筈であると

氷滑會に優勝

開原小學校は一月三十一日奉天に催された州外沿線小學校對抗氷滑大會に參加したが最初より斷然敵を壓し優勝旗を獲て威容堂々凱旋した

鐵嶺

增員警官到着

事變以來在鐵官民の熱望して止まなかつた鐵嶺の警備充實と警察官の增員は今回林新任警務局長の英斷と青木署長の盡力によつて漸く實現することゝなり十七名の新任警察官が鐵嶺署勤務となつて二日夜午後十一時十七分着列車にて來任した、當日は近來稀なる大吹雪であつたが警察官增員の報に喜び多數官民出迎へ長途の勞を犒つたが何れも林新任警務局長の果斷に感謝してゐる、警察官も　連日の激務も此增員で幾分緩和せられ餘裕ある警備に就く事が出來るであらう

奉天

氷上大會納會

奉天事務所社會係主催氷上大會並に納會は來る十一日午前八時より奉天國際運動場に於て左記プログラムに依り開催される事となつた

プログラム

一、尋常科(男女)學年別 五百米、千五百米リレー(男女各一組)
一、高等科(男子) 五百米、千五百米
一、女學校 五百米、千五百米リレー
一、中學堂 五百米、千五百米リレー
一、中學校 五百米、千五百米リレー
一、醫大 五百米、千五百米リレー(以上全部オプン)
一、選手女子部 五百米、千五百米
一、選手男子部 五百米、千五百米、五千米リレー
一、全部リレー

商議役員會

奉天商議にては二日午後一時より同所會議室に於て役員會を開催し全滿公共團體聯合大會に對する奉天商議としての態度決定の方策を協議せるが、更に四日は午後二時より商議議員會を開催し右役員會に依る議案につき審議を爲す事となつた

車票規定改正

奉天市警察局では今回車票規定を左の如く改正し市政公所の許可を得て二月一日から實施することになつた(但し荷馬車を除く)

自動車々票一個現洋　七元
同交換　一元
馬車々票　廿五仙
洋車々票　同
自轉車々票　十仙

安東

御神寶到着

安東伊勢神宮より安東神社に御下附の御神寶

(一)革御鞘一腰(一)御楯一枚
(一)梓御弓一張(一)御太刀一柄
(一)御靭箆一合

は關東廳より都甲神官、高橋氏子總代長之を捧持して三十一日午後九時無事着安したが驛頭には諸團體、官民有志多數の出迎へあり直に安東神社に奉納された

公安隊を充實

安東縣警務處が一月十六日以來市警察に屬する公安第三隊(百二十名)の增置を計畫し爾後隊員を募集中であつたところ、一月三十一日迄の應募者總數三百二十名の內身體强健で安東に確實なる身許保證人ある者九十名を採用し公安第三隊を編成、第二隊同樣大沙河電燈廠跡に於て連日各個教練及び主として射擊動作を教育することゝなつた

鳳城

鳳城縣自警團

鳳城縣自治執行委員會では縣下各鄕村に自衞團を設け匪賊の侵入防止並に討伐に備へる爲め團員五百名を募集し大堡、白旗寨に駐在せしめ、將來は之れを警察隊に改編する計畫を樹て既に兵器長銃五〇〇挺彈丸五萬發の支給方を軍部に請願中である

應援警官到着

警備充實のため二日午後一時着の列車で朝鮮から武裝應援警官警部補一名、巡查部長一名、巡查二十七名着鳳したが、之れと交替に從來の關東廳よりの臨時應援警官六名は引揚げ歸還した

遼陽

遼陽警備會議

遼陽駐箚部隊の北方出動後における警備に付二日午前九時から步兵第十六聯隊の留守部隊に於て師團側、警察、憲兵分隊、在鄕軍人分會の幹部會合協議する處があつたが更に同日午後四時半から警察署樓上に於て非常時に於ける城內外警備上の問題に付熟議する處があつた

慰靈祭に參列

大石橋守備第三大隊の第二中隊尾池伍長以下四名の慰靈祭が二日同大隊で執行されたので遼陽時局委員會から花環一對を供へ吉田幹事が參列した

軍馬慰問金

遼陽在住一少女の名を以て金參圓也を憲兵分隊に軍馬慰問金として二日取次方を申出でた奇特な少女があつた

地委茶話會

遼陽地方委員會は二日午後一時から地方事務所會議室で茶話會を開き大連における各種聯盟の聯合會出席及び議題の件その他に關し協議する處があつた

大石橋

道場武道納會

飛行隊駐屯の都合に依り先月二十日より實稽古を開始した大石橋道場に於ては時局出張員等の爲め其人數に於て例年の如く多數ならざりしも滿鐵軍、警友軍、憲兵軍、守備隊軍、地方軍共時局柄其の緊張味甚大本日迄猛練習を續けたるも寒稽古としての練習を切り上げ午後七時より倶樂部日本間に於て納會を催した

兒童慰安映畫

二月四日午後一時半より小學校講堂において第四回兒童慰安會が開かれる會費は大人十錢子供五錢でプログラムは左の如し

實寫鯛網と鮪船一卷、喜劇お轉婆サリー一卷、科學電燈二卷、漫畫空の桃太郎一卷、教訓劇此の子を見よ四卷

瓦房店

保健衞生講話

瓦房店小學校にては先般施行した兒童檢便の結果及本月中に施行する豫定のマントー氏體質檢查に付其任に當れる醫師をして左記に依り講話會を開催する事となつた

(一)場所は小學校講堂(二)日時二月三日午前十時より一時間、(三)話題マントー氏體質檢查に就て及檢便の結果並寄生虫の驅除に就て(四)講師學校醫尾崎吉助氏及營口細菌檢查所主任安村外茂氏

復縣々長任命

瓦房店復縣執行委員會長李賓平氏は今回職制改正の結果復縣々長に任官した

旅順

重砲兵隊歸る

紅頂山の序戰以來錦州、山海關迄裝甲車乘務員として活躍した旅順重砲兵大隊備國中尉以下〇〇名は二日午前九時十分旅順着列車にて元氣颯爽凱旋した、驛頭には在旅官民各團體、學生、兒童堵列し列車が驛構內に勇姿を現すと怒濤の如き萬歲歡呼の聲が起る、車內の兵士達も赤くハチ切れる樣な喜色を滿面に浮べ大小國旗を振つて應答する、一同下車と同時に永山市長一同を代表し慰勞謝辭の挨拶を述べれば備國中尉元氣な答辭を述べ再び起る萬歲盛裡にホームを出て直に白玉山納骨祠に參拜親しく武運長久の加護を謝したる後懷しの營門に這入つたが更に山村隊長への申告、隊長よりの訓示があり冷酒を酌んで祝盃を擧げた

建國祭の行事

來る二月十一日建國祭當日行事に關し旅順市にては一日午後二時より各方面代表者參集の上種々協議の結果今回は新市街體育グラウンドを式場とし當日は在旅官民、各團體、各學校を始め軍隊も參加全市總動員の下に午前十一時迄式場へ集合、同十分「氣を付けッ」ラッパと共に

▲國旗掲揚(君が代吹奏、諸員注目敬禮)▲君が代合唱(二唱)▲皇居遙拜▲司會者建國詔書捧讀▲建國歌合唱▲司會者發聲萬歲三唱▲國旗降下(君が代吹奏諸員注目敬禮)▲解散

右終つて參列各代表者は白玉山に參拜する事と決定し當日携帶の小國旗は市役所に於て準備し一本金十錢で分與する又同時刻は一般參列出來ざる市民の爲めモーターサイレンを鳴らし默禱する事とし尙又參列者の爲め自動車の減少賃金宣傳の交渉を爲す筈である

全旅卓球大會

第一回全旅順卓球大會は既報の如く卅一日午前十時から旅順公學堂に於て開催參集せる選手百餘名を算し觀覽者多數準決勝戰頃より場內漸く白熱化し優勝旗は遂に師範クラブA組の獲得する處となり盛會裡閉會した當日戰跡左の如し

▲第二回戰
師範A15―二小2、工大18―師範B12、紅葉15―刑務所2、旅公A16―校寮4

▲準決勝戰
旅公A17―工大9、紅葉6―師範A15

▲優勝戰

師範A		旅公A
高橋	3―0	林田
駒	3―1	明星
運	3―0	細川
李	3―1	金
洪	3―0	鵜
計	15―2	

新長官歡迎會

在旅官民有志は四日午後五時から昭和園に於て山岡長官を招じ歡迎會を開催することゝなり會費一圓五十錢にて今三日中正午迄に市役所宛申込まれたいと

第二の反抗 (141)

三宅やす子
阿部金剛畫

再會(一)

佐枝子は父の手紙を、半信半疑ふやうに繰返して讀んだ。

「ほんとかしら、父樣の代理に、寮一さんがこゝにやつて來るつて——あの、私が東京に行つた時にさへ、顏を見せなかつた寮一さんが、はる〴〵こんな田舍まで、出掛けて——あたしの事で出掛けて來るなんて——」

しかし、卷紙の上の墨文字はハツキリと、この土曜日の夜、そちらに到着するから、と時日まで示して居るのだ。

「まあ何て——何て、思ひ懸けないことだらう。私の部屋を、あの方が見やうなんて、そんなことがこの一生に起るとは、思ひも懸けなかつた、のに——來て見て、あんまり田舍びた樣子できつとあの方驚くに違ひないわ——でも趣味まで下品になつたなんて思はれたくない、そこら中、きれいに片づけて——野暮くさい飾りものは一切見えないところに片づけちまはう」

それが自分の身の上の重大事件で來るのだ、といふやうなことは、佐枝子は考へやうともしなかつた。只何となしに、そは〳〵して、落ちつかない數日を送つた。

「元氣がいゝれえ」

鈴衛がさう皮肉を云つた。

「えゝ、東京のお客樣つて、初めて來るんだから、どんなにしてもてなさうかと思つて」

佐枝子は、いつもに似ず、こだはりもなく云つて

「あたし、奧さんになつてから、はじめて自分でおもてなしするんだつたわ」

さう云へば、この村での客は、鈴衛の客は皆料亭でもてなすのが例になつて居た。

「ハヽヽヽ、新家庭の新夫人ぶりか」

さうよ、と云はうとして、佐枝子は息がつまつた。こわすばかりにぐらついた新家庭だつた。

土曜日の夜。

寮一は驛に出迎へた鈴衛夫婦に逢つた。

「これは——恐縮です、わざ〳〵お出迎へ頂いては」

改まつて彼は鈴衛に挨拶し、それから、佐枝子にも頭をさげた。

「いえ、こちらこそ恐縮です」

鈴衛は一寸てれて

「乘合はガタ〳〵していけませんから、車をよこしておきました」

寮一は指される車に乘り込んだ。

夜道を走る自動車。

寮一、鈴衛、佐枝子、さいふ順で、三人は、時々、ポツリ、ポツリと義理みたいな會話を寮一と鈴衛の間に交してゐる。

默々として揺られてゐる佐枝子は、胸が苦しくなり、こんな夜の自動車に乘らなければよかつたと思つた。

默つて居る彼女に氣がついて寮一は云つた。

「お身體にさわりやしませんか」

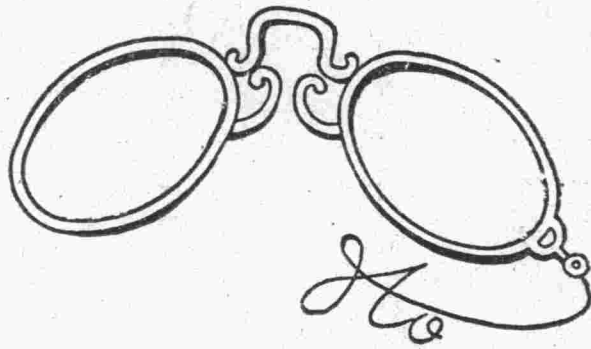
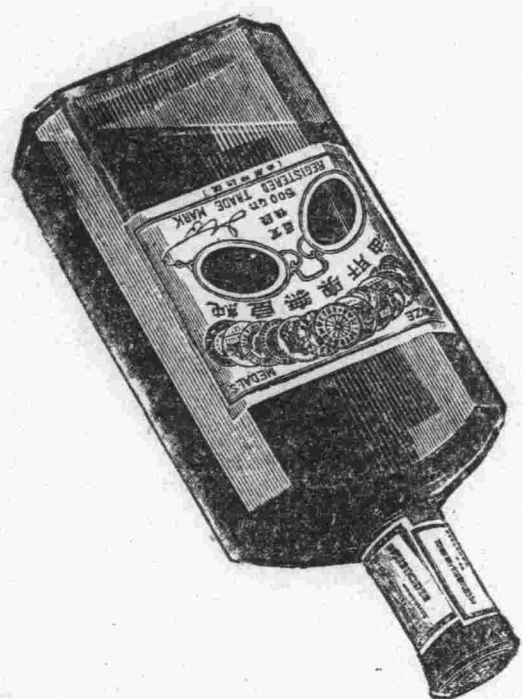
「いゝえ」

何かなしに、佐枝子は、はつかしい氣持で一ぱいだつた。

眼鏡肝油五ヶ年計畫を顧みて

學校肝油服用施設全國に普ねし

縣名	人數
沖繩縣	200人
臺灣	200人
秋田縣	270人
茨城縣	300人
福島縣	300人
樺太	300人
山梨縣	500人
富山縣	550人
長野縣	600人
岩手縣	750人
新潟縣	750人
大分縣	973人
香川縣	984人
山形縣	1.000人
宮崎縣	1.180人
埼玉縣	1.200人
德島縣	1 250人
神奈川縣	1.250人
宮城縣	1.300人
千葉縣	1.500人
和歌山縣	1.500人
佐賀縣	1.730人
愛媛縣	1.750人
北海道	1.972人
高知縣	2.450人
群馬縣	2.500人
栃木縣	2.500人
滋賀縣	2.500人
鹿兒島縣	2.750人
奈良縣	3.250人
福井縣	3.750人
靜岡縣	4.200人
愛知縣	4.300人
鳥取縣	5.750人
長崎縣	5.850人
京都府	5.950人
石川縣	6.250人
岐阜縣	6.780人
朝鮮	6.820人
熊本縣	7.250人
滿洲	7.750人
三重縣	8.100人
兵庫縣	8 450人
岡山縣	9.380人
福岡縣	12.170人
島根縣	13.050人
東京府	13.150人
山口縣	13.750人
大阪府	21.650人
廣島縣	30.000人

實績を得た此のマークを御信頼下さい

弊商會精製の眼鏡肝油が大正十五年小學兒童養護の一助として小學校に於て御採用の光榮を得てより茲に五ヶ年

顧みれば其間文部省體育課の御指示と共に各縣市學校衛生技師の方々よりなる御懇切な御指導並に專門醫家各位の御推奬御鞭撻を得て下記の如く御採用當時に於ける所期以上の校數に達し、極めて良好なる實績を擧げ、眞價ある記錄を作り得ましたことは弊商會至上の光榮と致しますと共に衷心感謝に堪へざる次第で御座います

事業五ヶ年計畫を極めて好成績をもつて完成致しました弊商會は將來に對し一層責務の重大なるを痛感すると共に、更に第二次の目標である『品質向上と施設實施』の實を擧げたく献身的努力を致す決心で御座います

各位におかせられても此上とも邦家の將來に對し重大なる學童の健康增進運動に向つて御貢献致さるゝ事と拜察致し弊商會も亦此使命達成のために參加し將來益々健康報國の實を擧げ御期待に副ふ所存であります

眼鏡肝油服用施設實施五ヶ年に際し各位の御庇護を深謝し併て將來の御指導御鞭撻を賜らんことを切に御願ひ致すと共に茲に謹而御挨拶申上げます

眼鏡肝油本舗
伊藤千太郎商會
伊藤千太郎 謹白

眼鏡肝油服用校總數
1.000餘校

學童服用總員
232.000餘人

昭和六年十二月(現在)

上海邦人の引揚に大汽の兩汽船就航
民國から避難用に
大連市長にトラック廻送注文

【上海三日發】居留邦人内地引揚げの激増で大連汽船の大連丸、長春丸を上海、長崎間航路に就航せしめるに決し四日の大連丸から實施する事となつた、昨日迄の居留民引揚數は一千二百名で本日から五日までの引揚豫定數は三千五百名、五日より八日までは三千五百名以下で既に配船ずみである、市内の自動車拂底に苦み我民團當局は大連市長に本日取敢ずトラック二十臺の注文を發した

避難民運賃半額

【東京三日發】鐵道省では上海よりの避難民の運賃半額を二日夜決定即日實施した

なほその北方十里の地點に居住の鮮農五百名も匪賊の襲來に多大の不安にかられてゐる【奉天電話】

將校團歸國

全國各師團より選拔され最近の支那事情視察中であつた將校團中東北班たる歩兵第二聯隊歩兵少佐原加壽男氏、歩兵第三十一聯隊歩兵少佐島村英次郎氏、近衞第三聯隊歩兵少佐鶴岡信包氏、歩兵第廿六聯隊歩兵中佐竹下幾太郎氏は南支、山東、滿洲各方面の視察を豫定の如く終り三日出帆うらる丸にて歸任の途についた

滿洲號獻金者

われ等の飛行機「滿洲號」の獻金に就いては三日午前中も左記の如く申込みがあつた
▲加越能鄕友會三百圓▲大正タクシー竹尾辰二二五圓▲大連商業組合代表三浦後造五十圓▲不二亭中村喜一、森澤琴、駒見芳江、山崎絹江十圓▲不二亭安藤フジ二十圓

畏し皇后陛下 繃帶御下賜
滿洲事變傷病將士に

【東京三日發】皇后陛下には滿洲事變に關する傷痍將兵に對し三日繃帶三百本を御下賜の御沙汰あらせられたので中村陸軍省人事局長は荒木陸相代理として午後參内拜受した

撫順の近郊で賊團を爆撃
下章黨商務會を脅迫

撫順警察署管内の下章黨、馬站、下哈達を根據として撫順警察新濱各縣下に猛威を振つてゐた頭目趙亞州以下四百名の匪賊は突如二日夜撫順東北四邦里、下章黨商務會に對して現大洋一萬圓及び警察その他銃器一切を三日夜中に提供せよ然らざれば一擧に部落を全滅すべしと脅迫狀を送つて來たので三日未明來護路軍四百は急行して警戒すると共に奉天飛行場より爆撃機一機午前九時撫順の上空を經て同地に赴き賊團を爆撃した【撫順電話】

本溪湖に同胞避難
兵匪來襲掠奪

二日午後十時安奉線祁家堡北方五里の鎭家店子に二百名の匪賊來襲し盛んに掠奪中で同地居住の鮮人二百名中八十名は辛うじて本溪湖に避難してきたが、その他の者は消息たへ安否が氣づかはれてゐる

ホテル大會へ

大連ヤマトホテル支配人寺澤音叡氏は三日出帆うらる丸で内地に向つたが右は來る八、九、十日の三日間に亘り東京ステーションホテルにおいて開催される全國ホテル業大會に出席のためであるが出發に先だち語る

會議の内容は日本ホテル協會の邦人組織に關する件、並びに外人誘致の件で前者は他の旅館とホテルは少し趣きを異にしてゐるから當然考へればならぬ事で後者は觀光局邊りも一生懸命にやつてゐるところだがまあダンスなんてものをもつと自由にやらする事なんか必要でせう、歸りにはダンスホールを二、三見て來ます

大孤山の匪賊討伐　營山警員の活躍

吉敦の奇病はペストでない

吉敦沿線地方に發生したペスト類似の傳染病については滿鐵衛生研究所と長春細菌檢査所において培養試驗中であつたが、最近に至り漸く一種の菌を發見しこれについて動物試驗及生物學的檢査を行つた結果三日本病はペストに非ざることが漸く確定されるに至り極めて急激な流行性を有する傳染病なることも判明した但しこの菌が果して病源體なりや否やは尚不明であると

派遣の朝鮮警官安奉沿線で活動
鮮人は今後滿洲發展を期待
池田總督府警務局長語る

朝鮮總督府警務局長池田清氏はこの程滿洲事變による軍部並に關東廳警官、滿鐵等各方面慰問の爲來滿中であつたが三十一日早朝奉天より南下旅大各方面に挨拶を交すところあつた、午後四時大連港視察の爲來華の池田局長に刺を通ずれば

廿九日に奉天に到りて同地で山岡長官、林關東廳警務局長、江口滿鐵副總裁及び軍部の首腦者と會つて敬意を表しておいた、滿洲事變はその原因を遡ると全く朝鮮同胞に關係するところが多く當方としても充分考へておかねばならないところと思ふ、で既に警察官二百名、警部補七名警部一名を安東縣に應援に出し、今日邊り安奉線警戒の第一線に立つてゐる筈だ、主として平安北道の滿洲に近く滿洲の仕事に通じて居るものを選んだ、自分は例の平壤事變直後七月に現任に就いたものだがその後は大した變りもない、思想犯は多少動いてゐる樣だがこれも目に立つ樣な事もなく警戒の手をゆるめない事にしてゐる、時局以來滿洲から約千五百名の鮮人が歸つて來たが鮮人達は滿洲で發展出來ると非常に喜んでゐる、自分達は三日夜行で北上、奉天に二、三日居つて歸る

サンチアゴ大震災

【サンチアゴ「キューバ」三日發】今曉零時十五分三度目の猛烈な地震襲來し一擧にして當地市街を廢墟に歸せしめた、深夜の事とて忽ち阿鼻叫喚の巷と化し死傷者一千五百名を出した

運轉手殺しの犯人映畫館歸りを逮捕
一日奉天から來連し變裝徘徊

三日未明旅大道路に於て行はれた自動車内の殺人強盜事件は關東州内最初の怪事件として市民を脅威せしめたが、全力を擧げて犯人逮捕にあたつた大連署司法係の俊敏なる活躍の結果さしもに殘忍なる犯人も三日午後四時十分大連署の遠藤、黑岩、三牧、佐々木四刑事の手に逮捕されるに至つた、右犯人は原籍福島縣河沼郡新鄕村大字川井、現住所不定清野三郎（二〇）で、去る一日奉天より來連の際途中で竊取したものである

來連後市内各映畫館を遊び廻り二日午後九時過ぎ中央館より大タクで旅順に赴き既報滿タクで歸連の途中大膽なる殺人強盜を行ひ、その足で大連に入り込み悠々と帝國館で映畫見物をしてゐたのであるが、映畫が終つて出て來る所を前記四刑事の目に止り、尾行の上伊勢町田中吳服店先きの道路に差し掛つた所を死を決した四刑事が四方より飛び附き清野が右ズボンのポケットに入れてある拳銃を取り出すひまも無く高手小手に縛し上げ直ちに本署へ連行したものである、犯人は兇器たるモーゼル二號型拳銃（彈丸一發裝塡豫備彈丸八十五發）及び殺害された運轉手の十八型銀側時計を所持しており、證據品をつきつけられて犯行一切を自白した、なほ軍服を着用して、自からも帝國軍人で目下奉天駐屯の〇〇大隊所屬だと稱してゐるのでその眞僞は目下憲兵隊へ照會中である

自動車運轉手を襲ひ金四圓餘を強奪した犯人であるが、なほその他に餘罪として前科竊盜一犯あると【寫眞は被害者于雲臣】

恐しい犯行自白
奉天でも同樣の殺人

兇行當時の模樣につき犯人の自白する處によれば、二日午後九時五十分大タクに乘つて友人を訪ねるべく旅順に赴いた清野は友人に面會することが出來なかつたので[illegible]まで被害者王雲臣の運轉する旅順滿タク自動車を呼びよせ大連に歸る途中黃泥川トンネルを通り過ぎた時「小便をするから」といつて自動車を停車せしめ、止まる瞬間背後よりモーゼル拳銃で後頭部に二發射ち込み即死するのをみて金品を奪ひ死體をマンホールに隱して、自動車で逃走しやうとしたが運轉を知らぬため車體を崖に打ちつけ、止むなく徒歩で近くの支那民家まで逃げ延び、午前七時頃黑石礁までたどりつき、電車で市内へ大連行きの荷馬車を見つけて潛入したものである、尚清野は去る三十日奉天にても同じく拳銃で

播磨町事件 控訴求刑

播磨町事件川崎力（原判決無期懲役）吉田武、無量秀道、楠沼宗則、西島勝也、田中幸（以上各懲役十五年）船橋平三郎（罰金五十圓）等に對する強盜致死覆審部控訴公判は三日午前十一時旅順高等法院において筒井裁判長、野本、行山兩陪席、岡檢察官立會直に論告に入つたが、川崎以下五名に對しては何れも死刑、船橋に對しては前判決同樣罰金五十圓の求刑あり正午一先づ休憩午後二時から寺島、大内、齋藤、米岡、師岡、河内山の各辯護人より減刑論があつた

滿蒙視察の團體申込み續出
既に東京で十四團體

日本内地各方面からの滿蒙視察團體の申込は益々旺盛を極め三日滿鐵東京鮮滿案内所から大連滿鐵本社に達した報告によれば同所受付けのもの、内實現可能と見られる團體のみで既に左記十二團體を數へる程で尚續々申込があり滿鐵々道部營業課は宿舍の準備その他に頗る多忙を極めて來た、なほ今回の見込團體の視察經路は從來と異り大多數は四洮、洮昂、チチハル、ハルビン、または吉長、吉敦經由を希望してをり東京支社では詳細な必要事項を大連と打合はせてゐるが、たゞ近時匪賊の鐵道附近出沒に一般旅客は不安を抱き目下の所では實施期日を躊躇してゐるの狀態であると

東京製糸原料（二月上旬十五名）日本商工會議所（三月上旬卅名）東北大學（三月下旬廿名）新潟縣廳（四月下旬廿名）東京鐵道局（五六月頃二百五十名）仙臺運輸事務所（五六月頃百名）長野運輸事務所（五、六月頃二百名）靜岡縣青年團（五月中旬廿名）大國屋（五月頃廿名）名古屋鐵道局（五、六月頃二百名）東京輸出實易協會（六月頃五十名）東京府立第一商業（六月頃百名）

寬城子驛長の行方判る

我軍のハルビン出發と同時に逃走行方を晦ました寬城子驛長ドゾズドフは米沙子驛北方烏海にゐること三日に到り判明したが彼は精神に異狀を來してゐる模樣である【長春電話】

滿蒙博覽會の準備

夕刊大阪新聞社常任監査役小畠正幸、同社理事小田緑光の兩氏は來る三月十日より五月十日まで大阪城公園大手前廣場に於て開催の夕刊大阪新聞社主催、拓務省、第四師團、大阪府、大阪市、大阪商工會議所後援、陸海軍兩省贊助の國防思想普及產業勃興滿蒙大博覽會の出品その他準備のため二日來連した

今春巣立つ小學生
大連で約千七百名
大多數は上級學校へ

來る四月の學年末に大連民政署管内に於ける伏見臺、朝日、日本橋、常盤、大廣場、春日、松林、南山麓、嶺前、沙河口、大正、聖德、柳樹屯、周水の各尋常小學校を巣立ちする卒業兒童は男八百四十五名、女八百四十六名、合計一千六百九十一名で、これ等兒童の卒業後に於ける第一希望に就て民政署で調査中であつたがその結果

中學校五百名、商業學校百五十五名、商工學校十六名、女學校五百四十七名、羽衣女學校十九名、女子商業學校百十名、技藝女學校四十八名、家政女學校十一名、高等小學校男百五十二名、女八十名、その他男九名、女五名、家庭男十三名、女二十六名

となり、また聖德、早苗、柳樹屯、周水の各高等小學校を卒業する者の希望は

中學校八十九名、商業學校七十二名、育成學校十六名、女學校二十九名、羽衣女學校一名、女子商業學校十五名、技藝女學校一名、家政女學校二十六名、高等小學校高二へ男百八十三名、高二へ女百二十一名、その他男百五十七名、女四十三名、家庭男十八名、女十一名

といふ統計が出來た、これによつて見る時は家庭に殘る者は尋常科卒業生男女三十九名、高等科卒業生二十九名でその他は何れも上級學校の入學を希望し如何に向學心に燃えてゐるかゞ窺知される、面白いのは商工學校入學希望者で僅かに十六名しかない、併し市理事者は同校を改組して實業學校にせば百三十名の入學希望者ありと說明し市會を通過させたのだから或はその位の數に增加するかも知れないと豫期されてゐる

機關銃一挺により大敵に當り五時間奮戰
日本戰史を飾る隱れた新立屯の
高木小隊奮鬪物語 （二）

敵と火蓋を切つてから二時間ほど經過した、この頃一番接近してゐる敵は正面に二百名ほど背後には百名ほど、その距離は西北の村を占領せる約四五百米突が最も近くて、遠くて七八百米突である

敵の主力 は林の中に位置しながら漸次西北方に移動の模樣である、われには中隊に連絡すべき方法手段は一つもない、敵の大

七十名のものが、小隊の西北方の村を占領するとこの銃眼を利用して極めて正確な射擊を送り出して來た、それと同時に最初の負傷兵が續いて二名出た、中尉は負傷兵の手當をやらせながら依然西側の丘に行つたり來たりして指揮をつゞけてゐる。三時間前に出發した八道壕の煙突ははつきり北の空に見えるけれども全く連絡の途が

ないのである、午後三時頃になるとひつきりなしに應戰してゐる銃はすつかり熱くなつてゐる、ことに彈藥箱は一つ一つ空になつて行く、この彈丸を射ち盡した時が小隊全滅の時である、これと反對に敵の數も火力も一向衰へようともせぬ、却て北方から更に約二百ほどの騎馬隊が南下して來た、中尉は正面の敵はどうやら動態が出來てその

前進も活潑でなくなつて來たが、問題は西北方の村の敵だと思つた、先づこいつをたゝいてと思つた。

豫備陣地 の偵察に赴いた時である、中尉が右大腿の骨をめちや／＼にやられたのは、この頃最も勇敢な敵の十名許りのものは東側の丘の一角に足をかけてそこから狙擊したのである、小隊にとつては極めて危險な時期である、この機を逸せずに支那兵の總突擊があつたら凡そ結果の想像はつくが我にはまだ勇敢沈着しかして剛膽な分隊長が居る、坂見延衞と云ふ伍長の上等兵がそれだ、そして射手以下三時間にも餘る交戰に皆一騎當千の勇者となつてゐる、そして支那兵には[illegible]の明に缺けてゐるのが何より我にとつての幸ひである「小隊長殿」耳許で[illegible]なる分隊長の聲である。「畜生、何くそ、やりやがつたな……あいつたやつゝけろ、そしてあとは乃公と共にこゝで死ぬんだ、このこぶ（丘）このこぶだけは最後の一人となるまでかぢりついて居るのだ。そして銃側を皆の屍で埋めるのだ」中尉が負傷してから後の坂見分隊長の動作は一際目立つて來た、この分隊長だけはと思つた

自分の眼 の狂ひのないのが中尉にはうれしかつた、中尉は昨年の秋岡山地方で行はれた秋季演習に聯隊旗手としての最後の御奉公を終へ、すぐ動員とともに機關銃小隊長の命課を受けたがそれ以來目をかけてゐた坂見上等兵のこの勵さは誰にでも自慢出來る吹聽出來る立派なものだと思つてゐた、この頃地形のない所の敵は[illegible]

繼續するだけで、突擊には移つて來ぬ、村を占領した敵もそこからは出て來ぬ、こぶ（丘）に足を掛けたのもほとんど射殺されてしまつた、こうしてもう五時間も戰鬪を續けてゐるのである、たつた十九名でしかも機關銃一挺を頼みとして、孤立無援の中に約一千に近い敵と戰ひ續けてゐる事實は日本の戰史にも恐らく類例を見ないであらう、もつとも相手が相手だからとも言へる、けれども弱いと見れば滅法強くなる支那軍である、しかも數に於て我に五十倍する優勢さである、これに持ち堪へ得た戰鬪振りは實際に驚嘆に値する、

松江部隊 である、平時はその鈍重だと評ぜられてゐる、或はそうかも知れぬ、がこゝに山陰健兒のねばり強さが活きてゐる。

兒童入學屆 來る十日限り

市内各小學校の七年度入學申込は二月十日を以て締切るが期日まで申込まない時は學級編制の都合上他の區域の學校へ廻される事があるからこの際至急に申込んで貰ひたいと

彌生籠球勝つ

彌生高女職員團對滿鐵體育係OBの籠球試合は三日午後四時より彌生高女體育場にて黑田氏審判の下に擧行したが二十六對四で彌生職員大勝した

旗揚相撲延期

【東京三日發】新興力士團の旗揚げ興行は前夜來の雨のため四日に延期された

苦力が埋沒

三日午前十一時ごろ井上組請負北崗子埋立作業場にて岩石爆破のため掘鑿作業中高さ約二丈の岩石が放壞し作業中であつた苦力三名その下敷きとなり直ちに救出作業を行つたが内一名苦力孫某は即死二名は重傷を負つて博愛病院に收容された

藝妓行方不明

市内逢坂町六九第一豐榮樓江頭イチ方抱へ藝妓又平こと山田君子（二七）は去る一日午後九時ごろ出花に行くと稱して外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので樓主は三日市内各署に搜査方を願出でた

安樂椅子

變り者のサツマ温泉主村田君は長春の大島聯隊長に「兼光」の業物を贈つたり自分の指揮刀（特務曹長）に傳家の銘刀を打ち込んだりして事變以來時局のために活動してゐるが

◇先日來は軍隊慰問金募集のために入浴料の半額値下げを斷行し男湯の入口と女湯の入口に醵金箱を備へつけ値下げによる殘金をその箱の中に入れて貰つて來た

◇そして一月三十一日限り募金を締切つて醵金箱を開いて見ると男湯の方が三圓八十錢、女湯の方が四圓六十錢、合計八圓四十錢あつたと一日市役所へ屆て來た

◇處が面白いのは半額入浴券賣出しも三十一日限り締切つたが、明日から賣る入浴券は普通料金に復すると知つてかその夜に限り半額の浴券が飛ぶ樣に賣れ賣上げ三十數圓あつたとは嘘のやうだが嘘でない話である

曙の鐘 (186)

倉田潮　河野想多畫

海賊（二）

よもぎは懐中電燈の灯でマリアの死體を照して見た瞬間に、思はず叫び聲をあげて、たぢたぢとあとによろめいた。

それはマリアの死體ではなく、人間のたけほどもある大きい女の人形だつた。餘程上手な人形師の作つたものであるらしく、土によごれながらもなほ生けるが如く微笑をもらしてゐる。

「ふーん」と謎の男は何故か殘念さうに唸つた。「あけみの奴にからかはれたのだ」

マリアを殺したと見せかけ、またその死體をこゝに埋めると見せかけ、實は人形を埋めておいて、あけみが謎の男をからかひ愚弄したと思つてゐるのだらう。暫く彼は口惜しげに顔をしかめてゐたが

「よもぎさん」と低い氣味の惡い聲で語り出した。「よもぎさん、マリアの死體を掘返さうなぞと、こんなところまであなたを連れ出して飛んだ失禮をいたしましたね。私は今までいろいろこの事件の秘密を探らうと全力を用ひて見たのですが、解りさうなところまで行つて何時もかう云ふやうに背負ひ投げを食はされるんです。今迄は剛太郎を殺したのもマリアを殺したのも、あけみだとにらんでゐたのですが、これでは改めて初から考へ直さなければならぬことになりました」

「でも、これに力を落さずに、何卒私達の爲に今後も力になつて下さい。私達には外に誰一人味方はないのですから」

謎の男は默つて考へてゐた。夜更けの寂しさがしんしんとよもぎの體に迫つて來た。が、やゝ暫くして、その男は箱をもとのやうに土中に埋めながら、

「これで此の屋敷の犯罪を探らうとしたのは二度目だ」と獨り言のやうに云つた。「二度とも尻尾をつかまへてゐながら正體がつかまらないのか」

「二度と云ふのは」とよもぎはその言葉を聞きとがめた。「今度の事件で二度この屋敷に忍びこんだと云ふ譯ですか」

「いいえ、一度は私の十六の歳、もう二十年近くも前のことでしたよ。その時は妹のことで此の屋敷に忍びこんだのです」

「あなたの妹が何うかされたんですか」

「ええ」

と彼は暫くまた默つて考へてゐたが、

「よもぎさん、この機會に私の名や素性を打ちあけませう」と決心したらしく云つた。「しかし、これはあなたを信じてあなたにだけ打ちあけるのですから、他言は決してしないで下さい。私は平津五三郎ですよ」

「平津五三郎」

とよもぎは叫んで顫えあがつた。平津五三郎と云ふのは一年ばかり前新聞に毎日その名と恐ろしい其の兇行をうたはれてゐた一種の海賊の頭目だつた。部下には日本人五十名支那人卅名があり、主にカムチヤツカ近海を荒し廻つてゐたが、中にも最も殘忍を極めた犯罪はロシアの三千八百トンの汽船をほだしたところ、その船員が抵抗したので數百名を慘殺して死體を總て水葬にふした事件である。日本の當局はロシアの抗議により平津五三郎を逮捕しようとしたが、何うしてもつかまらない。おそらく支那内地にでもさんざんしてしまつたのだらうと云ふことで、今日までうやむやに事件が葬られて來てゐるのだつた。ロシア側ではまたこの英雄的海賊を日本政府がわざと逃がしたのだと疑つてゐるそのことも新聞に出てゐた。

よもぎはやうやく驚きからさめて「あなたが平津さんですか」と以前の仕打ちを悔ひるやうな調子で云つた。「それであなたの妹の方と云ふと……」

「お杉ですよ」

「清島お杉さんのことですか」

「さうです」

「では、あなたは清島榮一さんの御兄弟なのですか」

「さうです、實は私の本名は清島五郎と云ふのです。榮一が駒太郎さんにいろいろ御世話になつてゐるさうですね」

よもぎは驚かずにはゐられなかつた。清島一家は大山の昔の主人で、徳川時代には清島城の城主であつたとのことである。それが零落したので、お杉と云ふ幼い長女が大山家に引きとられて、この屋敷でなくなつてゐることは駒太郎の口から時々聞かされたことがある。また其の死因が疑はしいそのことも併せて駒太郎に聞いたことがあつた。が、榮一に兄弟があらうとは——しかも、その兄弟が怖ろしい平津五三郎であらうとは夢にも思つたことはなかつた。

＝滿日俳壇＝ 募集規定　次回課題「春淺し」「殘雪」「森」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切二月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲原稿送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

お斷り　本日の挿畫と昨日の分と取違へましたからお斷りいたします

けふの放送

大連 JQAK　二月三日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後五時四十分　ニュース
▲華語講座「テキスト第七十七課」滿鐵學務課秩父固太郎
（以下内地中繼六時三十分）
▲講演「國民防空の急務に就て」陸軍少將宇山熊太郎
▲節分追儺式豆撒式狀況（芝神明神社より）社司諏訪忠元
▲聲色「吹き寄せ」柳亭春樂
▲清元「月花茲友鳥、山姥」淨瑠璃清元巴榮太夫、同壽美太夫、同初榮太夫、三味線同正壽郎、上調子同榮治
（以下大連放送局より）
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「販馬計」第二席　連京倶樂部々員

第卅八回 滿日勝繼碁戰

（湯淺氏二回勝二回目）先　湯淺唯二氏（先二級）　濱田俊介氏（三級）

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

○一八七九の處さる　●一二一ワ　五　●一二五ヌ　四　●一二九（七九の處劫さる）　○一三一ヌ　九　○一三六リ　五　○一四〇ロ十七

○一一二二チ　四　○一二六カ　三　●一二三チ　六　●一三七ヌ　五

●一一三チ　三　●一一七ワ十二　○一二〇ヌ　八　○一二四チ　三　○一三八チ　四

○一二四ル　四　○一二八チ十三　●一三一リ　八　●一三五リ　二　●一三九リ　六

—【7】—

中央公論　二月號

曩に新春劈頭、論文に將又創作に現段階最高の水準を示せる巨彈を投じて思想界や文壇に非常な衝撃を與へ、且つ大方よりの絶讃を博せる中央公論は、二月號に於ても亦、ヨリ一層の精緻と絢爛たる編輯陣を張つて、流石は我國文化の最高峰たり且つ天下の大評論誌としての偉容と貫録とを首肯させるに充分である。

編輯目次を一瞥して先づ感じさせるのは、周到なる計畫の下になる時事問題の多彩なる把握である。第一に、卷頭論文「金再禁を批判する」（猪俣津南雄）あるは誠に時宜を得たる本格的大論文と言ふべきである。論旨が徹精緻、蓋し必讀すべきものである。此の外、世界的問題になりつゝある亞細亞モンロー主義批判（蠟山政道）あり、時事問題としては、曰く、犬養景氣はいつまでつゞく、解散の犬養内閣論、選擧買收物語、錦州問題、相撲爭議等々多彩を極めてゐる。尚、特ダネとも言ふべきものに「廣田大使暗殺陰謀事件」「東北農村・飢餓地帶を歩く」（下村千秋）がある。共に最も關心必讀すべきもので、前者は是に依て戰慄すべき國際外交の裏面を曝露し、後者は特派視察になるもので讀む者の肺腑を貫かずには措かぬだらう。

また好評のグラビヤの頁として今月はソウエート映畫大觀がある。徒らに名のみ聽き親しく接し得ぬソウエート映畫に對する渇望は是れによつて醫すことが出來やう。

創作欄の堂々たる顔觸れに伍せる新人嘉村礒多氏の「途上」は發表さるゝや俄然天下の視聽を率き文壇に衝動を與へた力作である。

要するに、編輯の正確さと豪華は中央公論の特徴であり二月號に於て最もその特質と意義とを闡明してゐる。敢て天下の讀書家に必讀を奬める所以である。（發行所・東京丸ビル五階・中央公論社・定價八十錢・郵税三錢）

◎大衆の信頼を荷つて益々好評の　ライオン齒磨！

齒の衛生に關する知識が一般に普及されて齒磨や齒刷子の選擇が近頃きびしく言はれるやうになつてきました。

併し實際にはまだまだ隨分見當違ひの選び方をしてゐる方があるやうです。

齒磨を選ぶのには、齒磨と齒の硬度、口腔粘膜、唾液、口腔常在菌との關係は勿論、その趣性の如何を考慮しなければならぬのですから、實に困難です。

さういふ雑然とした、齒磨の選擇難に迷つてゐる際、ライオン齒磨の如き齒磨專門の會社で出來る優秀品のあることは、何といふ心強さでせう、ライオン齒磨の品質や効果や趣性がどんなに優れてゐるかは今いふまでもないでせう。

ライオン齒磨の有する、三拾有餘年の經驗と專門的研究とは、齒磨に關するあらゆる問題を解決して其理想を實現し、如何なる點から見ても、非難の無いやうになつてゐます。

世人のライオン齒磨の品質に信頼することが益々深く、その賣行が彌々壓倒的に増加して行くのは、全く偶然ではありません。品質の劣つた舶來の名に迷つて、外國製齒磨を使ふ無識者が、だんだん減つてゆくのは、自然の現象とは云ひながら、國產獎勵の今日、喜ばしい事です。

春子母堂　自ら文相を語る

今をときめく若き江戸ッ子大臣鳩山一郎氏の母堂春子刀自が自ら筆をとつて一婦人雜誌に所感を發表されたとしたら、それは實に珍らしいことだ。「婦人世界」のみがよくなし得たところだ。幼年少年期にわたる教育の苦心には、大きな教訓と深い慈愛と涙なしには聞かれない深さが含まれてゐる。世の母も、人の子も、輝く文相を仰ぐと共に、この自慢息子を大成せしめた「母の涙」を思はねばならない。是非御一讀下さい。

滿洲日報

滿洲事變費告示

【東京三日發】政府はさきに財政上の緊急處分を行つた滿洲事變費中外務省所管費三百三萬五千圓を七年度勅令に依り公債金を以て支拂ふ事の勅裁を經て二月三日これを告示した

上海の支那軍今朝來猛然攻勢砲撃を開始
我本部と陣地を目がけて

【上海特電三日發】今朝に至り敵は攻勢に出で我偵察機に頻りに射撃を開始し九時半敵の第一、二砲彈は我陸戰隊本部裏に飛來し第三、四彈は我野砲陣地に續いて本部横自動車々庫前に飛來敵の射撃漸く正確となつて來た、午前十時三十五分敵彈は又も本部自動車々庫に飛來す、我軍の石川第五大隊は本部を發し鐵道線路に沿つた前線に出動した

【上海特電三日發】今朝十時三十分に至り彼我の砲戰は愈々猛烈となり敵の砲彈は唸りを生じて北四川路を越えて施高塔路の裏手の月迺家花園裏方面に飛來してゐる

【上海三日發】敵は一夜の中に破壞された陣地の陣容を立直せるもの〻如く午前九時五分俄然我本部と射的場の砲兵陣地目がけて〻撃を開始し、本部構内營庭に二發落下し、一は我砲兵陣地直前に炸裂した、我はなほこれに應射せず飛行機を以て敵狀を審らかに偵察して居る

我軍勇敢に之に應戰
敵の迫撃砲陣地に突入す

【上海特電三日發】今朝八時過ぎ我偵察機二機は各支那陣地を偵察後機上より機關銃を連發し敵を威嚇しながら引揚げた

【上海特電三日發】今朝九時半我陸戰隊は昨夜の戰鬪に我野砲、迫撃砲の掩護射撃により東横濱路附近の陣地を構築せる敵の迫撃砲陣地に突入した

【上海三日發】敵の砲撃に對し九時半我野砲陣地は八サンチ〇門の砲門を開き砲撃を開始した、この掩護の下に我第〇大隊は裝甲車を先頭に前線の左翼から進撃を開始し迫撃砲も盛んに發射激戰中

【上海特電三日發】敵は更に眞如を距る六哩の龍華に顧祝同軍および魯滌平軍現はれ江灣路陣地の第〇大隊は午前十一時敵陣地を目がけて裝甲車を先頭に突撃を開始した、なほ顧祝同魯滌平兩軍は約五萬の兵力を集結し日本軍殲滅を企圖しつ〻ありとの報あり

わが空軍も遂に出動

【上海特電三日發】午前十一時敵彈はまたく〻□學校及び本部附近に落下、わが陸戰隊危險に瀕し居留民は再び極度の不安を感ずるに至つたので午前十一時十分わが飛行機〇〇臺は上空に現はれ戰線の上を旋回し始めた

【上海特電三日發】午前十一時砲戰はいよく〻激しくわが方の砲彈は正確に敵の陣地に命中しつ〻あるが敵の着彈も馬鹿にならず本部附近、施高塔路一帶に落下す、十一時十分わが飛行機〇機〇編隊現はれ敵の砲兵陣地上を旋回中である

【上海三日發】敵は我飛行機に對し各所から高射砲を發射したが我方は未だ爆彈を投下せず

空軍愈よ爆撃を開始

【上海特電三日發】わが飛行隊は我軍の一時後退を俟つて爆撃を開始すべく十一時二十分一まづ歸還したが一時沈默した敵は又また砲撃を開始し目下尙彼我砲戰を交へつ〻あり、我砲兵陣地より撃ち出す砲聲は耳を聾するばかりである

【上海三日發】敵陣地偵察中の我爆撃機は天通安路方面の敵を爆撃することゝなり同方面に出動中の我第〇大隊は後退を開始した

【上海三日發】我軍は十一時二十分同濟路第五區を占據した

米の輿論緩和

【ワシントン二日發】上海事件重大化にアメリカ官民は極度の緊張を示したが、日本がアメリカに對し支那が上海增兵を止めるやう勸告されたしと要求し支那も亦戰鬪を終らしむるやう行動されたしと要求したこと判明したので、その緊張もやゝ緩和された

上海事件費

【東京三日發】政府は今回の上海事件軍事費も緊急勅令案によることゝし目下大藏省と軍部間で協議立案中であるが多分三日中には計算上の案を得四日の臨時閣議又は五日の定例閣議において決定直に上奏樞府に御諮詢の手續きを執る筈である

上海調査費

【ジユネーヴ二日發】本日理事會は議會に先立ち上海事件調査委員會費用二萬五千フランを可決した

中立地帶案には同意
我軍の撤退には反對
三國提議と帝國の方針

【東京三日發】英、米、佛三國大使の申入れに接した芳澤外相は二日午後八時四十分より外務省に大角海相の來省を求め右回答につき協議を遂げ十時終了、回答は大體左の趣旨を含むと見らる

一、日本軍の軍事行動は租界防備の必要上爲したもので日本は素より事を好むものに非ざるを以て支那側が誠意を示し敵對行爲を中止するにかては素より停戰の議に應ずるに吝でない

一、停戰の條件その他實行細目については現地の實狀に基き協議取決めらるべくそのためには現地において在上海關係國官憲に依る聯合委員會を設け熟議せしむべきものと認む

一、日本政府は英、米、佛三國政府の好意的努力を多とする、然し事態收拾の先決要件は支那軍隊の攻撃停止及び相當距離の撤退に存するを以て政府は支那側の誠實により各國の努力の有効ならん事を希望するものである

一、不增兵問題については今後支那が如何なる態度に出るか不明のため直ちに同意し得ない、

中立地帶設定案は主義上同意するが日本軍は日本在留民が多數居住せる事實より撤退せしめんとするが如き案には同意し難し

尙芳澤外相の意向はこれ等の案の細目に就いては現地において爲すべきものであると觀てゐる

解決案の二大難點
華府外交界觀測

【ワシントン二日發】當地外交界では英、米兩國が日支兩國に提案せる平和解決案に對し日支兩國が何れも優先的な要求又は留保を爲さず又中立國の助力を以て交涉するとの二點が重なる難點であるといふ意見がある、何となれば日本は直接交涉を主張し支那は上海の損害賠償を要求するならんと考へてゐる

調停案とわが態度
大角海相語る

【東京三日發】英、米、佛の調停申入れに對し大角海相は二日夜芳澤外相との會見後左の如く語る

上海事態急迫に鑑み緊急聯盟理事會開會
英代表の發議によつて

【ジユネーヴ二日發】軍縮會議の開幕に先立ち突如二日午後二時卅分から日支問題に關する聯盟理事會の召集を見たのはイギリス外務省の訓令によりイギリス代表から發議せられたもので議長はタルヂユ氏（現陸相にして軍縮會議佛主席全權）と發表された、この突然の發表は東洋における時局の緊迫を意味するものとして會場の內外は異常の亢奮を示した、殊に軍縮會議のため全世界五十五ケ國からの政治家が集まつてゐる最中にこの理事會が開かれることは多大の注目に値する、而してこの理事會は午後二時半から開會され軍縮會議は午後四時半から開會と公式に發表された

【ジユネーヴ二日發】聯盟理事會はイギリス代表の要請により日支の緊急事態を審議すべく緊急公開會議を午後二時三十五分から開會した、フランスの軍縮主席全權たるタルヂユ氏、ボンクール氏に代つて議長席に着き、この會議がイギリス政府の要求に基き召集せられたる旨を簡單に開會の辭を述べ全權の自治領相トーマス氏を離れイギリス代表として出席した軍縮く、トーマス氏曰く

イギリス政府は極東の情勢をこのまゝ放置する事は不可能だと思惟するに至つた、來る日も來る日も最も重大なる新事件のニユースを齎して來る廣汎なる地域に亘る戰鬪は實際上繼續的に行はれてゐるのである上海は今や小銃機關銃大砲及び飛行機等參加する連續的衝突の中心地となつた、此等は戰爭でないが他の凡ゆる點で立派な戰爭が現に進行してゐるのである、國際聯盟は斯くの如き事態に無關心たり得ない、若しこゝが持續されるなら聯盟規約も不戰條約も九國條約も遂に世界への信を失ふべきは必然である、アメリカ政府が今回の情勢に關し聯盟國と全然その見解を同じくしてゐる事は聯盟にとつて決して異議なしとしない、過去四月間吾々は幸ひアメリカから滿腔の同感と支持を受けた、又最近の次の理事會は理事國に對し日支兩國に向つて外交上の意思表示をなす事により理事會の努力を支持すべき事を要請した、これに對しイギリス其他はこの理事會の要請に應ずる用意ある事を示したが、不幸にして此等の努力は今日迄成功に至らなかつた、茲においてイギリス政府はアメリカ政府と協力し現在の悲しむべき情勢を終熄せしむるため更に新なる努力をなすに決した、而して英米兩政府は他の各國政府も亦同様の行動に出づべき事を信ずるものである、よつて英米政府は東京南京の兩政府に對し次の三項を要求する正式抗議を提出した

悲しむべき情勢の終熄に新なる努力
英代表が熱心に强調

一、一切の暴力行爲並に敵對行動の準備を中止せられたし

二、上海の日支双方共軍隊撤退し共同界この上保障するための中立地帶を設定すべし

三、不戰條約並に十二月一日理事會決議の精神に基き日支兩國は一切の懸案解決のため即時交涉開始せられたし

と高らかに澄みきつた聲で述ぶる處あり、トーマス代表は初め起つて演說してゐたが起立しその演說は聯盟の習慣でない事を悟つたが聽て椅子に腰をおろして諄々述べたてた、各代表はトーマス代表の演說の一語一語に熱心に傾聽し傍聽席の數百の目は一齊に我日本代表佐藤大使に注がれた、この時佐藤代表はと觀れば身ゆるぎもせず輕く杖をつきながら一切の感慨を面にあらはさず悠然と座した、その光景は實に聯盟初まつて以來の劇的光景である、更にトーマス代表は本日午後イギリス下院で外相サー・ジョン・サイモン氏のなした聲明の前段、卽ち一月廿九日

支那軍は攻撃を中止し速に撤退せよ
佐藤代表聲明書要旨

【ジユネーヴ二日發】我佐藤代表は上海事件勃發以前支那側が休戰協定を侵害して日本軍を攻撃したる眞相と支那軍隊の上海集中事實を詳述した一月二十九日附聯盟事務總長ドラモンド氏宛の長文の聲明書を通譯して朗讀させたが、その內容は左の如きものである

當時支那は日本軍に對し總攻撃準備中であつたと諒解するがこの支那の態度は支那が從來聯盟に對し執り來つた手段とは全然矛盾してゐる、吾人は支那が速かに攻撃的態度を中止し、日本軍に對し多大の脅威を感ぜしむるが如き地域から卽時撤退せん事を要望するものである、日本外務大臣は英、米、佛各國大使に對し在上海のこれ等各國代表をして支那軍の攻撃停止と軍隊撤退を實行せしむるやう各本國政府から訓令あらん事を求めた

休戰約束を破つて支那軍が挑戰
佐藤代表の聲明書

右演說を終るや佐藤代表はイギリス代表に答ふるには余が先週金曜日ドラモンド總長に提出せる書類を朗讀せん事を求む、よつて通譯はその長文の聲明書を朗讀する處あり、聲明書は上海事件の勃發以前の出來事を詳細に亘り記錄しかつ支那側が休戰の約束を破つて日本側へ攻撃し支那軍大集中の狀況を詳說して日本側では支那が日本に對し總攻撃準備しつゝあつたものと諒解せる事を指摘したものである

上海日支衝突以來の事件並に外交關係及び上海におけるイギリス軍兵力及び香港からの增援隊派遣に關する文書を朗讀した後「東洋において每日新しき事件が起りその地域もまた日に擴大しつゝある」を指摘し就中上海の事態は最も險惡でありと聯盟はこれらの事態を默認すべからず」と繰返し强調した

英米と同様
佛の立場說明

フランスは東京駐剳大使及び南京駐剳公使に對しイギリスと同樣な抗議を日支兩國に提出するやう訓令した、又在上海フランス陸戰隊は增加されるであらう

右聲明書朗讀終るや佛代表タルヂユ氏はフランスの立場を左の如く說明した

伊代表の希望

次にイタリー代表グランジ氏はイタリーはイギリス政府と同樣の手段を執つた余は極東の形勢が速かに好轉せん事を希望すると述べ次いで

ドイツも協力

ドイツ代表フオン・ウイサツカー氏は

余は他の諸國が執つた手段を直ちに本國政府に報告しドイツも一致の行動を執る事とすべしと述べ

支那代表挨拶

支那代表顏惠慶氏は比較的簡單な左の挨拶をした

本代表はイギリス、アメリカ兩國の執られたる手段に感謝するものであるが、イタリー、フランス、ドイツの三國も今や英米と行動を共にするに至れる事は本代表の欣快とする處で、今回の理事會の行動を全部詳細に南京政府に報告する考へである

中立地帶創設には日本は承認しやう
佐藤代表意見を表明

次いで佐藤代表は

余は列國の努力が極東の形勢を一掃するに與つて力あるものと信ずる、而して上海において英米、佛、伊その他の列國が執つた處置については余の本國政府により躊躇なく受け容れらるゝであらう、余は極東の特殊事情に鑑み出來得る限り列國と協力せん事を確言する、上海において中立地帶を創設する事は上海における日本の代表者が前に支持した處であつて恐らく余の本國政府は滿足を以て中立地帶設定の件を承認するであらう、又上海に對する今後の處置につき聯合協議をなさんとの考へについては同地における形勢の特に緊迫せるに鑑み余の本國政府が既に提議した處であつて、余はイギリス代表によりかゝる提案を見た事を欣幸とすると答ふる處あり

議長の結論

最後に議長タルヂユ氏は結論として

本理事會開催の目的卽ち本理事會は英、米、佛が執つた手段に合流する事は茲に確實になつたと述べ午後三時廿五分散會した

英、米、佛三國が日本の意向を聞いて調停を申入れて來たのは列國が次第に上海の事態の眞相を理解しつゝある事の證左と見らる、列國の擴大防止のため好意的努力をなしつゝある事は諒とせねばならぬ、しかし一切は支那の不法、不信に依るため支那の誠實が明瞭にならぬ限り支那の口車に乘るわけには行かぬ調停案は受諾出來るものと、出來ぬものとあり、具體的協定は現地の出先官憲の間において實狀に基き取極めればならぬ

つゝあるものは次の如きものである、卽ち上海及び其周圍に一定の區域を設定し支那軍隊を一切侵入せしめぬやう列國間に協定し支那側に承認せしめ同時に條約の形式をとり恒久性を持たしめる事、不可侵區域を工部局警察並に支那巡警を以て治安維持に當らしめるといふにある、殊に第十九路軍第一師は上海附近にあり、反蔣派の軍隊である孫科、陳友仁等の使嗾により戰鬪行爲に出てゐるのでその目的は中央政府を混亂に陷いれしめんとする內政的策動に基くもので如上の案の制定は租界を內亂から救ひ出すもので列國は共同租界防衞のため須らく支那軍の撤退を迫るべきだと主張してゐる

米高官否定
强硬態度說

【ワシントン二日發】日支紛爭問題に對し英、米、佛、伊は協調して平和回復を要求する强硬態度を採るに至るならんとの報ジユネーヴより當地に入つたので一般に驚愕してゐるが米政府高官は右に關し

アメリカは聯盟加入國でない事を指摘し、紛爭當事國の招請あれば斡旋は爲すが上海事件に就き努力してゐるのはアメリカ國民の保護のためで之以上の要求はしてゐないといつてゐる

佛伊も參加
英米調停案に

【ワシントン二日發】英、米兩國の上海事件調停案に對してはイタリー、フランスも參加するものと期待されてゐる

ドイツも列國支持

【ベルリン二日發】ドイツ政府は日支兩國政府に上海事件に關して列國の態度を支持すると通告した、中立地帶設置には言及してゐない

反蔣派の內政的策動
解決策一意見

【東京三日發】上海事件解決案として外務當局一部の間に有力化し

英下院論戰
上海事件對策に關し

【ロンドン二日發】上海事件は英下院の問題となり獨立勞働黨のランスベリー氏は日本の行動に對し猛烈に非難した、卽ち「日本は海賊行爲を行つてゐるものだ」との暴言を吐き議長も耐へ兼ね同氏に對し友交國のことについて發言してゐることについて注意を促しサイモン外相は立つて

上海事件は共同租界に近接せるところで起り、ためにイギリス人の生命財產に危險を生じたのを見て重大なる關心を持つてこれを顧慮し政府は直に日支兩國に對し現狀を救濟すべく凡ゆる力を致されたしと勸告し同時になほ本事件に關係ある他の諸國と密接な協力をなし東京、南京兩政府に次の提議をなしその受諾方を强調した卽ち

一、今後日支双方共暴力行爲停止

二、今後敵對行爲のための動員乃至如何なる種類の準備もなさざること

三、日支兩國戰鬪員は上海における總ての折衝點から撤退

四、中立地帶を設け現地領事團の手で組織された機關でこれが警備を行ふ

五、日支いづれも優先的要求又は保留をなすことなく中立國の助力を以て日支間の未解決の紛爭を解決すべく卽時交涉開始すること

の五條でこれは米佛伊の同意を得た

と發表するや滿場歡呼の聲でこれを迎へた、續いてランスベリー氏は政府は上海のイギリス國民を安全にする政策もなく聯盟も頼むに足らざることに注意を促すため下院を解散するとの動議提出を要求したが議長はこれを拒絕した

世界不安の眞最中に一般軍縮會議開かる

【ジユネーヴ二日發】國際聯盟一般軍縮會議は世界不安の眞只中に開會代表派遣を届け出でた國は五十五ケ國**人類平和史上空前の大會議**である定刻五分前各國代表入場、午後四時三十一分議長ヘンダスン氏司會の下に開會、議場は何となくざわめき心なしか各國代表の顏にも何處か暗い影が宿され頻りに私語を囁き合つて落着かない風、日本全權代表はフランス代表の一列後議場中央三十八番目の議席に陣取り、**松平全權以下緊張した面持で終始微動だもしない、英米獨と主要國主席全權は何れも未だ姿を見せず**何んとしても寂しい、傍聽席は全く立錐の餘地なく滿石國際都市を思はせる、ヘンダスン議長の聲は顫えた帶びて議場に反響、會衆に非常な印象を與へた、斯くて軍縮會議の劃期的開會式は終りを告げ軍縮の事業は茲にスタートを切つたが、その前途は必ずしも平坦でなく議場の**不安な空氣が行手の行路を暗くしてゐるかの如く**であつた

主要國の首腦缺席
出席者は豫定の約半數

【ジユネーヴ二日發】軍縮會議開會の本日迄に參着した各國代表總數千五百名、新聞通信記者五百餘名でこれを最初豫想された參加代表數三千名、新聞通信記者數一千名に比較する時は共に約半數を減じた譯であつて軍縮會議に對する最初の各國の意氣込みの減退を想像し得られる、殊に英、米、佛其他主要國代表部の實際責任者は一向に顏を見せず、殊に英米の如きは支那の狀態切迫に鑑み數日政策を練つてゐる有樣なので全權代表部は會議開會後直に聯盟に對し復活祭まで會議の大綱の目鼻がつかなければ日本は代表の一部を殘し全部引揚げる事を提議するに決した

名譽議長にスイス大統領

【ジユネーヴ二日發】ヘンダーソン議長の開會演說後軍縮會議は小憩、更に再開、議長よりスイス聯邦大統領モツター氏を軍縮會議名譽議長に指名する提議が提出せられ滿場異議なく贊成、モツター大統領も欣然これを受諾した

軍縮委員任命

【ジユネーヴ二日發】國際聯盟帝國事務局長澤田節藏公使は軍縮會議軍縮方式委員會委員に任命された

支那調査委員

【ロンドン二日發】聯盟の支那調査委員會は愈々フランス汽船パリ號で三日フランスのシエルブールを出發アメリカ經由先づ東京に赴く事となつた

避難邦人輸送配船

上海方面の時局の經過と共に萬一を慮つた上海における軍部並に外務當局は避難民輸送計畫の一端として大連に對し大連、上海間定期船の日程を左の如く變更すべき旨通告あつた、卽ち五日大連出帆豫定の奉天丸を四日出帆に變更すると共に今後は入港日の翌日出港さす筈だと

山岡關東長官

山岡長官は政務打合せの爲め田邊

『東亞の謎』休載

第三艦隊幹部

【東京三日發】新に編成された第三艦隊司令長官野村吉三郞中將の幕僚參謀長に前海軍潛水學校長島田繁太郞少將、勝雄中佐を參謀兼副官として軍令部出仕水野毅介少佐らが夫々三日任命され四日東京發佐世保に向ふ筈

野村中將適任

【ワシントン二日發】野村中將の第三艦隊司令長官任命に對しアメリカ海軍々令部長プラント提督は頗る滿足の意を表して語る

野村中將とは永い間の友人である、氏の任命は眞に適任で上海事態の處理を來し得る

臨時聯盟總會召集論擡頭

【ジユネーヴ二日發】日本海軍が南京を砲撃したとの報道當地に達し軍縮會議開會に際して聯盟方面に異常なる衝動を與へ會議參加のため既に五十餘ケ國の代表が全部が來て居り通告次第聯盟規約第三條第二項による臨時聯盟總會を開き得るから卽時これが召集をなすべしとの意見漸く聯盟にたかまつてゐる

顏代表策動
聯盟筋の認識不足に乘じて

【ジユネーヴ二日發】支那代表顏惠慶氏は軍縮會議で各國代表が集つてゐるのを好機とし聯盟筋の認識不足を利用し日本に不利の決議でも作らせやうと何時總會召集案を持ち出すかも知れぬ形勢である聯盟筋では上海に對する認識不足のため昨今聯盟の空氣は惡化しつゝある模樣である

江口副總裁赴奉

江口滿鐵副總裁は經濟調查會その他の要務を帶び三日午後九時三十分大連發八木秘書役帶同奉天に向ふ七日內田總裁の歸連までには歸社すると

秘書課長帶同來る十日出帆のばいかる丸にて上京の豫定であると

相川氏不出馬

郷里長崎縣より立候補のため歸省した相川米太郎氏は今回出馬斷念した旨三日當地友人宛入電あつた

人事

▲中谷政一氏（前關東廳警務局長）東京府下西巣鴨町堀之內一〇四一番地に轉居

▲那須皓氏（東京帝大敎授）來連中のところ三日出帆うらる丸にて內地へ

▲橋本傳左衛門氏（京都帝大敎授）同上

▲寺澤會叡氏（ヤマトホテル支配人）同上

▲名越隆城氏（智恩院慰問使）同上

▲十河信二氏（滿鐵理事）三日朝發奉天へ

▲村井啓次郎氏（大連火災海上保險會社長）宿痾の痔疾治療の爲め二日近藤病院に入院

蛇行

閑院宮殿下の參謀總長御就任、今又伏見宮殿下の軍令部長御就任を拜す、國家多事の秋、萬民只感泣。

上海皇軍激怒、支那も停戰を申出つ、驟か分つたか。

◇

國際聯盟理事會二日突如開會、但し議する所は英米追從のみ、調查委員會より一歩進んだ善後委員會が出來さうな空氣。

◇

國聯總會を開かんとの議あり、それこそ屋上屋。

◇

支那各地不穩中、漢口だけ平穩、省主席何成濬の意に由る、何は將派、上海で騷ぐのは廣東派、事件と內爭との關係遁るべし。

双城堡驛前で敵情偵察中の長谷部〇團長

重要軍事會議を開き 皇軍哈市へ進軍開始

大島、平田兩〇隊が先發北行 多門司令部双城堡着

二日午前十一時十五分長春を出發した多門〇團司令部の第二回軍用列車は午後七時窰門を通過、同十時二十分陶賴昭を通過三日未明双城堡着完全に長谷部〇團と合致した なほ最後の第三軍用列車は本日午前七時三十分窰門を通過したので同九時三十分中央に進行した第二軍用列車と相前後して双城堡に到着、茲に天野〇團を殘し主力部隊は双城堡に全部集結したので三日首腦部は双城堡に於て重要軍事會議を開いた結果大島 平田兩〇隊を先發として直ちに北行せしめるに決したもの如くである、なほ三日午前中長春を出發の豫定である天野〇團は軍用列車を組織して長春より直行、そのまゝハルビンに入城することゝならう【長春電話】

空陸相呼應して北進 司令部は双城堡設營

長春に集結された飛行隊地上勤務員は二日長春發軍用列車にて二回に分かれ双城堡に出動したが、三日は有力なる航空機〇〇臺双城堡飛行場に出動進出せしめ、これを根據として三日午前尖兵隊としてハルビンに向け徒歩にて行軍した長谷部〇團大島、平田兩〇隊と連絡の上偵察に任ぜしめることゝなつた、多門〇團司令部は當分双城堡に設營、本日軍用列車で長春を出發する天野〇團主力の到着を待つて大擧在留民保護のためハルビンに前進する豫定である【長春電話】

哈市入城は明日か

【双城堡特電三日發】双城堡における長谷部〇團長は三日午前二時到着豫定の多門〇團長を待つて過般の同地における戰鬪状況を報告した上いよくハルビン入城についての打合せをなし負傷兵を託して同日双城堡を出發北進する筈であるがハルビンの形勢が非常に急迫して在留邦人が一刻も早く皇軍の入城することを待つてゐるのであるから急遽北進を開始する、しかし途中では敵の抵抗があるものと豫想されるからハルビン入城は四日の正午頃になるだらう

天野〇團長春を出發

長春に待機中の天野〇團主力部隊は愈々三日午前十一時五十五分軍用列車を組織し市民の熱誠こめた萬歳を浴び乍ら北行した、之で長春に於て待機中の北滿出動部隊全部が出發したこととなる、また旅大方面から派遣された自動車隊は三日午前十一時三十分長春着、同隊は前に整列して待機中であるが、四日軍用列車に積んで北行重要任務につく筈【長春電話】

丁超軍哈市南郊集結 散兵壕を築いて戰備

ハルビンより長春憲兵隊に達した情報によれば現在丁超の軍隊は千名ばかりなりそれが乘合自動車を利用して頻りに舊ハルビン及び墓地方面に移動しつゝあり舊ハルビンには三ケ列車が押へつけてある、志士の碑の附近には散兵壕が掘られ不完全ながら鐵條網がつくられてゐる、また別報によれば丁超は二千餘名をハルビン、インテンダンスキ方面に集結配備を固めつゝある【長春電話】

剿匪軍應援を拒絶

吉林省長官熙洽氏は二日伊通縣駐屯の歩兵六百六十五團長朱力卒に剿匪軍應援のため出動せよと命じたが拒絶したので同團は反吉林軍に内通の疑を生じ目下調査警戒中である、なほ同團は第二十三旅長李桂林の部下で何れも灰色視されてゐたものである、なほ吉林剿匪軍の本部は旅隊屯に移動した【長春電話】

雪降る北滿の荒野に 悲壯な告別式執行 双城堡戰死者を弔ふ

【双城堡特電三日發】去る三十一日双城堡における激戰で名譽の戰死を遂げた、四十三勇士の告別式が二日午後二時双城堡南方ロシア人墓地に於て執行された、長谷部〇團長、大島〇隊長以下全部隊が參列しさゝやか乍らいとも嚴肅な葬儀であつた、酷寒零下三十度の寒天に粉のやうな雪は北滿の荒野をかすめて降りしきり悲壯の極みである、靈前には戰友がせめてもの供物にと眞心こめて作つた粗末な造花が供へられ身をきるやうな凛烈な寒氣にも拘らず將士はその場を立ち去らうともせず今はなき戰友の前に額づき嗚咽の聲さへも洩れる、かくしてしめやかな告別式を終つたが將士の面上には復讐に燃える悲痛な決心の色が浮んでゐた

劃期的記録を作つて 自動車隊双城堡着 落伍車もなく大成功

【双城堡特電二日發】二日午前七時半及び同九時半に長春を發した關東軍自動車隊は午後五時頃双城堡に到着したが輸送指揮官落合少佐は語る

一日に三十五里の道をしかも雪が降つて途中は道路もなく非常に惡い行程を走つたさいふことは日本は勿論世界にもその例なき劃期的記録をつくつたものである、これは軍事輸送の上からみて特別の強行軍である、しかも一臺も落伍したものもなく大成功であつた

昨夜窰門で敵兵撃退

芳賀大尉指揮の獨立守備隊第〇中隊は鐵道警備のため二十八日夜十時二十分長春發米朱子にて十七臺の自動車を捨て、徒歩にて二日午後六時半頃窰門に到着護路軍の逃走したあとの兵舍に假泊したところ支那側正規兵約四百名から襲撃を受けた芳賀大尉は僅か〇〇名で兵舍外に散兵せしめこれを猛烈に攻撃し撃退したわが軍の損害は負傷一名敵の損害は死體十、馬四の死體四、捕虜六を殘して敵は暗の中に逃走した、同隊では敵が再襲撃の擧に出るやも知れずと二日夜は徹宵警戒に努めた【長春電話】

けさ窰門を出發

二日夕窰門で有力なる敵の正規兵四百名餘と交戰、之を撃退した獨立守備隊第〇中隊の於保〇隊は三日早朝窰門發、陶賴昭に向け出發、更に北進を續けると【長春電話】

蔡家溝窰門 戰死傷者

蔡家溝に於ける戰鬪に於て平賀〇中隊の名譽の戰死傷者氏名左の通り

戰死 山形縣東田川郡泉村大字荒川字水澤上等兵今井六十一

負傷 軍曹(山形)五十嵐丹吾、上等兵(同)相澤伊勢治、同(同)若生由松、一等兵(東京)森川治作、一等兵(山形)菅澤竹次郎、同(同)一江藤衛

また窰門における獨立守備隊芳賀大尉部下の負傷者は左の通り

一等兵(岩手)花坂儀平

双城堡の戰死者

三十一日双城堡附近の激戰に於て戰死せる氏名左の如し【奉天電話】

宮城縣黒川郡粕川村字粕川 一等兵 高橋大作
同栗原郡若柳町字川北落江四二 上等兵 渡邊芳治
同志田郡鹿島臺村廣永潤花 同 菅原次男
同加美郡鳴瀬村四日市場字敷 一等兵 遠藤意雄名
同栗原郡有馬村一三三 上等兵 佐藤勝雄
同男鹿郡女川町宮ケ崎二 一等兵 佐藤盛
同栗原郡志波姫村大字姫鄕 上等兵 佐藤文雄
同仙臺市二十人町一四七 一等兵 常松重律
同遠田郡涌谷町六三六 一等兵 長崎清一
同志田郡鹿島臺村廣永上庄下 一等兵 山谷眞一
同本吉郡大島村四七 上等兵 小野寺盛男
同男鹿郡女川町尾浦 一等兵 小杉忠吾
同栗原郡長岡村小野寺澤 軍曹 佐藤七郎
同本吉郡十三濱村字崎山二三六 上等兵 西條直一
砲兵一等兵 小玉五郎

遼西の曠野に奮戰した 我勇士の遺骨歸る けふまた悲しき船出

遼西の曠野を鮮血で染め名譽の戰死をした勇士等、戰史にも未曾有の壯烈極まる全滅を遂げた松尾輜重兵中尉以下廿五名、並に十倍する敵兵の頑強な攻撃に遭ひ無念たほれた不破少佐以下十五名、その他を併せて五十五體の遺骨は白木の小箱に收められ白布に包まれ戰友遺族に護られ乍ら折柄の朔北の風に吹かれ吹かれてそれぞれ懐しの原隊に向けけふ定期船うらる丸で旅立つた

出發に先だち大連市主催の慰靈祭は午前八時半より埠頭待合室において神式をもつて行はれる寒風も物かは熱誠あふるゝ市民は續々詰めかけ香華さ弔旗の林立した祭場は靜寂な最後の慰靈の神事が行はれ修祓降神型の如く齋主の祝詞があつて小川市長祭文を朗讀する悲しくも痛ましい亡き勇士等を弔ふ聲は副々として祭場に滿ち並居る參集者の間に忍び泣きの聲が聞える次いで山岡關東長官の弔電、辛島民政署長の弔辭あり滿鐵よりは江口副總裁が鄭重な弔辭を述べる次いで和歌山、岡山各縣人代表立つて挨拶をなす、これに對し遺族に代り遺骨輸送指揮官井上三等獸醫は謹んで答辭をのべ神官遺族市長その他順次玉串の捧奠をなすこの間殊に第三十聯隊附歩兵大尉河野基英氏春江未亡人がいたいけな嗣子信夫君外三名の遺兒の手をひいて禮拜する有様にはなみ居る參列者が今更乍ら涙をしぼる

かくて九時半、森本運輸所長、飯島水上署長、松原第二埠頭長等の先導で靜かにかれて設備のうらる丸中甲板祭場に運ばれる、この時は既に岸壁構内、ベランダは學生團體一般市民その他で充滿され定刻、お別れのドラが悲しくひゞいて、見送り市民一同はお別れの國の鎭めの喇叭の音に襟を正し午前十時うらる丸は勇士五十五體の遺骨を護つて故國に船首を向けた【寫眞はうらる丸へ移される勇士の遺骨】

河野大尉遺族も同船し歸國

亡き勇士等の遺骨と共に河野大尉遺族も哀しい氣持を抱いて故山に歸つて行つたが、春江未亡人は出發に先だち遺兒信夫君、佐和子さん、ミチ子さん、誠三君等の無心な様に今更の如く感慨無量の態で語る

色々皆様に御世話になりました今更何も申しますまい、只皆様の御親切が身に沁みてうれしう御座います、今後はそれ等子供等相手に暮し亡き夫の名譽を汚さないつもりです、取敢ず原隊の高田に歸ります

聖旨を傳達 山内侍從武官來旅

第一、第二遣外艦隊及び旅順無線電信所へ御差遣の山内侍從武官は軍艦八雲にて三日午前八時三十分旅順港外着久保田駐在武官佐藤無電所長北村吳竹艦長倉永若竹艦長は直に挨拶のため八雲に到り、九時三十分八雲を艦載にて一同東港碇泊中の第十三驅逐隊を賓觀、聖旨を傳達の上十時五十分旅順海軍無線電信所より一先づ水交社に到り晝食の上午後一時十分から關東廳海軍入院患者に對し親く御慰問の聖旨を傳へ午後二時白玉山納骨祠に參拜同三十分ヤマトホテルに入つたが、同日午後六時から水交社に於て久保田駐在武官の招宴になる晩餐會に臨み陪賓として山岡長官大谷要塞司令官、林總務、日下内務兩局長、永山市長、矢澤衛戍病院長、渡邊關東廳醫院長を始め在旅海軍武官數名列席する

けさ撫順で 火藥爆發 三昧混和室

二日午前十時四十分撫順古城に火藥製造所第一號工場の火藥爆發し五間と四間の木造三昧混和室は一大音響と共に沖天高く舞ひ上り影も形もなくふき飛んだ、急報により寺田署長以下現場に急行目下原因調査中であるが日支人各一名負傷者を出したのみで幸ひに被害僅少である、右に關して久保次長を訪へば

又やつたネ、もうこれで爆發が出來て以來四度目だ、三昧混和さいふのは火藥は弱いが大變危險でネ、何とかしたいと思つてゐるがあれ程安くて露天掘の爆破作業にあれ程適當な火藥は外にないのだ一日半噸位のものが爆發したのだがあれ程のものが爆發したのに一人の死者もなかつたのは不幸中の幸である【撫順電話】

自動車の運轉手を 乘客が拳銃で殺害 眞夜中の旅大道路老座山のトンネル東で兇行

二日午前七時頃旅大道路老座山トンネルを東方へ去る三十米突の地點に旅一〇一號自動車が西側の岩石へ衝突してゐるのを通行中の電信工夫が發見、車内を見ると運轉臺に生々しい血痕多量にあるので驚き直に黄泥川派出所へ屆出でた右の報に接し係官が現場に出張取調べたところ運轉手は該自動車より數米突の先東側の下水排口に後頭部に貫通銃創を受け即死して隱匿されてある死體を發見した、右は旅順タクシーの運轉手王雲璧(二二)といふもので二日午前零時過ぎ旅順迎賓館の自動電話から

俺は大連のタケウチさいふものだが今から大連へ歸るから一臺至急よこしてくれ

との電話があつて出掛けこの兇行にあつたものである、既に兇行後數時間を經て犯人は逃亡してゐるので日本人か支那人か判明しない目下取調中

蔓口と時計を強奪し逃亡 大體犯人の目星つく

右殺人事件の急報により大連署では小崗子、沙河口兩署に手配すると同時に千葉司法主任以下現場に急行したが、檢證の結果運轉手殺害の兇器はブローニング拳銃で被害者所持の金二圓五十錢在中の蟇口一個及び十八型銀側時計クローム鎖付き一個が強奪されてゐることが判明したので大連署では直に市内各質店に手配した、なほ犯人は不明であるが

この事件に先立つて二日午後九時半頃市内中央映畫館より大タクにて旅順に赴いた擧動不審の一日本人姿の者があり又同じく二日市内某質店に「自分は〇〇のものだが」と目下〇〇〇〇中の〇〇の者と稱して時計を入質したるものがある點、又ブローニング拳銃を所持してゐる點等より捜査の歩を進めてゐる

犯人捜査に山狩り 被害者は支人

被害者王雲璧は日本語が極めて巧で支那人とは思はれない程であるから日本人運轉手と思はれ相當金を持つてゐると見られたのであらう、略犯人の見當がついたので旅順警察署では壯丁數十名を傭つて山狩に着手した

朝鮮警官來滿

滿洲警備の應援のため朝鮮總督府より派遣された警官二百名の内百二名は二日來滿し安奉線、鳳凰城草河口間の警備部署についた【奉天電話】

霞町の小火

二日午後十時ごろ市内霞町七番地橋本元一氏方より出火せるが家人が發見大事に至らず消し止めた損害輕少原因はストーブの傍に掛けてあつたオーバーにストーブの火が引火したものである

高山署長夫人

安東警察署長高山勝司夫人露子さんは豫て入院加療中のところ二日夜永眠した四日葬儀を行ふ由

萬歳亭の開店

今度伊勢町四四番に新らしく開店した萬歳亭は、當家獨特の調理に更らに念入の調味を加へ精々安價に會席を仕出しする事になつた

天氣豫報 四日 北西の風 晴一時曇

各地温度

	三日午前十一時	昨最低日
大連	零下五、〇	零下六、四
旅順	同五、五	同五、〇
營口	同九、〇	同九、二
奉天	同九、七	同一二、〇
長春	同一一、一	同一三、九

けふの小洋相場(十一時) 金百圓は一六四圓三〇錢

正誤 三日附本紙夕刊掲載大連機械決算公告中資産の部に於て什器二一四、一七六・五〇とせしは一二、六三〇・五六の誤植に付訂正す

武門血笑記 (43)

下村悦夫作　布施長春挿畫

紅蓮の焔（三）

「おや、青馬の、お神山颪ぢやないよ、よしておくれ、憚りながらお蓮は、お前に怒鳴られる程、耄碌はしないんだから」
「耄碌はしない筈だ、その色氣ぢや……」
「何だつて？もう一度云つて御覧それが、白鷺のお蓮に云ふ言葉かい？」
お蓮は、膝頭をぐいと立て直して、美しい三ケ月眉を、屹ッと逆立てた。
「何を……」
と、氣色ばんで怒鳴り立てやうとする六兵衛を、横合から
「まあ、兄貴、姐御も、靜かにしねえ」
「話は靜かにしたつて、解らあ、まあいゝつて事よ」
と、牛次と平六が、仲へ割つて入つた。
が、六兵衛は
「うつちやつて置け！女だと思つて、下手に出りや……」
勢り立つ。とお蓮も、
「女がどうしたつて、六兵衛！」
膝を立てるのを、
「よしねえつてばさ……」
「こちとらの云ふ事も聽きねえ」
「話はその上で……」
牛次と、平六に、龍圓まで加つて、双方を宥めた。
「でれ、姐御、話しと云ふなあ外でもねえだが、今青馬の兄貴も云つたやうに……」
と、平六
「こゝを、明日にもづらかるに就いて、あの侍を、姐御はどうなさらうてえのか、それを聽きてえ、てな事で、お前さんに來て頂いたのだが」
「妾しや、あの侍さんを、連れて行くと云つたら、お前達どうしやうとお言ひなの？」
お蓮は、眉の毛一つ動かさずにすつぱりとこう云つてのけると、微塵も恐氣のない、活々と冴え澄つた、黑水晶のやうな美しい瞳でヂロリと一座を見渡した。
「そりや、姐御……兄貴待ちねえつてば」
と、平六、側から口を出さうとする六兵衛を、手で制して、
「手前達あ、皆んな不服なんでござんすが……」
「妾の云ふ事を、聞かれえとお言ひなんだね？」
「まあ、そう云つたやうなわけで」
「ほ、ほ、ほ、お前達まで、そこいらの甚助のお仲間入りをしやうてえんだね」
「何にッ……」
と、血相を變へて立ち上りかける六兵衛を、後の三人が、
「まあ、まあ……」
「兄貴つてば」
「待ちねえつて事よ……」
と、左右から、無理矢理に引止めて、平六、
「ぢや、姐御、御前さんどうしてもあの侍を離されえてんだね」
氣色ばんで、乙に絡んだ調子。
「くどい！白鷺のお蓮は、お前達の指圖は受けないよ」
お蓮は、叩きつけるやうに、齒切れのいゝ聲で、こう云ふと、すつくり立ち上つた。
と、續いて、血相を變へて立ち上つた平六、六兵衛、牛次、龍圓の四人。
「こう、待ちねえ、姐御」
と、平六、續いて青馬の六兵衛
「もう、姐御とは云はせねえ、こうなつたら、仲間の作法に從ふか、でなきあ……」
ドスの利いた含み聲。
四人は、いづれも懷中に含んでゐるらしい匕首の柄に、手をかけて、お蓮の周圍を取卷いた。
「ほッ、ほッ、ほッ田舍芝居の眞似ならよしてお呉れな、小娘ぢやあるまいし、相手は、白鷺のお蓮なんだよ、いゝかい、見な」
お蓮は、懷に入れてゐた右の手を、すつくり出すと、一握りの紙包を、手掌の上で、開いて見せた。
「この間中から、お前達の樣子が怪しいと思つてゐたから、肌身離さず持つて居た、懷鐵砲の火藥よ。ほんと圍爐裏の中へ投げりや、この家もお前さん達も、皆んな木端微塵になる迄さ、ほ、ほ、ほ…」
お蓮は、玩具のやうに、手掌の上でその紙包を輕く揺りながら、からくと笑つた。

ハアマン　毒杯に踊る女　常盤座上映

（キネマ漫語）

パテー社一九三一年度特作品映畫「ハアマン」（日本名毒杯に踊る女」十卷はタイ・ガーネット原作監督、エド・スナイアダ撮影、ヘレン・ツエルヴツリース嬢主演、ノキリップ・ホルムス、ジエームス・グレインス、ヘンリイ・スキート、ソカルド・コルテッツ、マジヨリイ・ランボウ嬢らの助演で大連には御馴染の顔觸れであるが、ハバナ港のインチキ・カフエーを背景とした港物語でストオリイを彩るコメデイ・リリーフが素晴らしく効果的なので面白く見られる全發聲映畫である

物語は脫走して捕はれる閤の女から始まり、インチキ・カフエーに働く酒場の女同志の人情に惡漢やマドロスを配した愛慾の爭鬪を描いたもので物凄い亂鬪を最後にハピイエンドとなるロマンチックなものである

主演者のツエルヴツリース嬢やコルテッツ、ホルムスらはそれぞれ清純な氣持を持つ酒場の女や惡漢や船乘の氣分を好演技してゐるが、何といつてもこの一篇は愉快な二人の水夫に扮したグレインスとスキートの達者な演技に喰はれてゐる

このコメデイリリーフを活かした手腕はガーネットの老練な監督手法によるところであるがスキートとグレインスのやるギャグがまたよく考へられてあつて少し氣になる程繰返して終ふところ矢張りつり込まれてゐるが最後に觀衆の興味を狙ひ、また最後のハピイエンドへつなぐ物凄い亂鬪シインの展開と相俟つて、そのメロドラマ的手法は立派にその効果を示して大衆ファンの喝采を約束する獵奇的興味とマドロス氣分とコメデイを盛つた特異な港町の色彩を持つ作品である

ハアマン　パテー社の…發寫眞は主演者酒場の女のガーネットの描く港物語十…リリース嬢と悄夫のコルテッツ【常盤座上映】

噂話

杉村チヱ子一行がいろ／＼な緯緯から豫定通り船に乘らなかつたので▲常盤座はその時の用意にとつておいた「ハアマン」を五日から上映することにプロを變更した▲この第一巨彈に次いで六日から中央映畫館は傳明の「榮冠淚あり」▲向ひの映樂館はプレイガイドの後援で「市街」をいよ／＼上映し▲流行語になつた同映畫の名セリフをそのまゝ各館とも「惡く思ふなよ」とクリーンヒットを期待してゐる▲さてどこが「惡く思ふなよ」になるか寶館は小笠原雷音熱演の書入作品お淚頂戴映畫「白痴の逆殺し」で蹶起り▲帝國館は「仇討以前」大日活は寛壽郎の「仇討双刄錄」と久し振りで卍巴の混戰に入る

獻金琵琶大會

筑前琵琶旭會大連分會では來る六七日の兩夜六時から遊樂館にて軍隊、警察官獻金演奏大會を催すが會費三十錢で曲目左の如し

▲六日（土曜日）四條畷百武綺美、衣川吉久旭朋、坂本龍馬法練山龜井旭甲、禪丸（五絃）法慈山原旭和、橘中佐法本山綱本旭昇、小栗栖法堀山德重旭一、堅田落法遇山廣瀨旭榮、安宅の關法洸山上地旭靜、靈馬の漣法擢山堀越旭幸、人柱法人山田中旭暢、常陸丸（四絃）法塔山大林旭遂、大石主税法愈山川原旭華、茶臼山法日山田中旭師

▲七日（日曜日）櫻田の泡雪吉川旭芳、滿水圓福旭滿、小栗栖法塔山落合旭湖、西郷隆盛法魏山坂元旭暉、北條時宗法懺山加藤旭明、旅順の乃木大將法畔山和森旭勇、堅田落法暢山藤本旭韻、玉の御聲法巖山古内旭州、坂本龍馬法蹈山篠原旭芳、濱松城法秀山江崎旭友、淺茅の方法就山萱野旭成、東郷大將法嵘山畑島旭峯、高松城法命山水島旭山

男女〇〇の毛虱をこつそり退治する秘法

入浴前にイマヅ虱取粉を撒布して、すりこみ風呂にて流へば、親毛虱は全滅します。尚卵が殘つて居りますから五六日後、もう一度退治すれば完全にとれます。一度に一錢以内の藥しかいりません。

尚イマヅ虱取粉は、名は虱取粉でありますが、毛虱ばかりでなく蝨は勿論。南京虫。蚤。頭の虱。蟻。油虫。衛生大掃除の際の虫退治。衣類書畫の虫除。犬猫の蚤・ダニ。鷄の羽虫。牛馬の虱・蠅・蚊除。庭木・盆栽の虫等、あらゆる家庭害虫を、ごく少量でわけなく全滅する、今津佛國理學博士苦心研究の、專賣特許藥であります。各家庭にぜひ一罐は必要であります。到る處の藥店にて販賣。但し効かぬニセ物あり、是非イマヅと御指定下さい。尚家庭害蟲の退治法は大阪西淀川區大仁本町三今津化學研究所が相談に應じます

本社特選　新棋戰（其五）

香落　八段△花田長太郎
六段▲平野信助

【圖は七九飛迄の局面】

▲平野氏「持駒」銀歩歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一		馬				v金	v銀	v桂	v香
二					v金		v王		
三			と		v銀	v歩		v歩	
四					v歩		v歩		v歩
五		v歩		歩	v角				
六							桂		歩
七					歩	歩	歩	歩	
八		金			金		玉		
九		歩	v飛				銀	桂	香

△花田氏「持駒」飛桂香歩歩

△五九飛　▲七三飛成
△九一馬　▲六六歩
△七三馬　▲同　角
△七九飛　▲七二歩
△六四歩　▲六七歩成
△同　金　▲六六歩
△六八金

【土居八段講評】△花田君は五九飛と折角の大駒を防戰のため打つては以下攻勢を採るに困難なるもしかし五九香打では敵に六六歩と打たれ見込ないので本譜の五九飛打は已むを得ない△但し七三馬と交換したのは如何強く指し切り樣に導く方針の下に七四歩同龍、五五馬、同歩、三六歩と指す處である。

社說

英米の調停案
實際的提案を望む

上海の我軍は、二日午後出動命令を受け、砲擊を開始した。我軍が砲擊を開始せざるを得ざる狀況に置かれた事は、昨紙に書いた通りである。此日東京に於ては、英、米、佛の三國大使は、我芳澤外相を訪問して、停戰調停の提議を爲した。更に英米は、國際聯盟理事會の緊急會議も召集された。以て上海事件が列國に與へた衝動の如何に大なるかを見る可く、其れだけ英米も國際聯盟も、滿洲事件以上の眞劍味を示すであらうと思ふ。

◇

英米の提案は兩國の共同なるもの〻如く、佛國は別に同樣の提示を爲し、伊、獨の二國も亦聯盟理事會に於いて同感の意を表して居る。英米の提案は勿論日支兩國に致されたもので、內容は東京、南京、廣東政府よりの通信に多少の差異を認むるが、要するに（一）一切の戰鬪行爲を停止する事、（二）今後兵力の動員並に敵對行爲の準備を爲さざる事、（三）兩國軍隊を相互に接觸せざる樣に撤退せしめる事、（四）中立地帶には中立軍をして治安の任に當らしむる事（五）紛爭解決の爲めに日支直接交涉を開く事に歸する。此の提案は、其主旨に於て結構だが其中には、實際に當りては我國の絕對に實行し難きものがある

◇

試みに（一）（二）に關して云はんか、斯かる注文は、之れを支那に向つて發せらるべく、之を日本に對して要求せらるゝは、我國の迷惑する所である。元來日本軍隊の行動は、國策遂行の手段たるものでない。只實際の事情已むを得ずして誘致されたものである。日本の態度は支那次第だ。支那側の態度が一變して、戰爭を挑發せず、我國に於て何等の準備をも必要とせない事を確認するに非ざれば、斯樣な約束は出來ない。支那の出方次第では、我國は更に動員しなければならぬかも知れない。これは云ふまでもない事である

◇

（三）の兩國軍を接觸せしめない樣に双方が撤退する事は、實際上頗る難事である。何となれば、不規律なる支那軍の撤退に關しては、其の取極を最も嚴重にせれば實際の効果を擧げ難い。支那では政府と軍隊とが、完全な統制關係を持たないが、其間に聯絡はある。時には聯絡なきを裝ひて聯絡を取る。軍隊は時に白旗を掲げて敵を誘致し、一方に停戰を約して、他方に攻擊態度を執る。滿洲に在りても亦上海に在りても、其例頗る多い。これは列國の旣に十分に知悉してゐる筈である。斯る狀態の下にありては、十分な武力を以て支那軍隊を監視するか、然らざれば實際に支那軍隊が相當地點まで撤退した後でなければ、我軍を撤退せしめる事は出來ない

◇

（四）は絕對に日本の承認し能はざる所である。此れは現在日本軍が、警備の任に當つて居る租界の一部を、他國の警備に委任す可きを要求するものである。是れは日本が安心して同意する能はざる所である。便衣隊の租界內に於ける活動現在の如く、邦人の生命財產に對する危害を企圖する事彼の如き時に方りて、更に支那軍不信の實情から見て到底工部局の警察力と、三國軍隊の警備力とに信賴する事が出來ない。更に之れに關聯して、吾人は我軍隊の駐屯地を何處に求むべきかの問題を提議せねばならぬ。旣に支那軍隊を信ずる能はざる以上、我軍は軍艦內に退却する事は出來ない。又租界の內外何れにせよ、強ひて日本軍隊の駐屯地を制限するならば適當の地域內に相當の防禦工事を施して、何時支那兵の襲擊を受けても、對抗し得可き丈の十分の準備を必要とする。無防禦狀態のまゝにて集合する事は出來ない。之れ不信な支那軍に、攻擊の好餌的誘惑を與へるに過ぎないからだ。

第五の直接交涉の問題は只今の問題でない。

◇

以上說く所によりて、英米提案の主要點には、我國の容易に受託し能はざる所あるを注意せねばならぬ。而して斯くの如き不適當な提議を爲す三國は、支那政府の狀態、政府と軍隊との關係、軍隊の統制力、兵卒の素質等に關して、其の實情に暗きか、又は實情を顧慮せざるものであるを斷ぜざるを得ない。曾つて國際聯盟理事會が滿洲事件に關して、邦人の保護を支那官憲に委任して、日本軍が即時無條件に撤退せん事を強ひんとしたのと同樣である。何れも支那及び現地の實情に即せざる提案であつて、机上的抽象論たるを免がれない。吾人は國際聯盟理事會、若くは英米諸國が、今少しく實際に即した研究によりて、實行し得べき調停案を作るに到らん事を望まざるを得ない。其れには先づ、支那軍隊の素質、軍隊と政府との關係、支那の內爭關係、便衣隊の制止方法等に關して考慮を拂ふ必要がある。

混亂に包まれた大上海
沸騰する人の群と叫の渦巻き
黑煙、地響き、銃と劍の林
事變直後上海にて　日森特派員發

世界に反日の電波をまき散らす、通信員は飛び電報は沸騰點突破、

◇

午前一時皇軍水上機は流星の如く飛び廻る、二時、三時、砲聲は豆をいる樣に傳はる、地と空が騷しくつぶされる頃商務印書館から火を發し、怒火は降り出した小雨の空を赤く染め出す、暗黑の街上は銃と劍の林、中國正規軍公安隊の捕虜がトラックで何處へか流されて行く、碎かれた夜が明らむ頃、一時射擊が止んだであらう、靜まり、ピストルの可愛？小銃聲が思ひ出したやうに傳はる、小雨の止んだ轍の街は商務印書館のモウモウたる黑煙のみが全市に警告を示してゐる、早朝の北四川路は交通全く杜絕、北四川路に便衣隊の死骸五六個がうづくまつてゐる、本部報告皇軍兵士六名戰死、重傷者三十名、

支局から出た筆者は、陸戰隊本部に驅け附けた スコット路角に構へてゐた野砲隊の警告で一先づ同隊に附く事にしたが、中國軍の不規則的に放す射擊に對する應射は暗夜の空氣を粉微塵に碎く、斯くて魔都上海は、エロ、グロの上海は一瞬にして恐怖に怯える近代科學の戰場と化したのだ、眞茹の無電は全

廿八日午後六時からだ、いや廿九日午前四時からと陸戰隊參謀が漏らした、閘北には公安局から立退きを命令した、運搬車は一時間十弗でも雇へない、廿八日は午前中から支那街閘北から租界內への避難者が血走つた眼をしながら急ぎ、への手荷物を抱て走る、喚く、黃包車は近距離は御斷り、黃包車巡捕の惡名ある工部局巡捕は一人も姿を見せない、南京通りに次ぐ北四川路一帶の繁華さも全市無警察狀態で文字通り氣味惡い沈默に包まれてしまつた

◇

魔都上海からポリスを引去つたら事だ、今常時から非常時への切替で沸騰する人の波、叫びのこの渦卷き十二時、一時、二時混亂は益々高まる、午後四時頃北四川路中部校で帝國海軍旗が上つた、領事館の爆彈騷ぎがパッと擴がる、六時未だ終は切られず、刻々と闇にとざされ **虹口サイド閘北の人の彼は何處へか吸込まれてしまつた、** 七時、八時、軍用自動車のみが街を突拔ける、近代都市上海の燃料、邦人紡績は一齊に七萬の勞働者に對してロックアウトする事を決定租界工部局の特別戒嚴令の布告は各所に貼附され、人心はいやが上にも動搖する中を十時頃からは闇の街を傳令オートバイが驅ける、銃劍き銃の **陸戰隊兵士は本部前の庭で萬歲を三唱、各分所部署に附く**

時に廿九日に入る事三十分、萬歲の聲が闇をこだまする時、各地から豆をいる樣な小銃機關銃の音が軍事行動開始を知らせる、租界內北四川路サイドの **街燈は空中戰を豫想されて殘らず破壞** され、凡ゆる窓の洩火は空砲を放つて閉ざした、**新春の月は絕好の戰爭月夜**——そう筆者が從軍する野砲隊の隊長は陣中戀の一彈を放つた、

◇

敵の裝甲車が停車する北停車場に相對する北四川路橫濱橋附近天通庵驛の中國兵營に正向する陸戰隊本部、閘北、吳淞に通ずる陸戰隊射擊場後面、狄思威路東方の支那街、老靶子路から北停車場へ、セントラルは英國義勇軍、ゼスフィルドパーク方面の豐田紡一帶は英國軍、同文書院はイタリー軍等々租界の現地保護は三萬の中國軍に對して萬遺漏なき手配り、鐵道線路への武力對時は廿八日午後十一時前後の中國軍射擊に應じて正規軍一掃は深夜のトバリを蹴破つて開かれた、第三大隊本部となれる中部校向ひエレンテ[illegible]の滿日

物凄い音をたてゝ燃えゆく高層建築
傳令其他交通に惱む

北停車場は空中爆擊の凄じさを物語る樣に **猛火を吹上げてゐる** 北停車場はまだ占據されず双方機關銃の猛射が續く、屋根裏から幹銃で自警團を驚かす、敵の流彈は安全地帶の窓を打つ、午後になつても間歇的銃聲と空中爆擊は依然として繰返され、商務印書館と北停車場の大火災は血走つた避難民と戰鬪員に冷眼視され益々橫に擴がつて行く、敵軍は鐵道以西二千米突に退却、然し、地の利を占める便衣隊はわが兵士の隙を覗つて襲擊を企てる、わが軍の配置は鐵道以東完全に現地保護で大部の戰鬪は雲をつかむ樣な便衣隊一掃に疲れる、**電線は切られ動力線は破壞され、軍事以外の一般交通機關は完全に停止、** 閘北北四川路は暗夜とモヌケの空のうちに戰場第二夜のとばりは下りた、市民の間に軍隊增派陸軍派遣の要望高まる。

◇

敵の租界砲擊は本願寺に、老靶子路へ、北部小學校に地響きして炸裂する、北部小學校に隣接する筆者の隣家も三十日早朝大炸裂して破壞さる、砲彈の直徑二吋、怪士砲と別稱して邦人を驚かす、アマ、ボーイ支那人使用人は隙をうかがつて逃亡、其ため先づ第一に **食料買込みに困却し、** 爆彈の交換に缺乏して徵發を餘儀なからしめてゐる、**北四川路筋の大商店は全部店頭を放棄して逃亡、** 自動車運輸手達（支那人達は逃亡）は疲れ切つて經濟交通は遮り勝ち、其ため邦人に組織されてゐる武裝自警團——靑年同志會、在鄉軍人團、各路警備團——が店頭の煙草、果物等々を臨時購入して戰鬪員其他に配布して廻つてゐる。

◇

三十日午後から虹江路の大映畫館オデオンより北停車場一帶の **密集高層建築は物凄い音をたてて燃燒しつゝあり、猛火の欲する所之れを抑止する何物もなく、** 加之、東には之れた燒動しつゝある虹口一の虹口ホテルは便衣隊發砲の嫌疑を受け內部は破壞され四樓は火災に遭つた、抑止しても流れる避難民の檢査には言語の不通からいきりたつてゐる自警團（主に）のため毆打傷害を受け多少でも嫌疑あるものは續々本部へ後送され、捕虜の山が築かれてゐる、蘇州河南以南より邦人の居住する虹口北四川路閘北一帶への避難移動は絕對に喰止め、未だ逃げつてゐる該地方の一部支那人達は一旦徐家匯方面に迂回して佛租界或は南市へ向けて避難しつゝブロードウェイは **人の波が渦卷いてゐる。**

◇

卅日午後から漸く赤十字は活動を開始したが、其機能は全く問題にならない、消防隊は衝突を恐れて出動せず、火災は停止する所を知らず、閘北北四川路の繁華街は全燒の危機に包まれてゐる、今午後七時始めて工部局消防出動すとの情報あるが其效果は疑問、北四川路以西北停車場迄の老靶子路より入る露路には便衣隊の死骸が散在して戰鬪の物凄さを語つてゐる、北四川路筋各所の自動車は全部軍事徵發、但し運轉手不足のため交通（主に軍事）機能は何等得る所なく、傳令其他の交通に大障害を來してゐる（三十日午後七時記）

わが軍吹雪を衝いて哈市邦人救援に北進
多門、長谷部兩將軍の劇的會見
双城堡にて　長谷部特派員發

長春駐屯の多門第○師司令部は双城堡にある長谷部○團の先發隊と合體して **危險に瀕せるハルビン在留邦人保護の大任務に當るべく** 二日正午前に軍用列車の乘込みを終り、多數長春市民熱誠なる萬歲の聲を後に吹雪を衝いて威風堂々北進の途に就いた、この軍用列車は東支管理局においてわが軍の輸送を承諾してより初めて東支從業員の手によつて送られたものである、また多門第○團長以下幕僚の乘れる客車三輛および記者（長谷部特派員）の便乘せる貨車その他は長谷部○團の先發隊を双城堡に輸送し猛襲に遭ひ硝子窓といひ、板壁といひ **無數の彈痕で傷められ當時の激戰を物語り悲慘な姿である**

×　　×

記者の乘れる貨車には暖房裝置も無くアンペラの上に○○騎兵隊の兵士と雜魚をぶち撒いた如く通りの雜魚寢で靴の雪がアンペラの上に解て車內とはいへ **冷下五度の寒さに凍つた兵士達の夢を乘せて列車は走る** だが東支沿線の危險はまだ去らぬ、途中幾回となく停車しては無電で後方との連絡および或はハンドカーに偵察隊を派遣して前方の敵狀偵察を行ふなど並大抵の苦心でない、

×　　×

午後七時陽はとつぷりと暮れて張家灣に辿るや遙か北方に豆をいるが如き銃聲がまどろみかけたわれ等の夢を破り列車はヒッタリと停車 **「スハ、敵軍襲來」と車內の兵士も我等も總立ち** となつたが敵影のデモと知れて列車は更に北進をつゞけた、東支沿線では到るところでロシア人の婦女子が驛まで出迎へて歡迎し、わが兵士と握手をなすなど親日的態度で兵士を喜ばせた、夜半となれば氣溫益々低下して車外は零下十九度、車內でも零下十度であるそのためにまんじりとも出來ない、やうやく双城堡に到着したのは午前七時である、**多門第○團長は出迎への長谷部○團長と驛頭において固き握手** をかはした樣は、涙ぐましい劇的會見であつた、双城堡一帶には多數の反吉林軍散在し敵の大部隊はハルビン方面に漸次集結しつゝあり、ハルビンの狀況も邦人は危險刻々と迫りつゝあるので **長谷部○團長は線路の修理を待たず徒步にて進軍** することゝなり三日正午双城堡を出發する、多門第○團は三日午後長春から來る天野○團主力部隊の到着を待ち線路の修理を行ひつゝ三個列車で北進の豫定で、準備を急ぎつゝある、午前十一時には長春から偵察機が飛來し鐵翼を翻かしつゝ後方連絡及び附近の偵察を爲しつゝあり、双城堡附近は大混雜を呈してゐる（三日午前十一時記）

ハルビン郊外で反吉林軍を爆擊
我偵察機射擊され

三日午前七時長春飛行場を發した田中大尉操縱、廣田中尉偵察の偵察機は午前八時三十分ハルビン上空に達し偵察したが、市內には險惡的の人影を認めず、平穩であつたが郊外には反吉林軍から一齊射擊を受けたので爆彈を投下して長春に歸來した【長春電話】

五家驛でも敵と交戰

午後三時千葉○○隊加藤中尉以下十一名八驛家保鐵橋視察の途中五六百名の匪賊の襲擊を受け勇敢に驛退任務を果しての歸途五家驛に入るや驛內三百の匪賊は加藤裝甲機動車目がけて一齊射擊しわが軍はこれに應戰せんとしたが轉轍を間違へ元の軌道に入るを得ず軍曹は直に飛び降り施錠を打ちこはした、この時敵彈飛來同軍曹に命中したるも屈せず機關銃六挺をもつて應戰遂に敵を殲滅午後五時双城堡に歸還した、拔群の功を發揮した河湖軍曹重傷の外、中月、芦澤兩一等兵も負傷した【長春電話】

馬車夫の謠言に逃出した支那兵
馬車徵發ナンセンス

◇…長春、吉林鐵道警備總隊第二大隊長李文龍及び第二大隊三營長趙天韓は吉林鐵道守備司令官金璧東氏の命をうけ逃走したる第二大隊第一營第二連を追擊するため三十日第二大隊第三營第九營、及び双陽方面に出動した

◇…ところが三十一日双陽より長春に赴く馬車が貂をのせたまゝ再び双陽に歸るのを目擊し討伐隊の兵が事情を聞いた處馬車夫は誠らしく「ロシア軍が長春に攻めて來て日本軍と交戰し日本軍が負けて長春はロシア軍に占領され日本軍は南嶺に退却しつゝある、それで日本軍は退却に際し軍需品運搬の爲め荷馬車を盛んに徵發してゐる、だから長春行きを止めて歸るのだ」と云つた

◇…討伐軍はそれですつかり恐慌を來し長春の西方數十支里双陽境界附近四家子に宿泊し午後十一時頃から一同協議した結果、第九連所歩兵中尉趙永均及び同連歩兵中尉李棟華は部下に對して

俺達は逃亡兵を追擊して來たがその逃亡兵は何處に行つたか姿を見せない、このまゝ長春に歸れば必ず日本軍のため殺されるから俺はお前達と共に長春には歸らない決心をした、お前達の意見はどうか

と聞いた處部下は贊否兩派に分れ決し兼ねてゐた處、之を聞いた第十連長王世珍及び連附李錫波が極力反對したので趙、李はこの兩人を逮捕し全連百十四名が逃走してしまつた

◇…然るに同行の第十二連は連長及び營長の說諭に依つて騷動せず、二日午後八時頃長春に歸つて來た、そこで金璧東氏はこの部隊の兵士には賞與として一人吉林大洋二元づゝを與へた【長春電話】

蔡家溝の北方にて敵の大部隊と激戰
わが軍に七名の死傷

二十九日夜八時頃鐵道守備の重要任務を帶びてトラック十三臺に分乘し長春を出發した、平賀大尉指揮の公主嶺獨立守備隊○中隊は途中長谷部○團應援の命を受け北進したが進行意の如くならず一日夜陶賴昭に到着、二日午後四時頃蔡家溝を通過北方七里餘の地點で突如一千四百餘名の敵の襲擊を受け山砲○門をぶつぱなし僅か○○名に過ぎぬ同部隊は孤軍奮鬪全く文字通りの苦戰に陷り全滅の覺悟をきめてゐた際天佑にも長谷部○團に彈藥と一週間分の食料とを輸送すべく一日午前七時三十分頃長春を出發した平田○隊本部及び○個大隊の軍用自動車隊が後方から到着し應援を得て交戰一時間餘にして敵を敗走せしめた、この戰鬪に於て平賀○隊は戰死一名、負傷准士官以下五名を出した、敵は約五十餘の死體を遺棄して北方に算を亂して逃走した爲め五時頃から之を急追しそのまゝ双城堡に入り長谷部○團に合した、負傷者は蔡家溝臨時野戰病院に收容手當中であるが尚獨立守備隊は三日旅順より應援の來るのを待つて双城堡に出發せしめることゝした【長春電話】

飛行場の準備

關東軍飛行隊の情報部長立松少佐は目下航空隊が前進してからの根據地設定のため準備中である、尚愛國號は傷病兵を輸送すべく準備を急いでゐる【長春電話】

長哈間の電話復舊

ハルビン、長春間の電話は三日午後三時より復舊通話を開始した【長春電話】

西部線不通　各地で線路破壞

【昂々溪三日發】東支鐵西部線小黃子、煙筒屯間の線路三ケ所破壞され三日午後三時ハルビン發第三列車は安達に停留してゐる、昂々溪西方札蘭屯附近にも破壞個所あり、四ケ列車が同地に停留中である、二日午前十時以後昂々溪を通過せる列車なし

南方大尉機消息斷つ

ハルビン上空より阿城、楡樹方面の偵察命令を受けた長春飛行隊の南方大尉偵察、多久島曹長操縱の偵察機は三日午前九時長春發任務についたが三日午後五時に至るも歸らず消息を斷つに至つたので憂慮されてゐる【長春電話】

双城堡負傷者汽車で輸送

双城堡の激戰における負傷兵は同驛に收容手當中の處愛國第二號を以て長春に輸送すべく決定してゐたが降雪甚だしく到底着陸不可能と見られるので愛國號に依る輸送を斷念し三日午後二時發軍用列車で輸送することゝなつた【長春電話】

昨曉ハルビンに進擊

二日午後六時平田騎兵隊野砲○個中隊その他双城堡着多門主力も續々到着するが三日拂曉を期し北進ハルビンに向け丁超擊滅の一大進擊開始の筈【長春電話】

鈴木○團も某方面出動

【チチハル二日發】駐屯中の鈴木○團長の率ゐる秋田○大隊今朝來青の弘前野砲○隊騎兵○隊は今夜六時○○鐵道により○○方面に出動した

關東廳財務部の昇格を實現
旣に兩省の內諾を得

【東京特電二日發】關東廳においては年來財務部を財務局に昇格せんとする計畫あり山岡新長官も赴任以來行政機關を研究しこの目的を貫徹すべく上京中の西山財務部長をして追加豫算の形式をもつて財務部昇格案を立案せしめ旣に拓務大藏兩省の了解を求め內諾を得たがこの追加豫算は臨時議會の承認を得て初めて實施される事になるものでその實現を見れば當然財務局長には西山左內氏が就任となる模樣である又遞信局長も勅任待遇となさんとする意向である

やがて我態度を英米も諒解せん
三日夜東京發歸任する　內田滿鐵總裁語る

【東京特電二日發】愈々三日夜歸任する內田滿鐵總裁の身邊は訪問客殺到を極めてゐる、二日は南前陸相、本山大每社長、長岡駐佛大使その他政界の巨頭連等が總裁邸を訪問した、內田總裁はかくて午後五時半芳澤外相を官邸に訪問して退京の挨拶を兼れ對支問題につき約三十分に亘り打合せをなした總裁は語る

愈々時局も重大化し方面の形勢が切迫して來た樣である、併し日本の今日採つてゐる行動は全く自衞權の發動で他に何等やましいところはない、それ故國際聯盟にしろ或ひは英米にせよ、やがて日本の立場を充分了解して日本の行動が全く正義に立脚してゐると云ふ事を認識してくると思ふ、只恐れるところはこう錯綜してくると何時どんな突發事件が起らぬとも限らぬからこの點を充分に警戒する必要がある、又我々の身邊を心配してくれるものがあるが信念と確信を以て働いてゐるものに少しの不安もない、江口副總裁も用事が出來れば何時でも上京するが直ちに來る程の事もあるまい、議會も開かれゝば我等は總會前に臨時議會でも開かれるかも知れない、今一度上京するかも知れない、最近色々の人に會つて見たが何れも眞面目に滿洲事件の解決困難の打開に苦心して居られる事は自分として何となく心強く感じ且つ日本の國運は將來必ず進展するものと云ふ確信を得た

長双間聯絡

一日午後二時四十分牛田工兵大尉の率ゆる鐵道第○隊裝甲、通信、電、歩兵等双城堡に到着四日ぶりで長双間の連絡が取れたが之等は双城堡危ふしとして裝甲車○輛、無蓋車等に毛布を被つて急行したものである【長春電話】

軍革案は一年延期

【東京三日發】三日の非公式軍事參議官會議は閑院、梨本兩宮殿下を始め奉り白川、鈴木、金谷、菱刈、渡邊の各參議官、荒木陸相、武藤教育總監等參集の上午後一時三十分より陸相官邸に開會本年度特別議會に提出さるべき陸軍々制改革案問題につき審議され一ケ年延期に意見一致した

加藤勘十氏脫黨

【東京三日發】一部の有志から東京第五區の推薦候補に擔ぎ出されてゐた全國勞農大衆黨加藤勘十氏は二日夜に至り突如脫黨屆を提出した、理由は加藤氏を最高指導者とする勞働俱樂部系勞働同盟の指導精神と大衆黨との運動方針が一致せず且第五區選擧鬪爭に對して黨本部のとつた行動を潔しとしないためであると觀られてゐる

三宅參謀長　滿鐵本社を訪問

三宅關東軍參謀長は南滿工專並に旅順工大において近く行はれる軍事教練の査閱に臨むため三日朝來連、午後一時頃滿鐵本社を訪問して江口副總裁、大森理事等と會見同二時半頃辭去した

大觀

勢ひの赴くところ南支における日支の關係最も惡化し▲暴戾、不信、反省の色なき支那軍に對するわが軍の攻擊は痛烈壯絕を極む▲英、米、佛等の共同提議なるものに對してわれは果して何の程度に信を置いてよきや▲例によつて喧嘩相手の片方のみを羽交ひ締めにして「さア、やめた、やめた」では仲裁にあらず一方の壓制策のみ▲ソンないい加減なコケ脅し的調停には浮かり乘るべからず▲仲裁は時の氏神とは云へ、犬猿の喧嘩に狐と狸とが乘り出すやうなやり方ではこの紛爭到底收まる筈はない▲列國眞に平和的解決を望むならば先づ以て無謀なる支那側の攻擊、抵抗等を抑制し▲然る後わが攻擊の停止を求むべきであり▲挑戰した方は等閑に附し、應戰した方のみを止めんとする偏頗な態度では調停者としての資格なしと知るべし▲「盧を映ゆる大獅々し冴えかえる」▲獻金百萬圓、愛國飛行隊隊の形成易々たるは心強し▲滿洲愛國號の計畫も愈々具體化▲この際エロを避け、煙草を節し、酒を控え、擧つて醵金を求む▲滿洲愛國號の擧を聞いて青島在住邦人相諮つてこれに贊し▲青島新聞社が本社を通じて醵金の計畫を進む▲在滿邦人も敗けまいぞ▲相手や神に姿する冬の醜」

市況（三日）

株式
內地株續騰り　五品續騰

內地主力株の後場寄りと東京の五品高に好感して當市の五品は二三圓高、新豆、錢鈔は小一圓高、東新一圓五六十錢高と續騰した

後場

◇定期◇（寄）

銘柄	當限	先限
新豆（寄）	二四、一	二五、〇
（引）	二四、六	二五、五
錢鈔（寄）	二三、四	二三、五
（引）	[illegible]	[illegible]
五品（寄）	二七、〇	二七、六
歩引	二七、六	二七、八

◇延取引◇（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

奧地市況（後場出來不申）

現物▲奉天票　八六、〇〇
現物▲奉天大洋　七一、〇〇

市場電報

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八〇五〇	八〇二〇
新株	七六〇〇	七五九〇
鐘紡	一九五〇	一九五〇
新紡	九一〇〇	九〇三〇
東株	一七七〇	一七七〇
新株	不申	七九〇
日糖	五五七〇	五四〇〇
郵船	四一五〇	不申
滿鐵	三六〇〇	不申
新滿鐵	三三〇〇	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
二	二四七八	二四六五
三	二五六〇	二五四〇
四	二六一七	二六〇三

神戶期米

限	後場寄	後場引
二	二四八三	二四六八
三	二五七七	二五五〇
四	二六三三	二六一〇

東京期米

限	後場寄	後場引
二	二四四五	二四二七
三	二五八七	二五七九
四	二六七七	二六七五

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
二	一三六〇〇	一三五六〇
三	一三七〇〇	一三七三〇
四	一三八〇〇	一三九五〇
五	一四〇八〇	一四一〇〇
六	一四二〇〇	一四二六〇
七	一四四五〇	一四四七〇
八	一四五八〇	一四一五〇

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
二	六二六〇	六三七〇
三	六四〇〇	六四一〇
四	六四七〇	六四九〇
五	六五〇〇	六五二〇
六	六五二〇	六五七〇
七	六七五〇	六八九〇

家庭

溫い誠心をこめて大きな二つの仕事
兵士ホームと鮮支人隣保事業へ踏出した在滿婦人達

在滿婦人團體聯合會では暴虐極まりない支那兵匪のために家を失ひ家族を失つた不幸な罹災鮮人と事變の餘波をうけて生命と生活の不安に脅かされてゐる支那良民とを物質的に精神的に救濟し一方には

正義 と平和のために破邪の劍を振つてあらゆる苦難と戰ひ危險に曝されてゐるわが忠勇な將士方のために適當な慰安の道を講じたいとの念願から鮮支人隣保事業並に兵士ホームの創設を計畫してゐましたがこの二大事業を遂行するのには五萬八千五百圓といふ巨額の資金を要するのでこれを汎く一般から募集することゝなり大連婦人團體聯合會でも數十名の募金委員を舉げていよく募金に着手することになりました

で隣保事業の方は奉天に適當な既設建物を借受けて諸種の慰安や娛樂を與へ診療所を設け、學校、幼稚園を開いてその

子女 を教育し講演會、講習會、圖書雜誌、母の會、戸主會、青年會、處女會等によつて一般の教養を高め職業を與へ、體育保健方面を指導し、又人事、法律、健康等各方面にわたる相談機關を設けて不幸な彼等の相談相手となり指導者たらしめやうといふのです

兵士ホームの開設地は軍隊の移動の狀況により適宜移動し得ることゝし、さし當つて奉天、長春、鐵嶺（又は四平街）の三ケ所に開設の豫定ですが、これは公會堂俱樂部等の一部を借受けて蓄音器、圖書、雜誌、新聞、圍碁、將棋、撞球盤等の娛樂具を設備し、時々餘興等の催し物をして將士を慰め簡易賣店を設けて安價に物品を

供給 しやうといふのです

そしてこれは皆篤志な婦人たちの手によつてなされ、こゝに出入する將士たちは或ひは母のやうな、或は姉のやうな、妹のやうな澤山の婦人たちの溫かい心に迎へられて、その愛に飢ゑた荒み易い氣持を癒すことの出來るやう、そして眞にアット、ホームな心持でその心身を休め、破服のほころびも縫つてもらへるやうにしてといふのが兵士ホーム創立の目的なのです

隣保事業も兵士ホームも共に現地にある人々から一日も早くその實現を望まれてゐますので出來るならば二月中旬までには事業をはじめたいと聯合會では意氣込んでゐます

けふの節分に厄除の元祿髷

いくら文化のすゝんだ今日でも厄年に對する危惧はなかく私どもの頭から拭ひ去られません其處に起つたのがいろんな厄除けのおまじなひです

◇今年三十三と十九の厄を迎へた御婦人方よ！今日の節分に十九の娘さんなら赤い手柄の大丸髷を、三十三のマダムならふくよかな桃割か粋な元祿髷にでもお上げになつてお宮詣りなさいまし、あなたについてゐた厄は忍ち退散するさうですから

◇寫眞は厄除けの元祿髷で磯口逸子さんの結上げです

今年多い中耳炎
耳はこうして冒される　急性にやつて來る徴候

大連市民を脅してゐる風邪も例年に比しますと肺炎などの餘病を引起して斃れるものは今年は稀で經過から見ますと至極よい樣ですが最近熱も下がり一先づ安心といふ所で中耳炎を冒されてゐる者が多い、森本醫師にその原因に就いて伺ひました

◇「一年を通じて一、二月頃に中耳炎を冒される者は例年では稀で大抵三、四月頃から花見時節にかけて増加するものです、然し最近この患者が多いと云ふのは一は今年餘り溫かすぎるためではないかと思はれます、と云ふのは最近の季候がもつと寒ければ熱が下つたと申しても病後を慮つて二、三日は餘分に床に就いてゐるため安靜が保たれ結局は病後を大切にする事になり、從つて中耳炎に冒される者が尠くなるわけです、周知の通り鼻、喉、耳の内部は通じお互に密接な關係を持つてゐるので若し鼻、喉の粘膜が冒されると—自然耳の方まで炎病を起すのが當然で耳の方の粘膜は弱つてゐるのですこれを知らずに熱が引いたからと云つて床を離れ無理をやります、子供は早速あばれ廻つたり、戸外に飛びだします或は兩鼻を強く一度にかんだりするために弱つてゐる耳に菌が入り中耳炎を起す事になるのです

◇健康な人でも風邪後は充分氣をつけてゐないと中耳炎に罹りやすいので常に鼻の惡い人、アデノイドの人、扁桃腺肥大の人などにあつては特にこの中耳炎を起し易いのです、中耳炎は乳兒や大人よりも耐えず動き廻る三、四、五、六歳位の幼兒に多いので、症狀としましては外部がはれ上つたりする事がなく赤ん坊では痛いためむづがり始終いやいやをしたりお乳を呑まうとせず寢みません、物言へる子供にしましても齒が痛むのかそれとも耳が痛むのか判らない位でお母さんにもどこが惡いのか判らないのですがもし風邪後三十八度乃至四十度位の高熱が上がり急に耳が痛むと云つたら中耳炎と見て差支へない位でこの樣に急性にやつて來るものです、この樣な場合は早速濕布するか氷で冷やして安靜にし醫者の手當を早く受ける事を忘れてはなりません、日數を經過すればする程手遅れし治る經過も思ふ樣に早く治らぬ事になります

怠惰な子供
捨て置いたら大變　原因を究めて矯正が必要

◇幼い時 から…さなつた怠惰の惡癖は、成長した曉人生の最も尊いある働きを嫌ひ果ては社會の害蟲となる場合が多からしめるものです、左右どちらへも矯め易い時代の兒童を正しく導くか或は、その子の生涯を無意味に、或は社會の害蟲と等しきものに導くかは育兒の任にあるお母さんにとつて重大問題です

◇怠惰に も偶然の事情によるもの、或は不健全な思想によるもの、身心の異狀によるものなどと色々種類がありますが、母親は子供が怠惰であればその惡癖の原因を究めてそれに對する適當な方法を講ずる必要があります、作業に興味を持たない子どもについてその原因をしらべて見ますにたいていはその子が作業に對し、以前に苦痛を嘗めた結果その作業が嫌ひになつたり、或は又これに反して他人の仕事であるため人の眼をかすめるとか、共同作業だからと他人に働かせて自分は安佚を貪るなど、忌はしい考へによるなど動機がありますが、これらの憎むべき原因を矯めず放つておきますと子供はよい氣になつて頻繁にこれを反復し常習犯となつて、とりかへしのつかない一生を早や幼い中に築き上げて了ふ樣になります

◇この樣 に作業に興味をもたない兒童は、また作業の性質や初めの着手の個所を知らないのに原因することもありますからこんな場合には作業に就く前に充分作業のとりかゝりや、着手の個所などを諒解させて初の間は苦痛を感じても努力し、遂行することに努めさせ完成後の自己成功の最も嬉しい境域を味はゝせる樣にしたいものです、又前の苦い經驗を追想し、そのため作業を嫌ふ場合もやはり前に苦痛となつた原因をよく究めてその原因を取り除いて今度は自分自身の力によつて遂行した時の快感を味はゝせることに指導し努力すべきです

◇これに 反し不健全な思想にするものは、その原因が復雜であるのと又こんな怠惰者は多くば自我が強く、自己の惡い思想に對する單なる訓戒や叱責、忠告などに對しては直に反撥して了ひますからその矯正には大へん困難なのですが、これらに對してもやはり充分その原因を究め、彼等の環境、娛樂、讀物、交友、教育狀態等を調べて環境を變化し勤勞に伴ふ快感を經驗するやうに仕向け、怠惰によつてよく見る所の悲慘な狀態を如實に見せるなどして彼等の意になる事を未然に防ぎたいものです

アサヒ ノボル (43)

一 ココニ デツト キルナラ ナハダ ケハ トイテヤル ガ ニゲタラ ヒド イメニ アハス ゾ ト イフ

二 タイチヤン ハ シカタガナイカラ メ ヲ ツブツテ キルト ジブン ヲ タスケテクレタ サル ガ ナイテキル

三 キケバ コレカラ ヒサシブリ ニ サルジル ヲ ツクツテ ユクワイ ニ タベル ノダ ト オホキバリ

四 ナントカシテ タスケタイト オモツテモ カタナ ト テツパウ ヲ モツタ バンニン ガ ウゴカナイ

サルジル

KO.

童話　月夜の凧 (3)
八木橋ゆじろ

勇吉の顔には微笑が浮んでゐるのでした。はつと氣がついては一生懸命に凧の骨を削りました。

しかし、凧の骨を削ることより頭の中に、凧を張つて上る凧の事に氣をとられ勝でした。

「あつ！」

突然、勇吉は指を押へて立ち上りました。

鉋丁がすべつて、勇吉の指を切つたのです。

「どうしたの？え？勇坊や！」

お母さんも、驚いて立ち上りました。

「ち、ち、ち……」

勇吉は眼をつぶつて唸りました

「これ、お見せ、指を切つたれ」

お母さんは静くなつて吉の押へてゐる右を離して見ました。

人差指の先をよほど深く切りこんでゐました。見る〳〵切れ目から、血がぞく〳〵噴き出てきました。

「だから言つたことでない。あぶなつかしい事だ。もぎされたら大變な事になつた」

お母さんは、布を裂いて繃帶して異れながら、小言を言はれました。

勇吉は、自分のしたあやまちであるから、痛さをじーつとしのびました。

「もう、お止し、お止しつて言ふのに」

お母さんがどんなに止めても、勇吉は凧の骨を作る事を止さうとしませんでした。

痛んだ右手を窮屈さうに使ひながら、夜遅くまで一生懸命でした。そして、夜遅くまでかゝつて、ようやく凧を作り上げました。

凧と言つても、古い簾の竹の柄を割つて作つた骨に、汚れた紙を飯粒で貼つた、名ばかりの凧に過ぎません。

でも、寢床に入つてから、しばらく眠れなかつたそれほど、勇吉にとつては嬉しい喜びでした。

寢床が溫まつて來ると、先刻切つた指先が、大へん痛んできました。しかし、それよりも凧上げ、その喜びが大きかつたに違ひありません。

じーつと眼を瞑つて勇吉は自分の凧を上げてゐる姿を床の中で想像して見ました。

著名學校案内

東洋大學　學生募集
- 願書受付　三月三十日迄、東京市小石川區原町
- 試驗期日　學部及豫科ハ三月卅一日、一月廿日官報參照
- 學部（文學部）　哲學科、佛教學科、國文學科各科若干名　支那哲學、支那文學科　第二學年補缺若干名第一學年百二十名
- 豫科（二年制）
- 專門部（銓衡ノ上入學許可）　倫理學教育學科（第一部（晝）第二部（夜））修身、教育／東洋文學科（第一部（晝）第二部（夜））修身、國語、漢文／文學科（國語漢文）國語、漢文／社會教育社會事業科（夜）（修身公民國漢準備中）　無試驗檢定科目
- 專門部受付四月卅日迄學部ニ連絡ス、佛教、神道、女子國漢講座

專修大學（東京市神田區）
學長男爵法學博士　阪谷芳郎
法學部長法學博士　河津暹
經濟學部長　須賀喜三郎
大學部長
常務理事　道家齊一郎

東京高等工學校
- ▲校長　工學博士正三位勳一等　名井九介▲
- ▲電氣科長　工學博士從四位勳四等　福田勝
- ▲建築科長　工學博士　大澤三之助
- ▲土木科長　工學博士從五位勳五等　久永勇吉
- ▲機械科長　工學博士　有元史郎
- ▲入學資格、中等學校四年修了以上無試驗入學許可（但定員ニ達スル時ハ即時締切）
- ▲新學期開始四月中旬
- ▲入學願書受付二月一日ヨリ
- ▲所在　東京市芝區芝浦町三ノ一
- ▲電話高輪一〇〇二番

東京齒科醫專
- 校長　血脇守之助
- 創立　明治二十三年一月
- 所在　東京神田三崎町
- 試驗期日　三月一日、二日ノ兩日
- 願書受付　一月十日ヨリ二月末日迄
- 詳細本校要覽要郵券二錢

高女卒募集
中等教員（三年）職業的婦人（二年）
家庭主婦（二年）小學專科教員（二年）
東京　大妻技藝學校

學生募集　東京農業大學
- 大學豫科　約百二十名
- 專門部農學科　約百五十名
- 專門部農藝化學科　約六十名
- 身體檢査並ニ考査　四月二日
- 選拔試驗　四月四日
- 成績發表　四月八日

東京澁谷（學則要郵券貳錢）

日本女子高等學院
- 高女卒業生（國文科・英文科・裁縫科　一年又は二年で卒業す）
- 東京市外東中野　電中野二五七二
- 校長　加治いつ（日本婦人協會々長にして又昭和高等女學校々長たり）
- 學監　松平俊子（秩父宮妃殿下叔母君にして又海外婦人協會々長たり）
- 顧問　石川堅學博士　五十嵐久學博士　櫻井工學博士

東京府女子師範學校内　帝都教育界附設
教員保姆傳習所　生徒募集
- 小學校本科正教員科、尋常本科正教員科
- 保姆科、裁縫教員科（師範科、本科、豫科）
- 出願期日　二月廿日より三月二十日まで詳細は廿錢切手封入申込むべし

公認　東京寫眞學校
學則送呈　東京品川驛前

純良無比の人蔘エキス
補血強精　純人蔘精
主治（老衰、胃腸傷害、神經衰弱、精力減退、生殖機能減退、貧血症）
一ケ月分　五圓　十日分　二圓
三ケ月分　十二圓　二十日分　三圓半
本舖　朝鮮製藥合資會社
滿洲代理店　日本賣藥株式會社
到る所の藥店にあり

井波耳鼻咽喉科醫院
ドクトル・メヂチーネ　井波幹吉
大連沙河口黄金町一〇五・
電話〇一三二四番・

●二日醉
で何となく頭が重くボンヤリしたり惡酔に苦しい時などスグに
ノーシン
をのんで下さい◆テキメンに頭はハツキリと爽快になる◆宴會には是非必要

天然色
クスリとお化粧品は
小寺薬局へ
電六六〇六
但馬町西廣場上ル

RYOTO HOTEL
室料大奉仕
室料二割引
日頃の御愛顧に報ゆる爲めの大奉仕
和室（御一名）二圓八〇錢より
　　（御二人）三圓六〇錢より
洋室（御一名）四圓〇〇錢より
　　（御二人）六圓〇〇錢より
遼東ホテル　電三一七一番

にきびとり
美顏水
心ある御家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥

（一）ニキビ、吹出物——婦人は固より男子方でも、ニキビや吹出物の多いのは見よいもので御座いませんが、この藥は頑固なニキビや吹出物にも確かな效能がありますので信用を博して居ります。

（二）蚤、蚊、南京虫——その他毒のある虫にさゝれた時、この藥を附けますと、不愉快な痛さや痒さが止まり、さゝれた跡が腫物などになる事が御座いません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時など、この上ない重寶な事がおわかりになります。

（三）皮膚を美しくす——斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論、皮膚は次第に磨きこんだ樣に綺麗になり、顏の美しさを増しますので、心ある御家庭には常備せられて居ります。

發賣元（大阪・東京）桃谷順天館

TEC
天威電球
マツダランプ製造元
東京電氣株式會社

わが軍の匪賊討伐 一月中で七十三件
警官隊と交戰せるもの二百件
夥しい匪賊の被害

【奉天】舊正月を前に控へ各地における匪賊の横行益々盛んで放火掠奪等を敢行するのみか最近は電信、電話線を切斷し運行中の列車を襲撃を行ひ我討伐隊に對し頑強に抵抗をなし猛威を振つてゐるため同地方居住民は戰々兢々として依然不安の狀態を續けてゐるが今一月中我軍が討伐のため出動せし主なるものでも左記七十三件の多きに上つてゐる

△一日　五龍背北方地區(運行妨害電線切斷等のため出動し附近を掃蕩す)打虎山西南方張高棚(約二、三百の敵と交戰撃退す)

△二日　五龍背驛附近(約百五十の兵匪より襲撃を受け之を撃退す)煙臺東方小樹堡(兵匪約九十と交戰し之を撃退す)渾河鐵橋附近(夜間巡察中の我兵は約八名の兵匪より射撃せられ之を撃退す)奉山線三家子附近(約五十名の兵匪と交戰撃退す)鄭通線大架驛附近(張學良の率ゐる約四百の賊と交戰撃退す)溝山線白旗堡(約二百の兵匪襲撃々退す)

△三日　橋頭西方北臺溝(兵匪約百と交戰す)

△四日　鞍山西北方劉二堡附近(砲四門を有する約六百の兵匪を撃退追撃中別に砲一門を有する新なる賊約五百と遭遇し之を撃退す)新民屯(兵匪約五百新民屯附近の鐵道を破壞し且新民屯市街を襲撃す之がため上記部隊は奮戰之を撃退す)

△五日　新民屯西北方王莊屯(五六十の騎馬賊を攻撃す)新民屯北方大干屯(多數の馬賊を攻撃す)安奉線吳家屯附近(約百の兵匪を撃退す)安奉線南攻附近(兵匪約百を撃退す)安奉線石橋子附近(約百の兵匪根據地を襲ひ多大の損害を與ふ)

△六日　遼陽西方劉二堡(兵匪掃蕩のため出動撃退す)遼陽北方張臺子(四百の賊と交戰す)義州北方二料鋪溝(敗殘兵約百名、頑強に抵抗せしも之を撃退す)

△七日　新民屯東南長河沿(匪賊の討伐を實施す)渾河西方裴家堡(匪賊團を包圍し之を捕ふ)鐵嶺附近(兵匪數百鐵嶺公安隊及び縣政府監獄等を襲撃せしを以て之を撃退す)

△八日　溝幇子驛附近(匪賊約三十を撃退す)開原西南方沙河堡(兵匪二百現はれ放火掠奪中の報により討伐に向ふ)鐵嶺北方柴河附近(約百の兵匪と交戰撃退す)田莊臺附近(數百の兵匪襲撃の報により出動す)奉天西北方西十里河附近(四十の騎馬賊を撃退す)

△九日　沙河西方三家子(兵匪五百を掃蕩す)彰武附近(兵匪掃蕩のため出動撃退す)

△十日　鳳凰城西南方白旗附近(約三百の兵匪と衝突し敵を西南方に撃退す)打虎山附近(百の兵匪を激戰後撃退す)打虎山東方唐家窩棚(兵匪多數現はれ出動す)

△十一日　錦西西方地區(二千の兵匪より襲撃せられこれを撃退す)鐵嶺東方馬家塞(馬賊約六十と交戰撃退す)巨流河北方地區(附近兵匪の掃蕩を實施す)錦西南方青石嶺(四百の賊を撃退す)新立屯北方地區(千五百名の賊と遭遇激戰の後新立屯に引揚ぐ)齊々哈爾西方地區(三百の兵匪と交戰撃退す)新城子北方安家窩棚(三百の賊を撃退す)

△十二、三日　鄭通線(通遼方面に出動す)奉天西方地區(該地方の兵匪討伐を實施す)牛莊田莊臺附近(兵匪の討伐をなす)湯崗子西方地區(以下同上)

△十四日　齊々哈爾北方地區

△十五日　新民屯西北方地區、錦西西方地區

△十六日　中固西方前後史家堡

△十七日　遼陽西北十粁の小煙臺、牛莊西北方沙嶺、通遼西方閻家園子、通遼北方地區

△十八日　鳳凰城東方湯賓城、打虎山北方八道家、義州東方地區

△二十日　打虎山西方高山子

△廿一日　石橋子南方地區

△廿二日　興城地方地區

△廿二、三日　法庫門附近

△廿四日　本溪湖東北方地區、遼陽西方大沙嶺附近

△廿五日　石山站、大凌河、公主嶺東方地區、法庫門南方及び西方地區

△廿六日　打虎山西北方地區、大房身

△廿九日　十里河西方元家甸子

△三十日　錦州東南地區(該地一帶の大々的討伐を實施す)大凌河々口北方地區(東北方に退却中の兵匪數百を攻撃し殲滅的打撃を與ふ)

尚この外警察官と交戰せる匪賊事件を擧ぐれば二百件に達してゐる

四勇士の告別式
二日大石橋で執行さる

【大石橋】一月二十九日午前九時頃遼陽縣下尤家甸子附近の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げたる大石橋獨立守備第三大隊第一中隊故尾池伍長土屋森谷森下各上等兵の告別式は一日夜來俄に降り出したる大雪のため大石橋小學校講堂に祭壇を變更し二日午後一時より最も莊嚴裡に營まれた、四個の遺骨には夫々有りし日の凛然たる面影を偲ぶ遺影あり共同側より順位に關東長官關東軍司令官滿鐵總裁副總裁營口領事大石橋營口各警察署及聯合婦人會並に市民一同其他各種團體滿洲日報社等より贈られたる花環幾十旒の輝やかに列べられたる森嚴なる祭場自から四勇士の武勳を物語る中に營口大石橋及沿線各地の官市民各團體代表約五百名着席するや葛目少佐の挨拶に式を始む

讀經、中隊長弔詞、戰友弔詞、營口領事、地方事務所長、警察署長、在鄕分會長、驛長、市民代表、營口市民、代表沿線官民代表の順に弔詞あり

次ぎに各機關要路よりの弔電朗讀の内に森下上等兵母堂より「良雄天晴れであつたぞ、母は滿足に思ふ」との母人の純情現はれたる電文あり堂に滿ちたる參列者一人として暗涙に咽ばざる者なし、斯くて午後二時半喪主葛目大尉の挨拶に式を閉ぢたが近來稀なる盛儀であつた

河野大尉遺骨

【旅順】故陸軍歩兵大尉河野基英氏の遺骨は二日午後一時三十分旅順驛發列車にて出發故國へ向つたが驛頭には大谷要塞司令官永山市長各團體各學校生徒兒童ホームを埋め敬虔なる沈默裡の裡に懷しい旅順と別れを告げた

杉山曹長遺骨

【安東】安東守備隊故杉山曹長の遺骨は一日午前六時四十五分安東市民多數の見送りを受け北行したが、その戰友の腕に淋しく抱かれ空しく去り行く悄景は見送る一同の涙を唆つたと共に集る人々は等しく永久士の冥福を祈つた

新義州の婦人會聯合

【安東】新義州には愛國婦人會始め白百合會、各宗教婦人會等數種の婦人團體があり各々の使命に向つて活動してをり一面それ等團體等はそれぞれ隱然たる一大勢力を有して居るが、稍もすれば相對立の姿勢となり確執することなきにしもあらず從つて其の活動能力を減殺することなきを免れ難きに鑑み最近に至り有識者間に於ては各婦人會を打つて一丸となし所謂聯合婦人會を組織して中心點を置き聯絡を計ると同時に統制を期し大同團結して活動すべしと唱導されてゐるが將來益々婦人の活動を期待すべき事多々ある今日最も機宜に適した提唱であると云はれてゐる

本溪縣の小子臣歸順許さる
縣民災厄を免かる

【安東】本溪縣下に暴威を揮ひ其部下千百餘名を率ゐ居る匪賊頭目小子臣は過般來本溪湖縣知事李蕃東の斡旋に依り我軍に歸順方申出で一月二十日部下六名と共に本溪湖支那街に來りて板津大隊の來溪を待つて居り板津大隊長は早川大尉、縣省政府員帶同三十一日來溪し關係者立會頭目小子臣と會見した條件歸順申出を認め之を許す事となつた、之に依り部下千百名の内大部分は歸農する事になり小子臣は更生すべく縣民また干戈の災厄を免れ得るので板津大隊長の苦心と關係斡旋者の功績は特筆に値する

八卦溝に强盜

【鞍山】一日午前二時頃鞍山東接續地遼陽縣八卦溝後街農李某方に三人組の强盜が侵入し范(五五)の長男治國(三)に對し銃を突き付け脅迫して所有金全部を提供すべし若し應ぜざる時は直に殺害すると脅迫し所持金三十錢と銀腕輪時價四圓一個を强奪し南方に向つて逃走したと

巡邏中射たる

【鐵嶺】一日午後九時半頃新臺子派出所應援出張中の巡査村上、遠藤兩氏が市中巡邏の途税捐局附近

馬賊三名處刑

【鐵嶺】去月二十日得勝臺東方崔陳堡の激戰で鐵嶺公安隊の手に逮捕された馬賊三名鐵嶺縣下八張屯出身陳永發(三)、屆中屯出身尹富山(三)、四冲出身胡善富(三)は省政府の命により二日午後一時二十分南門外の刑場に引き出され銃殺されたが折柄の降積む白雪の中に端坐し數發の銃聲と共にあたり一面朱に染め擴がつて觀衆は積雪を冒し數百名が人垣を作つた

に差かゝつたとき突然闇の中より五六名の一組に狙撃されたが幸ひ彈丸は外れて兩氏に異狀なく急報に接し新臺子派出所員守備隊等總出となつて搜査したが犯人逮捕に至らなかつた同地には西方に接近せる賊團より多數の密偵が潛入してゐるらしく極力嚴戒中である

疑問の死は自殺
三通の遺書發見さる

【奉天】自殺か强盜の犯行か謎の死を遂げた市內木曾町九番地大連火災海上保險會社代理店事務員富田良三(五三)に關してはその後取調べの結果同氏の机の抽斗から三通の遺書が發見されたそれによると自分の肺結核を恐れ家族は勿論一般社會に迷惑の掛らぬ內にさらりと自己を清算からたの自殺を決行した事が判明するに至つた猶その妻子、石田氏及び野田赤十字病院長に宛た遺書は左の如くで涙の決心がありくと書かれてある

妻子に宛てたもの(原文のまゝ)
一昨年八月風邪以來肺炎慢性氣管支炎の經過良好ならず又不良とも思はれざれ共これ忠むべき結核の道程を辿りつゝあるに外ならず而して窮屈なる入院は勿論自宅靜養もこの元氣にては出來ず今二、三年位は執務し得るとは思へ共發熱病菌發見の場合は職を失ひ家族並に社會に危險を及ぼすに至らば誠に申し譯なし實に殘念だが仕方なしこれ運命の然らしむる處と斷念す一般社會より精神狂者しくは小心者と嘲笑されんも最善の處置と信じ決行す將來層一層自己子供等の育立を望む尚軍隊及び警察に各百圓宛寄贈ありたし

石田氏宛のもの
引繼ぎ完了を待ち得ず內憂外患車中にてこの始末にて何とも申し譯なし從來余に與へられし溫情を告げ遺族に陽ならんことを

野田病院長に宛てたもの
一昨年八月風邪以來格別の御手當を辱うせしも何等異狀無之發熱又は時間の問題必然的に錢るべきも將來肺患者として長年月

光輝稀に見る戰ひ
一兵をも損せず敵を殲滅した
前小煙臺の戰鬪詳報

(三)

斯くの如く我が部隊は何れも所命の下に些の支障無く各々其の部署に就き克く滿を持して戰鬪の開始を待つ內午前七時十出時刻稍前東天黎明漸く明け行く頃前小煙臺南端附近に在りし敵の監視部隊らしきもの我が軍の襲來を認めたのか突如我南方地區に肉薄せる葛目第三中隊に對し射撃を開始した、午前七時なり時正に到る卽ち葛目少佐は既に戰鬪準備を完全に整備し只々友軍との呼應時刻七時を待つて居た山砲に對し一齊に射撃開始の命を下す茲に於て前小煙臺の戰鬪の幕は東天に昇る旭日と共に切り落された、敵の總部隊又地の利を得たる要害に依り我れに數倍する兵數を賴みてか是れ又頑強に應戰す、砲聲頻りに起り我が將兵の士氣正に沖天の慨あり

◇

一方本部の指揮下にある主力部隊第一第二第四中隊は各々所定の地區に隱蔽展開の陣を敷き所定時刻正に七時南方に銃砲聲を聞きつゝ尚ほ且つ隱忍自重し生唾を呑みつゝ今や遲しと敗走し來る敵を待つ、第一中隊右側の本部大隊長以下各幹部又一刻千秋の思ひあり、時も時午前七時二十分頃我れ先きに逃走せんと約四百騎の敵兵混亂せる隊伍を以つて後小煙臺より出で來り北方に血路を求めて驀進し來る謀つた策は正に當つた、我が隊敵展開ぜる左翼第二中隊の正面片峰を呑みつゝ六百五百三百愈々近距離圈內に入る「時」正に到る、第二中隊は不意に之れに猛射を加ふ、敵の狼狽一方ならず文字通りに混亂しつゝ左に方向を急轉し中央第一中隊の潛伏線に正面より逃進し來る、第一中隊は此の時未だ隱蔽して尚ほ射撃を開始せず沈默を守り續け居たが、敵はさる事とも知らず三百米突圏內に猛進し來りたる時命令一下各種火器の威力を最高度に發揚して一擧之れに猛射を加ふ、時や遲しと待ち受けたる右翼第四中隊又一齊射撃を開始し葛目少佐の山砲續いて後小煙臺北端附近に射程を延伸し遁れまいと射撃する、敵は愈々刻一刻混亂の極に達し獵夫に追ひ廻はされたる猪の目當もなくひた荒れに荒れ狂ふが如く我が包圍圏內に渦巻き狀を呈し其の最も近きは我が銃口前二十米突に迫る我が包圍部隊は一刻一秒正確なる射的を定め共に射撃愈々熾烈其の度を加ふや敵の死傷相次いで山を爲す、我が友軍の小隊旗分隊旗中隊旗煙砲彈雨の中に翩せ交ひ大和男の子の雄叫び此處又彼處に起る快!又快!壯烈勇武言語に絕し戰勝の愉悅を覺えしむ、時正に旭日東天に懸り光輝燦然たり

◇

一、本戰鬪は全く敵の意表に出で完全無缺なる包圍に依り徹底的打撃を之に與へ以つて滿鐵線並に附屬地襲撃の野望を根底より覆滅した

二、本兵匪は近き將來に於ては再び團結統制ある活動を爲し得ないだらう

三、本戰鬪の景況は遂次近隣兵匪に傳はりて其の心膽を寒からしめ彼等をして我滿鐵線に近迫横行するを躊躇せしむるに至るだらう

四、本戰鬪に於ける彼我の損害左の如し

▲敵軍　戰場に遺棄せる死體のみにて少くとも百三十、傷者多數(後日密偵の報告に依れば輕重傷者合して二百名に達したと云ふ)鹵馬約六十頭

▲我軍　死傷なし

◇

兵匪の主力前小烟臺より潰走して我が包圍圏內に入つた時は卽ち彼等の運命の盡きし時にして當時の景況は「壯絕」の二字に盡く

戰鬪直後敵の一部は辛うじて北方東南方及び南方に脫走し亦一部は前小烟臺內に潛伏してゐただらうが戰鬪翌日及び翌々日前小烟臺に派遣せる密偵の報告によれば敗走せる敵は再び前小烟臺を根據とし一夜の内に二三度駐屯地を變更して辛ふじて生命を維持して居る樣であるわが軍復仇的觀念を以てする滿鐵線並に附屬地の襲擊に對し至嚴なる警戒を爲しつゝあり極力敵の剿滅の機を窺つてゐる(完)(寫眞は前小煙臺に入城する我軍)【大石橋支局發】

土地貸下受付

【奉天】奉天地方事務所地方課土地係では二月一日より土地貸下の受付を開始したが今年の貸下地區は奉天舊競馬場、蘇家屯驛前通りの二ケ所にして問題の加茂町粹山裏の空地は目下本社に申請中で認可指令のあり次第貸下受付を開始する筈である

奉天の失業救濟
救濟と職業紹介とに
市政公所乘り出す

【奉天】奉天市政公所では財界の不況並に今次の事變で失業者續出するに鑑み之れが救濟と職業紹介の爲め失業職工冬期紹介所を設置し旣に業務を開始して居るが市政公所に登記したるものは非常に多く目下の處三十餘名に達して居るが今後尙多數の申込あるべく見られて居る、尙奉天市長趙欣伯氏は最近奉天城內に避難し來れるものは五六萬に達し內住居なきもの多數ありこれ等を救濟すべく官有の家屋を一齊開放し收容することに決し特に行政處長代理陳芳親に命じこれが實行に着手せしめた

地委聯合會準備打合會

【奉天】滿鐵地方委員聯合會開催に先立つてこれが準備打合會は旣報の通り一日午前十時より奉天事務所階上會議室に於て開催されたが當日の出席者は奉天石田、鞍山高[illegible]、安東大津、大石橋小林、開原佐竹、公主嶺丹宗、長春磯崎の七委員で定刻石田氏議長席につくや

一、第九回全滿地方委員聯合會定時會開催日時、會場の件

二、提出議案期日の件

三、特別委員を常任委員に變更の件

四、時局に關する對策

五、聯合會名稱變更の件(滿鐵云々を全滿に)

につき協議を爲したが日時は三月は五六の二日間、會場は奉天加茂小學校、議案提出は二月二十日迄奉天事務所地方課宛、聯合會の名稱變更は聯合會の名稱變更に伴つて決定されるものとして原案通り可決時局に關する對策としては意見區々にして追つて協議する事にし聯合會の名稱變更は三月五六の大會に於て決定することにした、尙當日は滿洲見本市開催に關し入江中村、矢部輸組書記の三氏右委員會を經て滿鐵に要望せしめたき旨を請願し委員會もこれを容れて午後零時閉會した

集金人襲はる

【鞍山】鞍山[illegible]は一日朝遼陽縣馬圈子部落に集金に赴き其の歸途午後一時頃立山驛西南方一キロの鞍山製鐵所舊ノロ捨場で高粱の中に差し掛るや二人組の辻强盜現はれ銃を擬し集金した現大洋全部を强奪し西方に向けて逃走した

沿線往來

▲佐竹滿鐵理事　二日來奉
▲佐野關東軍經理部長　同上
▲香村岱二氏(新奉天獸醫研究所長)二日奉天各方面歷訪新任挨拶
▲關屋遼陽地方事務所長　一日奉天往復
▲朝鮮より派遣され旅順衛戍病院に勤務中の吉井班長以下二十四名の赤十字社看護婦は二日午後八時二十分旅順驛發列車にて官民多數の見送りを受け赴奉

公主嶺

野砲隊待機

某地第〇〇團第〇聯隊野砲兵第〇隊は一日午後九時三十分公主嶺驛着の臨時列車にて來公目下待機中である

大師寺の祭典

櫻町高野山大師寺では鎭護國家を宗是とせる弘法大師相傳の節分の星祭を四日午後六時盛大に執行する

聖體御安泰奉告祭執行

過般の不祥事件は恐懼に堪へざるも幸ひ聖體御安泰に遊ばされたることは大慶至極の旨一般在住者に通知し一日午前十時公主嶺神社は右奉告祭を莊嚴に執行した

開原

鮮人民會成立

久しき問題であつた開原朝鮮人民會設立問題も時代の要求により洪淳享、鄭晃極、崔國敏三氏が發起人となり一月三十日普通學校に創立準備委員會を開催し民會組織方法を討議の結果會規起草委員五名を選定し二月二日再び準備委員會を開催三日在開鮮人總會を開催する筈である

氷滑會に優勝

開原小學校は一月三十一日奉天に催された州外沿線小學校對抗氷滑大會に參加したが最初より斷然敵を壓し優勝旗を獲て威容堂々凱旋した

鐵嶺

増員警官到着

事變以來在鐵官民の熱望して止まなかつた鐵嶺の警備充實と警察官の増員は今回林新任警務局長の英斷と青木署長の盡力によつて漸く實現することゝなり十七名の新任警察官が鐵嶺署勤務となつて二日夜午後十一時十七分着列車にて來任した、當日は近來稀なる大吹雪であつたが警察官増員の報に喜び多數官民出迎へ長途の勞を犒つたが何れも林新任警務局長の果斷に感謝してゐる、警察官も連日の激務も此増員で幾分緩和せられ餘裕ある警備に就く事が出來るであらう

奉天

氷上大會納會

奉天事務所社會係主催氷上大會並に納會は來る十一日午前八時より奉天國際運動場に於て左記プログラムに依り開催される事となつた

プログラム

- 一、尋常科（男女）學年別各一組）
- 五百米、千五百米リレー（男女
- 一、高等科（男子）
- 五百米、千五百米
- 一、女學校
- 五百米、千五百米リレー
- 一、中學堂
- 五百米、千五百米リレー
- 一、中學校
- 五百米、千五百米リレー
- 一、醫大
- 五百米、千五百米リレー（以上全部オープン）
- 一、選手女子部
- 五百米、千五百米
- 一、選手男子部
- 五百米、千五百米、五千米リレー
- 一、全部リレー

商議役員會

奉天商議にては二日午後一時より同所會議室に於て役員會を開催し全滿公共團體聯合大會に關する……

遼陽

遼陽警備會議

遼陽駐箚部隊の北方出動後における警備に付二日午前九時から歩兵第十六聯隊の留守部隊に於て師團側、警察、憲兵分隊、在鄕軍人分會の幹部會合協議する處があつたが更に同日午後四時半から警察署樓上に於て非常時に於ける城内外警備上の問題に付熟議する處があつた

慰靈祭に參列

大石橋守備第三大隊の第二中隊尾瀨伍長以下四名の慰靈祭が二日同大隊で執行されたので遼陽時局委員會から花環一對を供へ吉田幹事が參列した

軍馬慰問金

遼陽在住一少女の名を以て金參圓也を憲兵分隊に軍馬慰問金として二日取次方を申出でた奇特な少女があつた

地委茶話會

遼陽地方委員會は二日午後一時から地方事務所會議室で茶話會を開……

安東

御神寶到着

先般伊勢神宮より安東神社に御下附の御神寶

- （一）革御鞆一腰（一）御楯一枚
- （一）梓御弓一張（一）御太刀一柄
- （一）御靫宮一合

は關東廳より都甲神官、高橋氏子總代長之を捧持して三十一日午後九時無事着安したが驛頭には諸團體、官民有志多數の出迎へあり直に安東神社に奉納された

公安隊を充實

安東縣警務處が一月十六日以來市警察に屬する公安第三隊（百二十名）の增置を計畫し爾後隊員を募集中であつたところ、一月三十一日迄の應募者總數三百二十名の内身許保證人ある者九十名を採用し公安第三隊を編成、第二隊同樣大沙河電燈廠跡に於て連日各個教練及び主として射擊動作を教育することゝなつた

鳳凰城

鳳城縣自警團

鳳城縣自治執行委員會では縣下各鄕村に自衞團を設け匪賊の侵入防止並に討伐に備へる爲め團員五百名を募集し大堡、白旗堡に駐在せしめ、將來は之れを警察隊に改編する計畫を樹て既に兵器長銃五〇〇挺彈丸五萬發の支給方を軍部に請願中である

應援警官到着

警備充實のため二日午後一時着の列車で朝鮮から武裝應援警官警部補一名、巡査部長一名、巡査二十七名着鳳したが、之れと交替に從來の關東廳よりの臨時應援警官六名は引揚げ歸還した

大石橋

道場武道納會

飛行隊駐屯の都合に依り先月二十日より寒稽古を開始した大石橋道場に於ては時局出張員等の爲め其人數に於て例年の如く多數ならざりしも滿鐵軍、警友軍、憲兵軍、守備隊軍、地方軍共時局柄其の緊張味甚大本日迄猛練習を續けたるも寒稽古としての練習を切り上げ午後七時より俱樂部日本間に於て納會を催した

…出席及び議題の件その他に關し協議せるが、更に四日は午後二時より臨時議員會を開催し右役員會に依る議案につき審議を爲す事となつた

車票規定改正

奉天市警察局では今回車票規定を左の如く改正し市政公所の許可を得て二月一日から實施することになつた（但し荷馬車を除く）

自動車々票一個現洋		七元
同交換		一元
馬車々票		廿五仙
洋車々票	同	
自轉車々票		十仙

瓦房店

兒童慰安映畫

二月四日午後一時半より小學校講堂において第四回兒童慰安會が開かれる會費は大人十錢子供五錢でプログラムは左の如し

實寫鯛網と餡船一卷、喜劇お轉婆サリー一卷、科學電燈二卷、漫畫空の桃太郞一卷、教訓劇此の子を見よ四卷

保健衞生講話

瓦房店小學校にては先般施行した兒童檢便の結果及本月中に施行する豫定のマントー氏體質檢査に付其任に當れる醫師をして左記に依り講話會を開催する事となつた

（一）場所は小學校講堂（二）日時二月三日午前十時より一時間、（三）話題マントー氏體質檢査に就て及檢便の結果並寄生虫の驅除に就て（四）講師學校醫尾崎吉助氏及習日細菌檢査所主任安村外茂氏

復縣々長任命

瓦房店復縣執行委員會長李寶平氏は今回職制改正の結果復縣々長に任官した

旅順

重砲兵隊歸る

紅頂山の序戰以來錦州、山海關迄裝甲車乘務員として活躍した旅順重砲兵大隊砲兵中尉以下〇〇名は二日午前九時十分旅順着列車にて元氣旺勢凱旋した、驛頭には在旅官民各團體、學生、兒童堵列し列車が驛構内に勇姿を現すと怒濤の如き萬歲歡呼の聲が起る、車内の兵士達も赤ハチ切れる樣な喜色を滿面に浮べ大小國旗を振つて應答する、一同下車と同時に永山市長一同を代表し慰勞謝辭の挨拶を述べれば橋國中尉元氣な答辭を述べ……

建國祭の行事

來る二月十一日建國祭當日行事に關し旅順市にては一日午後二時より各方面代表者參集の上種々協議の結果今回は新市街體育研グラウンドを式場とし當日は在旅官民、各團體、各學校を始め軍隊も參加全市總動員の下に午前十一時迄式場へ集合、同十分「氣を付けッ」ラッパと共に

▲國旗掲揚（君が代吹奏、諸員注目敬禮）▲君が代合唱（二唱）▲皇居遙拜▲司會者建國詔書捧讀▲建國歌合唱▲司會者發聲萬歲三唱▲國旗降下（君が代吹奏諸員注目敬禮）▲解散

右終つて參列各代表者は白玉山に參拜する事と決定し當日携帶の小國旗は市役所に於て準備し一本金十錢で分與する又同時刻は一般參列出來ざる市民の爲めモーターサイレンを鳴らし默禱する事とし猶……

…遼隊長久の加護を謝したる後懷しの營門に這入つたが更に山村隊長への申告、隊長よりの訓示があり冷酒を酌んで祝盃を擧げた

…再び起る萬歲盛裡にホームを出て直に白玉山納骨祠に參拜親しく武運……

全旅卓球大會

第一回全旅師範卓球大會は既報の如く卅一日午前十時から旅順公學堂に於て開催參集せる選手百餘名を算し觀覽者多數準決勝戰頃より場内漸く白熱化し優勝旗は遂に師範クラブA組の獲得する處となり盛會裡に閉會した當日戰跡左の如し

▲第二回戰
師範A15－二小2、工大18－師範B12、紅葉15－刑務所2、旅公A16－岐寮4

▲準決勝戰
旅公A17－工大9、紅葉6－師範A15

▲優勝戰
師範A　旅公A

高橋	3－0	林田
勒	3－1	明星
選	3－0	細川
李	3－1	金
洪	3－0	鞠
計	15－2	

新長官歡迎會

在旅官民有志は四日午後五時から昭和園に於て山岡長官を招し歡迎會を開催することゝなり會費一圓五十錢にて今三日中至急市役所宛申込まれたいと

第二の反抗 (141)

三宅やす子
阿部金剛畫

再會（一）

佐枝子は父の手紙を、半ば疑ふやうに繰返して讀んだ。

「ほんとかしら、父樣の代理に、寮一さんがこゝにやつて來るつて―あの、私が東京に行つた時にさへ、顏を見せなかつた寮一さんが、はる／＼こんな田舍まで、出掛けて―あたしの事で出掛けて來るなんて―」

しかし、卷紙の上の墨文字はハツキリと、この土曜日の夜、そちらに到着するから、と時日まで示して居るのだ。

「まあ何て―何て、思ひ懸けないことだらう。私の部屋を、あの方が見やうなんて、そんなことが

「あたし、奧さんになつてから、はじめて自分でおもてなしするんだつたわ」

さう云へば、この村での客は、數衞の客は皆料亭でもてなすのが例になつて居た。

「ハヽヽヽ、新家庭の新夫人ぶりか」

さうよ、と云はうとして、佐枝子は息がつまつた。こわすばかりにぐらついた新家庭だつた。

土曜日の夜。

寮一は驛に出迎へた數衞夫婦に逢つた。

「これは―恐縮です、わざ／＼お出迎へ頂いては」

改まつて彼は數衞に挨拶し、それから、佐枝子にも頭をさげた。

んまり田舍びた樣子できつとあの方驚くに違ひないわ―でも趣味まで下品になつたなんて思はれたくない、そこら中、きれいに片づけて―野暮くさい飾りものは一切見えないところに片づけちまはう」

それが自分の身の上の重大事件で來るのだ、といふやうなことは、佐枝子は考へやうともしなかつた。只何となしに、そはくくして、落ちつかない數日を送つた。

「元氣がいゝねえ」

數衞がさう皮肉を云つた。

「えゝ、東京のお客樣つて、初めて來るんだから、どんなにしてもてなさうかと思つて」

佐枝子は、いつもに似ず、こだ…

「乘合はガタ／＼していけませんから、車をよこしておきました」

寮一は指される車に乘り込んだ。

夜道を走る自動車。

寮一、數衞、佐枝子、といふ順で、三人は、時々、ポツリ、ポツリと義理みたいな會話を寮一と數衞の間に交してゐる。

默々として揺られてゐる佐枝子は、胸が苦くなり、こんな夜の自動車に乘らなければよかつたと思つた。

默つて居る彼女に氣がついて寮一は云つた。

「お身體にさわりやしませんか」

「いゝえ」

何かなしに、佐枝子は、はつか…

『全員彈丸悉く盡き肉彈で斬り拔いた』

二日夜悲しくも松尾中尉等の遺骨大連に到着す

錦西小嶺子方面に於て數百名の敵から包圍され戰史にも未曾有の壯烈極まる全滅を遂げた松尾中尉以下二十五名並に新立屯方面に於て三方より敵の攻擊を受け戰死した不破少佐以下十五名その他合せて五十三名の戰死者の遺骨が二日午後八時二十五分大連驛に到着した驛頭には軍部、在鄕軍人、靑訓生徒、各團體、各宗僧侶、その他市民プラットフォームを埋め小川市長、辛島民政署長、石井警察署長、江口滿鐵副總裁その他官民有力者の出迎へあり

戰友 を代表して井上三等軍醫の挨拶あつて後一般の禮拜をなし遺骨は遺族、戰友、在鄕軍人等に護られ關東倉庫に安置された、遺骨輸送の任に當つた宍倉曹長は松尾中尉以下の戰死當時の模樣に關して語る

松尾中尉以下二十五名の輜重兵隊は一月六日二十七聯隊に糧秣を供給する爲めに錦州を出發七日錦西に到着し無事任務を遂行した、その夜驛近くに匪賊が襲つて討伐に向つた當時松尾中尉の一隊は豫備隊として錦西驛に殘されることゝなつた處非常に殘念がつて是非參加させて貰ひたいと懇願して之が容れられて第一線に立つた所驚くべき

勇敢 さを發揮し同地の駐屯部隊員も舌を卷いたと云ふことである、輜重兵ではあるがそれ程に他兵からも信賴されてゐた九日中尉以下他の任務があるので錦州に向けて引返したがその途中小嶺子東方高地に於て約八百名の敵が側面から現れその內後方からも射擊され全員戰死するに至つたので後から調べた處に依ると最後には全員彈丸悉く盡き肉彈をもつて切つて切つて切り拔いた跡がよく判る、そして松尾中尉の如きは身に數十ケ所の刀傷や彈傷があつた程である私と他に若干名はこうして

戰友 の遺骨を鄕里（關東地方）に屆けてすぐ又引返し必ず仇をとるつもりです、吾々生殘りの者は生きて凱旋しやうなどとは一人も考へてゐません、唯弔合戰の時機を待つばかりです

十字火を浴びてつひに戰死

不破少佐等戰死の狀況

又新立屯附近の戰鬪に於て不破中隊長以下十五名の戰死した當時の狀況につき右戰鬪に參加した井上三等軍醫は語る

不破少佐の率ゐる騎兵中隊、衞生隊其他は一月十一日朝新立屯を發して敵狀搜査の爲め附近の黃地と云ふ部落に行き村長から狀況を聽取した、その時監視兵が正規兵及び賊らしきもの

數名 が逃げて行くと報告して來たが自警團だらうと思つて前進した、そして六七キロの宋家窩堡といふ處に行つたところ十時三十分頃突然五臺子の高地が襲擊された、一同徒歩となつて應戰し十二時半頃まで戰鬪は續いた、敵は約二千名であつた味方からは特務曹長及び兵四名が負傷したがそれでも餘裕綽々であつた、所が敵はこの時千五六百の乘馬隊が增援して側面から攻擊し漸次わが軍の後方に廻り十字火を浴せらるゝこととなつた、一同再び乘馬して奮戰したが何しろ三方から銃火を浴び力の限り戰かつたがこの時不破中隊長廣瀨大尉及び兵一名が

戰死 し非常な苦戰であつた更に戰鬪が續くに從つて戰死者續出する有樣で自分は馬を射たれて倒れたが藤原一等兵に助けられて戰死者の馬を借りた藤原一等兵の馬も倒れたが同人は僅か三十六發の彈で敵六人を倒したこれが爲めに一時敵が退いた程の剛の者である、かくて奮戰し乍ら兵を集結し六時三十分に至つて應援の步兵隊とも連絡がとれ敵を擊退した

夫と最後の別れ

混亂の上海を逃れて避難邦人長崎に到着

【長崎二日發】動亂の上海から危地を脫して歸還した避難者婦女子を主とする八百四十八名を乘せた長崎丸は午後二時半當地に入港したが、甲板と言はず船室と云はずこれ等氣の毒な避難婦女子の姿で一杯、船は文字通り鈴なりの態であつた、岸壁は避難民關係者、各種團體などの出迎へで雜沓を極め

出迎者 も避難者も只もう淚で名を呼び交しながら制止も肯かず船內へ雪崩込んで行つた、同船事務長は語る

船室の割當も出來る筈なく等級も無視し御見掛け通り混雜です今日八百四十八名引揚げて來ました、乘り切れず本船の出帆を怨めしさうに見送る人達には實に氣の毒でした本船は明朝上海に引返し又避難者を乘せて來ます碇泊中にも銃聲は繼續して聞え混雜の巷といふ言葉その儘の狀態で居留民の不安は極度に達してゐます

また夫を上海に殘して避難して來た一人は動亂勃發以來の經過と恐ろしい思ひ出を交々語る

勃發したのは二十八日の夜半十一時であつたと思ふ、豆を煎るやうな銃聲聞え間もなく

突貫の 聲が聞えた、これは支那兵の發砲に對して緊張しきつてゐた在鄕軍人がたまり兼ねて應戰したのです、そして戰は忽ち市街戰となり夜半窓から光でも洩れやうなら狙擊されるので窓と云ふ窓は毛布や布團で覆ふて仕舞ひ難を避けてゐたが窓外には銃聲と砲擊の炸裂する音物凄く終夜まんじりともせずすくみ上つて恐ろしい一夜を明かしたが翌日からは程近い第一線の戰と便衣隊の活動とこれを狩出す陸戰隊の奮鬪加ふるに火事は各處に起ると只物凄いばかりこの間に在つて陸戰隊、在鄕軍人の活動殊に十四歲以上の少年隊が軍隊や在鄕軍人の間に交つて警邏に加はり少さい身で大きな支那人の服裝檢査をしてゐる

健氣な 樣は淚なくしては見られぬ圖でした、殊に支那側は前から準備を整へてゐたのに對して我軍は用意もなく地理も知らない水兵が陸上で惡戰苦鬪する樣は混亂の中にも感ぜられてゐましたが如何せん戰は大變我軍に不利に進展してゐるやうに聞いてゐます、支那街と云はず邦人居住區域と云はず各所に火災が起り消す人もない、大火は支那街も租界も焦土となつた地域は大變なものでせう、この大火と市街戰の中を無數の支那人避難民が雪崩を打つてゐるので混亂の狀も略想像が出來ませう、私等は三十一日の夜乘船しましたが昨日吳淞沖を出るまでは甲板にも絕えず

彈丸が 飛來するので皆が一團となつて船室に閉じ籠つてゐました、こうした混亂の中に在つても通信の任務に服する新聞通信社員は無二無三に飛廻つて材料蒐集と打電とに死を賭して驅廻つてゐるのでした、私達も萬一の場合を豫想し最後の別れを告げて來たやうな次第です

本溪湖に同胞避難

兵匪來襲掠奪

二日午後十時安奉線祁家堡北方五里の鎭家店子に二百名の匪賊來襲し盛んに掠奪中で同地居住の鮮人二百名中八十名は辛うじて本溪湖に避難してきたが、その他の者は消息たへ安否が氣づかはれてゐるなほその北方十里の地點に居住の鮮農五百名も匪賊の襲來に多大の不安にかられてゐる【奉天電話】

前線の軍警に新聞を贈る

神明、彌生、羽衣の三高女では大連婦人團體聯合會の希望を引受けて毎日不用となつた新聞を集め、第一線に活動しつゝある軍隊警官滿鐵社員等に之を寄附することになつたがこの試みは多分非常な歡迎を受けるものと觀られ前記各校では一般にこの趣旨に贊して當分の間讀了の新聞を生徒に持たせて貰ひたいと希望してゐる

撫順の近郊で賊團を爆擊

下章黨商務會を脅迫

撫順警察管內の下哈達を根據として撫順警察新賓各縣下に猛威を振つてゐた頭目趙亞州以下四百名の匪賊は突如二日夜撫順東北四邦里、下章黨商務會に對して現大洋一萬圓及び警察その他銃器一切を三日夜中に提供せよ然らざれば一擧に部落を全滅すべしと脅迫狀を送つて來たので三日未明來護路軍四百は急行して警戒すると共に奉天飛行場より爆擊機一機午前九時撫順の上空を經て同地に赴き賊團を爆擊した【撫順電話】

運轉手殺しの犯人映畫館歸りを逮捕

一日奉天から來連し變裝徘徊

犯行一切を自白す

三日未明旅大道路に於て行はれた自動車內の殺人强盜事件は關東州內最初の怪事件として市民を脅威せしめたが、全力を擧げて犯人逮捕にあたつた大連署司法係の敏腕なる活躍の結果さしもに殘忍なる犯人も三日午後四時十分大連署の遠藤、黑岩、三牧、佐々木四刑事の手に逮捕されるに至つた、右犯人は原籍福島縣河沼郡新鄕大字川井、現住所不定淸野三郎（二四）で、身には[illegible]を着用し、その他佩劍までそろへすつかり[illegible]に成り澄ましてゐたが、右はいづれも去る一日奉天より來連の際途中で竊取したものである、

來連後市內各映畫館を遊び廻り二日午後九時過ぎ中央館より大タクで旅順に赴き既報滿タクで歸連の途中大膽なる殺人强盜を行ひ、その足で大連に入り込み悠々と帝國館で映畫見物をしてゐたのであるが、映畫が終つて出て來る所を前記四刑事の目に止り、尾行の上伊勢町田中吳服店先きの道路に差し掛つた所を死を決した四刑事が四方より飛び附き淸野が右ズボンのポケットに入れてある拳銃を取り出すひまも無く高手小手に縛し上げ直ちに本署へ連行したものである、犯人は兇器たるモーゼル二號型拳銃（彈丸八發裝塡豫備彈丸三發）及び殺害された運轉手の十八型銀側時計を所持しており、證據品をつきつけられて犯行一切を自白した、なほ[illegible]で着用して、自からも[illegible]と稱してゐるのでその眞僞は目下照會中である

滿蒙視察の團體申込み續出

既に東京で十四團體

日本內地各方面からの滿蒙視察團の申込は益々旺盛を極め三日滿鐵東京鮮滿案內所から大連滿鐵本社に達した報告によれば同所受付けのもの、內實現可能と見られる團體のみで既に左記十四團體を數へる程で尙續々申込があり滿鐵々道部營業課は宿舍の準備その他に漸く多忙を極めて來た、なほ今回の見込團體の視察經路は從來と異り大多數は四洮、洮昂、チチハル、ハルビン、または吉長、吉敦經由を希望してをり東京支社では詳細な必要事項を大連と打合はせてゐるが、たゞ近時匪賊の鐵道附近出沒に一般旅客は不安を抱き目下の所では實施期日を躊躇してゐるの狀態であると

東京製糸原料（二月上旬十五名）日本商工會議所（三月上旬廿名）東北大學（三月下旬廿名）滿洲日報（三月上旬四十名）大連新聞（三月下旬四十名）新潟縣廳（四月下旬廿名）東京鐵道局（五六月頃二百五十名）仙臺運輸事務所（五、六月頃百名）長野運輸事務所（五、六月頃二百名）靜岡縣靑年團（五月中旬廿名）大國屋（五月頃廿名）名古屋鐵道局（五、六月頃二百名）東京輸出貿易協會（六月頃五十名）東京府立第一商業（六月頃百名）

將校團歸國

全國各師團より選拔され最近の支那事情視察中であつた將校團中東北班たる步兵第二聯隊步兵少佐原加壽男氏步兵第三十一聯隊步兵少佐島村英次郎氏、近衞第三聯隊步兵少佐鶴岡信包氏、步兵第卅六聯隊步兵中佐竹下幾太郎氏は南支、山東、滿洲各方面の視察を豫定の如く終り三日出帆うらる丸にて歸任の途についた

機關銃一挺により大敵に當り五時間奮戰

日本戰史を飾る隱れた新立屯の

（二）高木小隊奮鬪物語

敵と火蓋を切つてから二時間ほど經過した、この頃一番接近してゐる敵は正面に二百名ほど背後には百名ほど、その距離は西北の村を占領せる約四五百米突が最も近くて、遠くて七八百米突である

敵の主力 は林の中に位置しながら漸次西北方に移動の模樣である、われには中隊に連絡すべき方法手段は一つもない、敵の六七十名のものが、小隊の西北方の村を占領するとそこの銃眼を利用して極めて正確な射擊を送り出して來た、それと同時に最初の負傷兵が續いて二名出た、中尉は負傷兵の手當をやらせながら依然西側の丘に行つたり來たりして指揮をつゞけてゐる。三時間前に出發した八道壕の煙突ははつきり北の空に見えるけれども全く連絡の途がないのである、午後三時頃になるとひつきりなしに應戰してゐる銃はすつかり熱くなつてゐる、さともに彈藥箱は一つ宛空になつて行く、この彈丸を射ち盡した時が小隊全滅の時である、これと反對に敵の數も火力も一向衰へようともせぬ、却て北方から更に約二百ほどの乘馬隊が南下して來た、中尉は正面の敵はどうやら退却が出來てその前進も活潑でなくなつて來たが、問題は西北方の村の敵だと思つた。先づこいつをたゝいてと思つた。

豫備陣地 の偵察に赴いた時である、中尉が右大腿の骨をめちゃめちゃにやられたのは、この頃最も勇敢な敵の十名許りのものは東側の丘の一角に足をかけてそこから狙擊したのである、小隊にとつては極めて危險な時期である、この機を逸せずに支那兵の總突擊があつたら凡そ結果の想像はつくが我にはまだ勇敢沈着しかして剛膽な分隊長が居る、坂見延彌と云ふ伍長の上等兵がそれだ、そして射手以下三時間にも餘る突戰に皆一騎當千の勇者となつてゐる、そして支那兵には殲滅殺破の明に缺けてゐるのが何より我にとつての幸ひである「小隊長殿」耳許でさなる分隊長の聲である。「畜生、何くそ、やりやがつたな……あいつをやつゝけろ、そしてあとは乃公と共にこゝで死ぬんだ、このこぶ（丘）このこぶだけは最後の一人となるまでかぢりついて居るのだ。そして銃劍を皆の屍で埋めるのだ」中尉が負傷してから後の坂見分隊長の動作は一際目立つて來た、この分隊長だけはと思つた

自分の眼 の狂ひのないのが中尉にはうれしかつた、中尉は昨年の秋岡山地方で行はれた秋季演習に聯隊旗手としての最後の御奉公を終へ、すぐ動員とともに機關銃小隊長の命課を受けたがそれ以來目をかけてゐた坂見上等兵のこの働きは誰にでも自慢出來る吹聽出來る立派なものだと思つてゐたこの頃地物のない所の敵は射擊を繼續するだけで、突擊には移つて來ぬ、村を占領した敵もそこからは出て來ぬ、こぶ（丘）に足を掛けたのもほとんど射殺されてしまつた、こうしてもう五時間も戰鬪を續けてゐるのである、たつた十九名でしかも機關銃一銃を賴みとして、孤立無援の中に約一千に近い敵と戰ひ續けてゐる事實は日本の戰史にも恐らく類例を見ないであらう、もつとも相手が相手だからとも言へる、けれども弱いと見れば滅法强くなる支那軍である、しかも數に於て我に五十倍する優勢さである、これに持ち耐へ得た戰鬪振りは實際に驚嘆に値する、

松江部隊 である、平時は鈍重だと許せられてゐる、或はそうかも知れぬ、がこゝに山陰、健兒のねばり强さが活きてゐる。

大孤山の匪賊討伐　鞍山署員の活躍

上海事件の戰死傷者

佐世保に到着

【佐世保二日發】上海發佐世保軍港へ悼ましき戰死傷者を乘せて歸還の途に就いた軍艦は二日午前十一時半入港した、後部甲板上に安置された內山、近藤兩中尉以下二十一名の柩に對し中村佐世保鎭守府司令長官の禮拜あり直に記念會館に移し安置したが一方負傷者七十八名は午後二時海軍病院に收容し終つた戰死者の遺骸は記念會館にて午後二時より佛式に依る告別式後名切齋場にて茶毘に附し五日海軍合同葬迄同所に安置する事となつた

吉敦の奇病はペストでない

吉敦沿線地方に先般發生したペスト類似の傳染病については爾來滿鐵衞生研究所と長春細菌檢查所において培養試驗中であつたが、最近に至り漸く一種の菌を發見しこれについて動物試驗及生物學的檢查を行つた結果三日本病はペストに非ざることが漸く確定されるに至り極めて急激な流行性を有する傳染病なることも判明した但しこの菌が果して病源體なりや否やは尙不明であると

本庄軍司令官救濟資金寄附

一日午後二時本庄軍司令官は、趙奉天市長を招き貧民救濟資として金三萬圓を贈つた、市長は之をもつて目下閉鎖中の貧民公處を復活して貧民救濟に着手したが一般支那人は大いに感激し軍司令官の德を謳歌してゐる【奉天電話】

滿洲號獻金者

われ等の飛行機「滿洲號」の獻金に就いては三日午前中も左記の如く申込みがあつた

▲加越能鄕友會三百圓▲大正タクシー竹尾辰二五圓▲大連商榮組合代表三浦俊造五十圓▲不二亭中村喜一、森澤琴、駒見芳江山崎絹江十圓▲不二亭安藤フジ二十圓

相撲協會役員辭職

【東京二日發】相撲協會は二日午前廣瀨理事長、出羽海、入間川、高砂三取締役以下役員參集協議の結果取締役以下役員二十六名連袂總辭職に決定した

ホテル大會へ

大連ヤマトホテル支配人寺澤實叡氏は三日出帆うらる丸で內地に向つたが右は來る八、九、十日の三日間に亘り東京ステーションホテルにおいて開催される全國ホテル業大會に出席のためであるが出發に先だち語る

會議の內容は日本ホテル協會の邦人組織に關する件、並びに外人誘致の件で前者は他の旅館とホテルは少し趣きを異にしてゐるから當然考へねばならぬ事で後者は觀光局邊りも一生懸命にやつてゐるところだがまあダンスなんてものをもつと自由にやらする事なんか必要でせうね、歸りにはダンスホールを二、三見て來ます

井杉氏未亡人から感謝狀

曩に興安嶺に於て中村大尉と共に屯墾軍の爲め虐殺された井杉延太郎氏遺族に對して早川氏の手で弔慰金を募集し送附したが未亡人から左の感謝狀が來た

夫井杉延太郎が興安嶺の蘇鄂公爺府附近にて支那兵の手にかゝり非業の死を遂げました事に就き御同情下され早川正雄樣を通じて御鄭重なる御弔問と少なからぬ弔慰金を賜はり遺族一同御禮の申上げ樣も御座いません

一、弔慰文　一束

一、明治生命保險會社教育資保證書　二通（イ）長男延壽金五百圓十八歲受取、一時拂金額金三百四十五錢也（ロ）次男保金五百圓十八歲受取、一時拂金額金二百九十九圓也

一、現金　金一百七十七圓〇五錢也

旗揚相撲延期

【東京三日發】新興力士團の旗揚げ興行は前夜來の雨のため四日に延期された

安樂椅子

新任匆々ダンスホール談をたゝかわし八八の功德を說いた林警務局長その大マカな點で前の中谷局長とは違つた意味で頗る下のものに評判が好い。

……◇……

二日何の前ぶれもなく飄然と大連に出て來た局長實にアッサリした氣持ちで市中各方面を廻つて新任の挨拶を交したが、お伴を仰せつかつた道案內役もいつもと違つて肩がこらず喜んで居る。

……◇……

そのくせ林局長時局に對する關心は人一倍で飯島水上署長を經て最近の上海の情勢が知りたいと申入れたものだ。

……◇……

水上署でも「では最も新しい所を」と云ふので折柄入港の奉天丸事務長戶田氏に時局談を賴むこととなり事務長も大いに乘氣になり直にヤマトホテルに休憩中の林局長を尋ね在滬邦人の意氣込みから支那側便衣隊の暗中飛躍ぶりさては半天を焦がして紹々と燃えてゐる火災の有樣手に取る樣に捲くし立てたので林局長スッカリ滿足したと云ふ、

夫小森留吉儀奉天出張中扁桃腺膿瘍に罹り同地井上病院に入院中敗血症併發去る一月三十一日午後七時十五分遂に死去仕候間明五日午後四時途中葬列を廢し東本願寺に於て本葬相營申候
大連市吉野町三十三番地
妻　小森久子
親族總代　小森房吉
親族總代　瀨川甚太郎
友人總代　森長之助
友人總代　橋本興一郎
友人總代　新井宗治
友人總代　中原喜三郎
株式會社代表　藤田重政
株式會社代表　辻富雄

岡野正雄儀豫て病氣中の處養生不相叶二日午後三時死去致候に付此段謹告仕候
追而葬儀は本四日午後三時途中葬列を廢し聖德街齋場に於て相營み申候
昭和七年二月四日
男　岡野懋
親戚總代　坪井庸夫
親戚總代　津上善七
友人總代　堀內牛藏
友人總代　佐藤武雄

曙の鐘 (186)

倉田潮 作
河野想多 畫

海賊 (二)

よもぎは懷中電燈の灯でマリアの死體を照して見た瞬間に、思はず叫び聲をあげて、たぢたぢと後ろによろめいた。

それはマリアの死體ではなく、人間のたけほどもある大きい女の人形だつた。餘程上手な人形師の作つたものであるらしく、土によごれながらもなほ生けるが如く微笑をもらしてゐる。

「ふーん」と謎の男は何故か殘念さうに唸つた。「あけみの奴にからかはれたのだ」

マリアを殺したと見せかけ、またその死體をこゝに埋めると見せかけ、實は人形を埋めておいて、あけみが謎の男をからかひ愚弄したと思つてゐるのだらう。暫く彼は口惜しげに顏をしかめてゐたが「よもぎさん」と低い氣味の惡い聲で語り出した。「よもぎさん、マリアの死體を掘返さうなぞと、こんなところまであなたを連れ出して飛んだ失禮をいたしましたね。私は今までいろいろこの事件の祕密を探らうと全力を用ひて見たのですが、解りさうなところまで行つて何時もかう云ふやうに背負ひ投げを食はされるんです。今迄は駒太郎を殺したのもマリアを殺したのも、あけみだとにらんでゐたのですが、これでは改めて初めから考へ直さねばならぬことになりました」

「でも、これに力を落さずに、何卒私達の爲に今後も力になつて下さい。私達には外に誰一人味方はないのですから」

謎の男は默つて考へてゐた。夜更けの寂しさがしんしんとよもぎの體に迫つて來た。が、やゝ暫くして、その男は雜をもとのやうに土中に埋めながら、

「これで此の屋敷の犯罪を探らうとしたのは二度目だ」と獨り言のやうに云つた。「二度とも尻尾をつかまへてゐながら正體がつかまらないのか」

「二度と云ふのは」とよもぎはその言葉を聞きとがめた。「今度の事件で二度この屋敷に忍びこんだと云ふ譯ですか」

「いいえ、一度は私の十六の歳、もう二十年近くも前のことでしたよ。その時は妹のことで此の屋敷に忍びこんだのです」

「あなたの妹が何うかされたんですか」

「ええ」と彼は暫くまた默つて考へてゐたが、

「よもぎさん、この機會に私の名や素性を打ちあけませう」と決心したらしく云つた。「しかし、これはあなたを信じてあなたにだけ打ちあけるのですから、他言は決してしないで下さい。私は平津五三郎ですよ」

「平津五三郎」

よもぎは叫んで顫えあがつた。平津五三郎と云ふのは一年ばかり前新聞に毎日その名と恐ろしい其の兇行をうたはれてゐた一種の海賊の頭目だつた。部下には日本人五十名支那人卌名があり、主にカムチヤツカ近海を荒し廻つてゐたが、中にも最も殘忍を極めた犯罪はロシアの三千八百トンの商船をほだしたところ、その船員が抵抗したので數百名を慘殺して死體を總て水葬にふした事件である。日本の當局はロシアの抗議により平津五三郎を逮捕しようとしたが、何うしてもつかまらない。おそらく支那內地にでもさんざんしてしまつたのだらうと云ふことで、今日までうやむやに事件が葬られて來てゐるのだつた。ロシア側ではまたこの英雄的海賊を日本政府がわざと逃がしたのだと疑つてゐるとのことも新聞に出てゐた。

よもぎはやうやう驚きからさめて「あなたが平津さんですか」と以前の仕打ちを悔ひるやうな調子で云つた。「それであなたの妹の方と云ふと……」

「お杉ですよ」

「清島お杉さんのことですか」

「さうです」

「では、あなたは清島榮一さんの御兄弟なのですか」

「さうです、實は私の本名は清島五郎と云ふのです。榮一が駒太郎さんにいろいろ御世話になつてゐるさうですね」

よもぎは驚かずにはゐられなかつた。清島一家は大山の昔の主人で、德川時代には清島城の城主であつたとのことである。それが零落したので、お杉と云ふ嬌い長女が大山家に引きとられて、この屋敷でなくなつてゐることは駒太郎の口から時々聞かされたことがある。また其の死因が疑はしいとのことも併せて駒太郎に聞いたことがあつた。が、榮一に兄弟があらうとは──しかも、その兄弟が怖ろしい平津五三郎であらうとは夢にも思つたことはなかつた。

お斷り 本日の挿畫と昨日の分と取違へましたからお斷りいたします

Sow.

滿日俳壇

次回課題「春淺し」「殘雪」「蒜」

▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切二月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲原稿送り先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

けふの放送

大連 JQAK 二月三日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後五時四十分 ニュース
▲華語講座「テキスト第七十七課」滿鐵學務課秩父固太郎
(以下內地中繼六時三十分)
▲講演「國民防空の急務に就て」陸軍少將宇山熊太郎
▲節分追儺式豆撒式狀況(芝神明神社より)社司諏訪忠元
▲聲色「吹き寄せ」柳亭春樂
▲淸元「月花茲友鳥、山姥」淨瑠璃淸元巴榮太夫、同壽美太夫、同初榮太夫、三味線同正壽郞、上調子同榮治
(以下大連放送局より)
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「販馬計」第二席 連東俱樂部々員

第卅八回 滿日勝繼碁戰

湯淺氏一回勝二回目 先 湯淺唯二氏(先二級) 滿田俊介氏(二三級)

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

—【7】—

春子母堂 自ら文相を語る

今をときめく若き江戶ッ子大臣鳩山一郞氏の母堂春子刀自が自ら筆をとつて一婦人雜誌に所感を發表されたとしたら、それは實に珍らしいことと云へよう。「婦人世界」のみがよくなし得たところだ。幼年少年期にわたる敎育の苦心には、大きな敎訓と深い慈愛と、世の母も、人の子も、輝く文相仰ぎ仰ぐと共に、この自慢息子を大成せしめた「母の涙」を思はねばならない。是非御一讀下さい。

◎大衆の信賴を荷つて益々好評のライオン齒磨!

齒の衞生に關する知識が一般に普及されて齒磨や齒刷子の選擇が近頃きびしく言はれるやうになつてきました。併し實際にはまだまだ隨分見當違ひの選び方をしてゐる方があるやうです。

齒磨を選ぶのには、齒牙と齒の硬度、口腔粘膜、唾液、口腔常在菌との關係は勿論、その趣性の如何を考慮しなければならぬのですから、實に困難です。齒磨の選擇難に迷つてゐる際、ライオン齒磨の如き齒磨專門の會社で出來る優秀品のあることは、何といふ心強さでせう、ライオン齒磨の品質や效果や趣性がどんなに優れてゐるかは今いふまでもないでせう。三拾有餘年の經驗と專門的研究とは、齒磨に關するあらゆる問題を解決して其理想を實現し、如何なる點から見ても、非難の無いやうになつてゐます。

世人のライオン齒磨の品質を信ずることが益々深く、その賣行が彌々壓倒的に增加して行のは、全く偶然ではありません。品質の劣つた外國製齒磨を使ふ無識者が、だんだん減つてゆくのは、自然の現象とは云ひながら、國產獎勵の今日ば、喜しい事です。

中央公論 二月號

曩に新春劈頭、論文に將又創作に現段階最高の水準を示せる巨彈を投じて思想界や文壇に非常な衝擊を與へ、且つ大方よりの絕讚を博せる中央公論は、二月號に於ても亦、ヨリ一層の精緻と絢爛たる編輯陣を張つて、流石は我國文化の最高峰たり且つ天下の大評論雜誌としての偉容と貫錄とを首肯させるに充分である。

編輯目次を一瞥して先づ感じさせるのは、周到なる計畫の下になる時事問題の多彩なる把握である。第一に、卷頭論文「金再禁を批判する」(猪俣津南雄)あるは誠に時宜を得たる本格的大論文と言ふべきである。論旨透徹精緻、蓋し必讀すべきものである。此の外、世界的問題になりつゝある亞細亞モンロー主義批判(蠟山政道)あり、時事問題としては、曰く、犬養景氣はいつまでつゞく、解散の犬養內閣論、選擧買收物語、錦州問題、相撲爭議等々多彩を極めてゐる。尙、特ダネとも言ふべきものに「廣田大使暗殺陰謀事件」「東北農村・飢餓地帶を步く」(下村千秋)がある。共に最も關心を必讀すべきもので、前者は是に依て戰慄すべき國際外交の裏面を暴露し、後者は特派視察になるもので讀む者の肺腑を貫かずには措かぬだらう。

また好評のグラビヤの頁として今月はソウエート映畫大觀がある。徒らに名のみ聽き親しく接し得ぬソウエート映畫に對する渴望は是れによつて醫すことが出來やう。

創作欄の堂々たる顏觸れに伍せる新人嘉村礒多氏の「途上」は發表さるゝや俄然天下の視聽を牽き文壇に衝動を與へた力作である。

要するに、編輯の正確と豪華は中央公論の特徵であり二月號に於て最もその特質と意義とを闡明してゐる。敢て天下の讀書家に必讀を奬める所以である。(發行所・東京丸ビル五階・中央公論社・定價八十錢・郵稅三錢)

男女狂珍

珍本の一三〇内容袋入一組

本書の寫眞手附密書附本一組
本書の寫眞を拔き見本送附す

は三錢切手二十枚送れ
◉東京市牛込區合町六八一番

満洲日報

上海の支那軍今朝來猛然攻勢砲撃を開始
我本部と陣地を目がけて

【上海特電三日發】今朝に至り敵は攻勢に出て我偵察機に頻りに射撃を開始し九時半敵の第一、二砲彈は我陸戰隊本部裏に飛來し第三、四彈は我野砲陣地に續いて本部構內自動車々庫前に飛來敵の射撃漸く正確となつて來た、午前十時三十五分敵彈は又も本部自動車々庫に飛來す、我軍の石川第五大隊は本部へ發し鐵道線路に沿つた前線に出動した

【上海特電三日發】今朝十時三十分に至り彼我の砲戰は愈々猛烈となり敵の砲彈は唸りを生じて北四川路を超えて施高塔路の裏手の月酒家花園裏方面に飛來してゐる

【上海三日發】敵は一夜の中に破壊された陣地の陣容を立直せるもの〻如く午前九時五分俄然我本部と射的場の砲兵陣地目がけて砲撃を開始し、本部構內營庭に二發落下し、一は我砲兵陣地直前に炸裂した、我はなほこれに應射せず飛行機を以て敵狀を審らかに偵察して居る

我軍勇敢に之に應戰
敵の迫撃砲陣地に突入す

【上海特電三日發】今朝八時過ぎ我偵察機二機は各支那陣地を偵察後機上より機關銃を連發し敵を威嚇しながら引揚げた

【上海特電三日發】今朝九時半我陸戰隊は昨夜の戰闘に我野砲、迫撃砲の掩護射撃により東横濱路附近の陣地を構築せる敵の迫撃砲陣地に突入した

【上海三日發】敵の砲撃に對し九時半我野砲陣地は八サンチ〇門の砲門を開き砲撃を開始した、この掩護の下に我第〇大隊は裝甲車を先頭に右線の右翼から進撃を開始し迫撃砲も盛んに發射激戰中

【上海特電三日發】敵は更に眞如を距る六里の龍華に顧祝同軍および魯滌平軍現はれ江灣路陣地の第〇大隊および横濱路陣地の第〇大隊は午前十一時敵陣地を目がけて裝甲車を先頭に突撃を開始した、なほ顧祝同魯滌平兩軍は約五萬の兵力を集結し日本軍殲滅を企圖しつゝありとの報あり

滿洲事變費告示

【東京三日發】政府はさきに財政上の緊急處分を行つた滿洲事變費中外務省所管費三百三萬五千圓を七年度勅令に依り公債金を以て支拂ふ事の勅裁を經て二月三日これを告示した

わが空軍も遂に出動

【上海特電三日發】午前十一時敵彈はまたく女學校及び本部附近に落下、わが陸戰部隊危險に瀕し居留民は再び極度の不安を感ずるに至つたので午前十一時十分わが飛行機〇〇臺は上空に現はれ戰線の上を旋回し始めた

【上海特電三日發】午前十一時砲戰はいよく激しくわが方の砲彈は正確に敵の陣地に命中しつゝあるが敵の着彈も馬鹿にならず本部附近、施高塔路一帶に落下す、十一時十分わが飛行機〇機〇編隊現はれ敵の砲兵陣地上を旋回中である

【上海三日發】敵は我飛行機に對し各所から高射砲を發射したが我方は未だ爆彈を投下せず

空軍愈よ爆撃を開始

【上海特電三日發】わが飛行隊は我軍の一時後退を俟つて爆撃を開始すべく十一時二十分一まづ歸還したが一時沈默した敵は又また砲撃を開始し目下尙彼我砲撃を交へつゝあり、我砲兵陣地より撃ち出す砲聲は耳を聾するばかりである

【上海三日發】敵陣地偵察中の我爆撃機は天通安路方面の敵を爆撃することゝなり同方面に出動中の我第〇大隊は後退を開始した

【上海三日發】我軍は十一時二十分同濟路第五區を占據した

米の輿論緩和

【ワシントン二日發】上海事件重大化にアメリカ官民は極度の緊張を示したが、日本がアメリカに對し支那が上海增兵を止めるやう勸告されたしと要求し支那も亦戰闘を終らしむるやう行動されたしと要求したことが判明したので、その緊張もやゝ緩和された

上海事件費

【東京三日發】政府は今回の上海事件軍事費も緊急勅令案によることゝし目下大藏省と軍部間で協議立案中であるが多分三日中には計算上の案を得四日の臨時閣議又は五日の定例閣議において決定直に上奏樞府に御諮詢の手續きを執る筈である

上海調查費

【ジュネーヴ二日發】本日理事會は散會に先立ち上海事件調查委員會費用二萬五千フランを可決した

中立地帶案には同意 我軍の撤退には反對
三國提議と帝國の方針

【東京三日發】英、米、佛三國大使の申入れに接した芳澤外相は二日午後八時四十分より外務省に大角海相の來省を求め右回答につき協議を遂げ十時終了、回答は大體左の趣旨を含むと見らる

一、日本軍の軍事行動は租界警備の必要上爲したもので日本は素より事を好むものに非ざるを以て支那側が誠意を示し敵對行爲を中止するに於ては素より停戰の議に應ずるに吝でない

一、停戰の條件その他實行細目については現地の實狀に基き協議取決めらるべくそのためには現地において在上海關係國官憲に依る聯合委員會を設け熟議せしむべきものと認む

一、日本政府は英、米、佛三國政府の好意的努力を多とする、然し事態收拾の先決要件は支那軍隊の攻撃停止及び相當距離の撤退に存するを以て政府は支那側の誠實により各國の努力の有効ならん事を希望するものである

一、不增兵問題については今後支那が如何なる態度に出るか不明のため直ちに同意し得ない、

中立地帶設定案は主義上同意するが、日本軍は日本在留民が多數居住せる事實より撤退せしめんとするが如き案には同意し難し

尙芳澤外相の意向はこれ等の案の細目に就いては現地において爲すべきものであると觀てゐる

解決案の二大難點
華府外交界觀測

【ワシントン二日發】當地外交界では英、米兩國が日支兩國に提案せる平和解決案に對し日支兩國が何れも意外的な要求又は留保を爲さず又中立國の助力を以て交渉するとの二點が重なる難點であるといふ意見がある、何となれば日本は直接交渉を主張し支那は上海の損害賠償を要求するならんと考へてゐる

調停案とわが態度
大角海相語る

【東京三日發】英、米、佛の調停申入れに對し大角海相は二日夜芳澤外相との會見後左の如く語る

英、米、佛三國が日本の立場を聞いて調停を申入れて來たのは列國が次第に上海の事態の眞相を理解しつゝある事の證左と見らる、列國の擴大防止のため好意的努力をなしつゝある事は諒とせねばならぬ、しかし一切は支那の不法、不信に依るため支那の誠實が明瞭にならぬ限り支那の口車に乘るわけには行かぬ調停案は受諾出來るものと、出來ぬものとあり、具體的協定は現地の出先官憲の間において實狀に基き取極めればならぬ

米高官否定
强硬態度說

【ワシントン二日發】日支紛爭問題に對し英、米、佛、伊は提携して平和回復を要求する强硬態度を採るに至るならんとの報ジュネーヴより當地に入つたので一般に驚愕してゐるが米政府高官は右に關し

アメリカは聯盟加入國でない事を指摘し、紛爭當事國の招請あれば斡旋は辭せずが上海事件に就き努力してゐるのはアメリカ國民の保護のためで之以上の要求はしてゐない

といつてゐる

反蔣派の內政的策動
解決策一意見

【東京三日發】上海事件解決策として外務當局一部の間に有力化しつゝあるものは次の如きものである、卽ち上海及び共同租界に一定の區域を設定し支那軍隊を一切侵入せしめぬやう列國間に協定し支那側に承認せしめ同時に條約の形式をとり恒久性を持たしめる事、不可侵區域を工部局警察並に支那巡警を以て治安維持に當らしめるといふにある、殊に第十九路軍第一師は上海附近にあり、反蔣派の軍隊である孫科、陳友仁等の使嗾により戰闘行爲に出てゐるのでその目的は中央政府を混亂に陷いれしめんとする內政的策動に基くもので如上の案の制定は租界を內爭から救ひ出すもので列國は共同租界防衛のため須らく支那軍の撤退を迫るべきだと主張してゐる

佛伊も參加
英米調停案に

【ワシントン二日發】英、米兩國の上海事件調停案に對してはイタリー、フランスも參加するものと期待されてゐる

ドイツも列國支持

【ベルリン二日發】ドイツ政府は日支兩國政府に上海事件に關して列國の態度を支持する旨通告した、中立地帶設置には言及してゐない

英下院論戰
上海事件對策に關し

【ロンドン二日發】上海事件は英下院の問題となり獨立勞働黨のランスベリー氏は日本の行動に對し猛烈に非難した、卽ち「日本は海賊行爲を行つてゐるものだ」との暴言を吐き議長も耐へ兼ね同氏に對し友交國のことについて注意を促しサイモン外相は立つて

上海事件は共同租界に近接せるところで起り、ためにイギリス人の生命財産に危險が生じたのを見て重大なる關心を持つてこれを顧慮し政府は直に日支兩國に對し現狀を救濟すべく凡ゆる努力を致されたしと勸告し同時に居留民保護の手段を講じ軍艦バーウイツクは二日夜ケントは五日に上海着のはずである、政府はなほ本事件に關係ある他の諸國と密接なる連絡を保ち東京、南京兩政府に次の提議をなしその受諾方を强調した卽ち

一、今後日支双方共暴力行爲を止め
二、今後敵對行爲のため動員乃至如何なる種類の準備もなさざること
三、日支兩國戰闘員は上海における總ての接觸點から撤退
四、中立地帶を設け現地領事團の手で組織された機關でこれが警備を行ふ
五、日支いづれも優先的要求又は保留をなすことなく中立國の助力を以て日支間の未解決の紛爭を解決すべく即時交渉開始すること

政府は上海のイギリス國民を安全にする政策もなく[illegible]ことに注意を促した

と發表するや滿場歡呼の聲でこれを迎へた、續いてランスベリー氏は下院を解散するの動議提出を要求したが議長はこれを拒絕した

顏代表策動
聯盟筋の認識不足に乘じて

【ジュネーヴ二日發】支那代表顏惠慶氏は軍縮會議で各國代表が集つてゐるのを好機とし聯盟筋の認識不足を利用し日本に不利の決議でも作らせやうと何時總會召集案を持ち出すかも知れぬ形勢である聯盟筋では上海に對する認識不足のため昨今對日空氣は惡化しつゝある模樣である

臨時聯盟總會召集論擡頭

【ジュネーヴ二日發】日本海軍が南京を砲撃したとの報道當地に達し軍縮會議開會に際して聯盟方面に異常なる衝動を與へ會議參加の五十餘ケ國の代表者が全部來て居り適當な次第聯盟規約第十五條第二項による臨時聯盟總會を開き得るから卽時これが召集をなすべしとの意見が漸く聯盟にたかまつてゐる

第三艦隊幹部

【東京三日發】新に編成された第三艦隊は司令長官野村吉三郎中將の下に參謀長に前海軍潜水學校長島田繁太郎少將、[illegible]

野村中將適任

【ワシントン二日發】野村中將の第三艦隊司令長官任命に對しアメリカ海軍々令部長プラット提督は頗る滿足の意を表して語る

野村中將とは永い間の友人である、氏の任命は眞に適任で上海事態の處理を來し得る

避難邦人輸送配船

上海方面の時局の推移と共に萬一に備へ上海における軍部並に外務當局は避難民輸送計畫の一端として大連に對し大連、上海間定期船の日程を左の如く變更すべき旨通告あつた、卽ち五日大連出帆豫定の奉天丸は四日出帆に變更すると共に今後は入港日の翌日出港さす筈だと

山岡關東長官

山岡長官は政務打合せの爲め[illegible]

江口副總裁赴奉

江口滿鐵副總裁は滿蒙調查會その他の要務を帶び三日午後九時三十分大連發八木秘書役帶同奉天に向ふ七日內田總裁の歸連までには歸社すると

相川氏不出馬

鄉里長崎縣より立候補のため歸省した相川米太郎氏は今回出馬を謝絕した旨三日當地友人宛入電あつた

人事

▲中谷政一氏（前警務局長）東京府下西巣鴨町[illegible]へ轉居
▲那須皓氏（東京帝大教授）來連中のところ三日出帆うらる丸にて內地へ
▲橋本傳左衞門氏（京都帝大教授）同上
▲寺澤寛叡氏（ヤマトホテル支配人）同上
▲名越隆城氏（[illegible]）同上
▲十河信二氏（滿鐵理事）三日朝發奉天へ
▲村井啓次郎氏（大連火災海上保險會社長）宿痾の痔疾治療の爲め二日近藤病院に入院

蛇角 1932

驚に閑院宮殿下の參謀總長御就任、今又伏見宮殿下の軍令部長御就任を拜す、國家多事の秋、萬民只感激。
◇
上海皇軍勤勞、支那も停戰を申出づ、聯が分つたか。
◇
國際聯盟理事會二日突如開會、但し議する所は英米追從のみ、調查委員會より一歩進んだ程度の結論が出來さうな空氣。
◇
國際總會を開かんとの議あり、それこそ屋上屋。
◇
支那各地不穩中、漢口だけ平穩、省主席何成濬の意に由る。何は蔣派、上海で騷ぐのは廣東派、事件と內爭との關係推すべし。

『東亞の謎』休載

上海事態急迫に鑑み緊急聯盟理事會開會
英代表の發議によつて

【ジュネーヴ二日發】軍縮會議の開幕に先立ち突如二日午後二時卅分から日支問題に關する聯盟理事會の召集を見たのは**イギリス外務省の訓令**によりイギリス代表から發議せられたもので議長はタルヂュ氏（現陸相にして軍縮會議佛主席全權）と發表された、この突然の發表は**東洋における時局の緊迫を意味するものとして會場の內外は異常の亢奮を示した**、殊に軍縮會議のため**全世界五十五ケ國からの政治家が集まつてゐる最中**にこの理事會が開かれることは多大の注目に値する、而してこの理事會は午後二時半から開會され軍縮會議は午後四時半から開會と公式に發表された

悲しむべき情勢の終熄に新なる努力
英代表が熱心に强調

【ジュネーヴ二日發】聯盟理事會はイギリス代表の要請により日支の緊急事態を審議すべき緊急公開會議を午後二時三十五分から開會した、フランスの軍縮主席全權たるタルヂュ氏、ポンクール氏に代つて議長席に着き、この會議がイギリス政府の要求に基き召集せられたる旨を闡明し開會の辭を述べイギリス代表として出席した前藏全權の自治領相トーマス氏を[illegible]く、トーマス氏曰く

イギリス政府は極東の情勢をこのまゝ放置する事は不可能たと思惟するに至つた、來る日も來る日も最も重大なる新事件のニユースを齎して來る廣汎なる地域に亘る戰闘は實際上繼續的に行はれてゐるのである上海は今や小銃機關銃大砲及び飛行機等參加する連續的衝突の中心地となつた、此等は戰爭でないが他の凡ゆる點で立派な戰爭が現に進行してゐるのである、國際聯盟は斯くの如き事態に無關心たり得ない、若しこゝが持續されるなら聯盟規約も不戰條約も九國條約も遂に世界ゝ信を失ふべきは必然である、アメリカ政府が今回の情勢に關し聯盟と全然その見解を同じくしてゐる事は聯盟にとつて決して異議なしとしない、過去四ケ月間吾々は幸ひアメリカから滿腔の同感と支持を受けた、又最近に次の理事會は理事國に對し日支兩國に向つて外交上の意思表示をなす事により理事會の努力を支持すべき事を要請した、これに對しイギリス其他はこの理事會の要請に應ずる用意ある事を示したが、不幸にして此等の努力は今日迄成功に至らなかつた、茲においてイギリス政府はアメリカ政府と協力し現在の悲しむべき情勢を終熄せしむるため更に新なる努力をなすに決した、而して英米兩政府は他の各國政府も亦同樣の行動に出づべき事を信ずるものである、よつて英米政府は東京南京の兩政府に對し次の三項を要求する正式抗議を提出した

一、一切の暴力行爲並に敵對行動の準備を中止せらるべし
二、上海の日支双方共軍隊を撤退し共同界この上保障するための中立地帶を設定すべし
三、不戰條約並に十二月一日理事會決議の精神に基き日支兩國は一切の懸案解決のため卽時交渉開始せられたし

と高らかに澄みきつた聲で述ぶる處あり、トーマス代表は初め起つて演說してゐたが起立しその演說は聯盟の習慣でない事を悟つたが軈て椅子に腰をおろして諄々述べたてた、各代表はトーマス代表の演說の一語一語に熱心に傾聽し傍聽席の數百の目は一齊に我日本代表佐藤大使に注がれた、この時佐藤代表はと觀れば身ゆるぎもせず輕く顎杖をつきながら一切の感慨を面にあらはさず悠然と座した、その光景は實に聯盟初まつて以來の劇的光景である、更にトーマス代表は本日午後イギリス下院で外相サー・ジョン・サイモン氏のなした聲明の前段、卽ち一月廿九日上海日支衝突以來の事件並に外交經過及び上海におけるイギリス軍兵力及び香港からの增援隊派遣に關する文書を朗讀した後「東洋において毎日新しき事件が起りその地域また日に擴大しつゝある」と指摘し就中上海の事態は最も險惡であり聯盟はこれらの事態を認容すべからず」と繰返し强調した

休戰約束を破つて支那軍が挑戰
佐藤代表の聲明書

右演說を終るや佐藤代表はイギリス代表に答ふるには余が曩きに事務總長ドラモンド氏に提出しおける報告書を以てしたい

さて通譯に對し同氏が先週金曜日ドラモンド總長に提出せる書類を朗讀せん事を求む、よつて通譯はその長文の聲明書を朗讀する處あり該聲明書は上海事件の勃發以前の出來事を詳細に亘り記錄しかつ支那側が休戰の約束を破つて日本側へ攻撃した事及び支那軍大集中の狀況を詳說して日本側では支那が日本に對し總攻撃を準備しつゝあつたものと諒解せる事を指摘したものである

英米と同樣
佛の立場說明

右聲明書朗讀終るや佛代表タルヂュ氏はフランスの立場を左の如く說明した

フランスは東京駐剳大使及び南京駐剳公使に對しイギリスと同樣な抗議を日支兩國に提出するやう訓令した、又在上海フランス陸戰隊は增加されるであらう

伊代表の希望

次にイタリー代表グランジ氏はイタリーはイギリス政府と同樣の手段を執つた余は極東の形勢が速かに好轉せん事を希望すると述べ次いで

ドイツも協力

ドイツ代表フォン・ウイサッカー氏は

余は他の諸國が執つた手段を直ちに本國政府に報告しドイツも一致の行動を執る事さすべし

と述べ

支那代表挨拶

支那代表顏惠慶氏は比較的簡單な左の挨拶をした

本代表はイギリス、アメリカ兩國の執られたる手段に感謝するものであるが、イタリー、フランス、ドイツの三國も今や英米と行動を共にするに至れる事は本代表の欣快とする處で、今回の理事會の行動を全部詳細に南京政府に報告する考へである

支那軍は攻撃を中止し速に撤退せよ
佐藤代表聲明書要旨

【ジュネーヴ二日發】我佐藤代表は上海事件勃發以前支那側が休戰協定を侵害して日本軍を攻撃したる眞相と支那軍隊の上海集中事實を詳述した一月二十九日附聯盟事務總長ドラモンド氏宛の長文の聲明書を通譯して朗讀させたが、その內容は左の如きものである

當時支那は日本軍に對し總攻撃準備中であつたと諒解するがこの支那の態度は支那が從來聯盟に對し執り來つた手段とは全然矛盾してゐる、吾人は支那が速かに攻撃的態度を中止し、日本軍に對し多大の脅威を感せしむるが如き地域から卽時撤退せん事を要望するものである、日本外務大臣は英、米、佛各國大使に對し在上海のこれ等各國代表をして支那軍の攻撃停止と軍隊撤退を實行せしむるやう各本國政府から訓令あらん事を求めた

中立地帶創設には日本は承認しやう
佐藤代表意見を表明

次いで佐藤代表は

余は列國の努力が極東の形勢を一掃するに與つて力あるものと信ずる、而して上海において英、米、佛、伊その他の列國が執つた處置については余の本國政府により躊躇なく受け容れらるゝであらう、余は極東の特殊事情に鑑み出來得る限り列國と協力せん事を確言する、上海において中立地帶を創設する事は上海における日本の代表者が曩に支持した處であつて恐らく余の本國政府は滿足を以て中立地帶設定の件を承認するであらう、又上海に對する今後の處置につき聯合協議をなさんとの考へについては同地における形勢の特に緊迫せるに鑑み余の本國政府が既に提議した處であつて、余はイギリス代表によりかゝる提案を見た事を欣幸とする

と答ふる處あり

議長の結論

最後に議長タルヂュ氏は結論として

本理事會開催の目的卽ち本理事會は英、米、佛が執つた手段に合流する事は茲に確實になつた

と述べ午後三時廿五分散會した

世界不安の眞最中に一般軍縮會議開かる

【ジュネーヴ二日發】國際聯盟一般軍縮會議は世界不安の眞只中に開會代表派遣を届け出でた國は五十五ケ國**人類平和史上空前の大會議**である定刻五分前各國代表入場、午後四時三十一分議長ヘンダスン氏司會の下に開會、議場は何となくざわめき心なしか各國代表の顏にも何處か暗い影が宿され頻りに私語を囁き合つて落着かない風、日本全權代表はフランス代表の一列後議場中央三十八番目の議席に陣取り、**松平全權以下緊張した面持で終始微動だもしない**、**英米獨と主要國主席全權は何れも未だ姿を見せず**何んとしても寂しい、傍聽席は全く立錐の餘地なく瑞西國際都市を思はせる、ヘンダスン議長の聲は顫えを帶びて議場に反響、會衆に非常な印象を與へた、斯くて軍縮會議の劃期的開會式は終りを告げ軍縮の事業は茲にスタートを切つたが、その前途は必ずしも平坦でなく**議場の不安な空氣が行手の行路を**暗くしてゐるかの如くであつた

主要國の首腦缺席
出席者は豫定の約半數

【ジュネーヴ二日發】軍縮會議開會の本日迄に參着した各國代表總數千五百名、新聞通信記者五百餘名でこれを最初豫想された參加代表數三千名、新聞通信記者數一千名に比較する時は共に約半數を減じた譯であつて軍縮會議に對する最初の各國の意氣込みの減退を想像し得られる、殊に英、米、佛其他主要國代表部の實際責任者は一向に顏を見せず、殊に英米の如きは支那の狀態切迫に鑑み對日政策を練つてゐる有樣なので全權代表部は會議開會後直に聯盟に對し復活祭まで會議の大綱の目鼻がつかなければ日本は代表の一部を殘し全部引揚げる事を提議するに決した

名譽議長にスイス大統領

【ジュネーヴ二日發】ヘンダーソン議長の開會演說後軍縮會議は小憩、更に再開、議長よりスイス聯邦大統領モッター氏を軍縮會議名譽議長に指名する提議が提出せられ滿場異議なく贊成、モッター大統領も欣然これを受諾した

軍縮委員任命

【ジュネーヴ二日發】國際聯盟事務局長澤田節藏公使は軍縮會議軍縮方式委員會委員に任命された

支那調查委員

【ロンドン二日發】聯盟の支那調查委員會は愈々フランス汽船パリ號で三日フランスのシエルブール港出發アメリカ經由先づ東京に赴く事となつた

双城堡驛前で敵情偵察中の長谷部〇團長

重要軍事會議を開き皇軍哈市へ進軍開始
大島、平田兩〇隊が先發北行
多門司令部双城堡着

二日午前十一時十五分長春を出發した多門〇團司令部の第二回軍用列車は午後七時窰門を通過、同十時二十分陶賴昭を通過三日未明双城堡着完全に長谷部〇團と合致した　なほ最後の第三軍用列車は本日午前七時三十分窰門を通過したので同九時三十分中央に進行した第二軍用列車と相前後して双城堡に到着、茲に天野〇團を殘し主力部隊は双城堡に全部集結したので三日首腦部は双城堡に於て重要軍事會議を開いた結果大島　平田兩〇隊を先發として直ちに北行せしめるに決したもの如くである、なほ三日午前中長春を出發の豫定である天野〇團は軍用列車を組織して長春より直行、そのまゝハルビンに入城することゝならうさ【長春電話】

空陸相呼應して北進
司令部は双城堡に設營

長春に集結された飛行隊地上勤務員は二日長春發軍用列車にて二回に分かれ双城堡に出動したが、三日は有力なる航空機〇〇臺双城堡飛行場に出動進出せしめ、これを根據として三日午前外發隊としてハルビンに向け徒歩にて行軍した長谷部〇團大島、平田兩〇隊と連絡の上偵察に任ぜしめることゝなつた、多門〇團司令部は當分双城堡に設營、本日軍用列車で長春を出發する天野〇團主力の到着を待つて大擧在留民保護のためハルビンに前進する豫定である【長春電話】

哈市入城は明日か

【双城堡特電三日發】双城堡における長谷部〇團長は三日午前二時到着豫定の多門〇團長を待つて過般の同地における戰鬪狀況を報告した上いよくハルビン入城についての打合せをなし負傷兵を託して同日双城堡を出發北進する筈であるがハルビンの形勢が非常に急迫して在留邦人が一刻も早く皇軍の入城することを待つてゐるのであるから急遽北進を開始する、しかし途中では敵の抵抗があるものと豫想されるからハルビン入城は四日の正午頃になるだらう

天野〇團長春を出發

長春に待機中の天野〇團主力部隊は愈々三日午前十一時五十五分軍用列車を組織し市民の熱誠こめた萬歳を浴びつゝ北行した、之で長春に於て待機中の北滿出動部隊全部が出發したこととなる、また鄭大方面から派遣された自動車隊は三日午前十一時三十分長春着、同驛前に整列して待機中であるが、四日軍用列車に積んで北行重要任務につく筈【長春電話】

丁超軍哈市南郊集結
散兵壕を築いて戰備

ハルビンより長春憲兵隊に達した情報によれば現在丁超の軍隊は千名ばかりをりそれが乘合自動車を利用して頻りに舊ハルビン及び墓地方面に移動しつゝあり舊ハルビンには三ケ列車が押へつけてある、志士の碑の附近には散兵壕が掘られ不完全ながら鐵條網がつくられてゐる、また別報によれば丁超は二千餘名をハルビン、インテンダンスキ方面に集結防備を固めつゝある【長春電話】

剿匪軍應援を拒絶

吉林省長官熙洽氏は二日伊通駐屯の歩兵六百六十五團長朱力卒に剿匪軍應援のため出動せよと命じたが拒絶したので同團は反吉林軍に内通の嫌を生じ目下調査警戒中である、なほ同團は第二十三旅長李桂林の部下で何れも灰色視されてゐたものである、なほ吉林剿匪軍の本部は旅隊屯に移動した【長春電話】

蔡家溝窰門
戰死傷者

蔡家溝に於ける戰鬪に於て平賀〇中隊の名譽の戰死傷者氏名左の通り

戰死　山形縣東田川郡泉村大字荒川字水澤上等兵今井六十一

負傷　軍曹(山形)五十嵐丹吾、上等兵(同)相澤伊勢治、同(同)若生由松、一等兵(東京)森川治作、一等兵(山形)杳澤竹次郎、同(同)一江藤衛

また窰門における獨立守備隊芳賀大尉部下の負傷者は左の通り
一等兵(岩手)花坂儀平

雪降る北滿の荒野に
悲壯な告別式執行
双城堡戰死者を弔ふ

【双城堡特電三日發】去る三十一日双城堡における激戰で名譽の戰死を遂げた、四十三勇士の告別式が二日午後二時双城堡南方ロシア人墓地に於て執行された、長谷部〇團長、大島〇隊長以下全部隊が參列しさゝやか乍らいとも嚴肅な葬儀であつた、酷寒零下三十度の寒天に粉のやうな雪は北滿の荒野をかすめて降りしきり悲壯の極みである、靈前には戰友がせめてもの供物にと眞心こめて作つた粗末な造花が供へられ身をきるやうな凜烈な寒氣にも拘らず將士はその場を立ち去らうともせず今はなき戰友の前に額づき嗚咽の聲さへも洩れる、かくしてしめやかな告別式を終つたが將士の面上には復讐に燃える悲痛な決心の色が浮んでゐた

劃期的記錄を作つて
自動車隊双城堡着
落伍車もなく大成功

【双城堡特電二日發】二日午前七時半及び同九時半に長春を發した關東軍自動車隊は午後五時頃双城堡に到着したが輸送指揮官落合少佐は語る
一日に三十五里の道をしかも雪が降つて途中は道路もなく非常に惡い行程を走つたといふことは日本は勿論世界にもその例なき劃期的記錄をつくつたものである、これは軍事輸送の上からみて特別の强行軍である、しかも一臺も落伍したものもなく大成功であつた

昨夜窰門で敵兵撃退

芳賀大尉指揮の獨立守備隊第〇中隊は鐵道警備のため二十八日夜十時二十分長春發米朱子にて十七臺の自動車を捨てゝ徒歩にて二日午後六時半頃窰門に到着護路軍の逃走したあとの兵舍に假泊したところ支那側正規兵約四百名から襲撃を受けた芳賀大尉は僅か〇〇名で兵舍外に散兵せしめこれを猛烈に攻撃し撃退したわが軍の損害は負傷一名敵の損害は死體十、馬匹の死體四、捕虜六を殘して敵は暗の中に逃走した、同隊では敵が再襲撃の擧に出るやも知れずと二日夜は徹宵警戒に努めた【長春電話】

けさ窰門を出發

二日夕窰門で有力なる敵の正規兵四百名餘と交戰、之を撃退した獨立守備隊第〇中隊の於保〇隊は三日早朝窰門發、陶賴昭に向け出發、更に北進を續けると【長春電話】

双城堡の戰死者

三十一日双城堡附近の激戰に於て戰死せる氏名左の如し【奉天電話】

宮城縣黑川郡粕川村字粕川　一等兵　高橋　大作
同栗原郡若柳町字川北落江四二　上等兵　渡邊　芳治
同志田郡鹿島臺村廣永淵花　同　菅原　次男
同加美郡鳴瀨村四日市場字敷　一等兵　遠藤意雄名
同栗原郡有馬村一三三　上等兵　佐藤　勝雄
同男鹿郡女川町宮ケ崎二　一等兵　佐藤　盛
同栗原郡志波姫村大字姫鄉　上等兵　佐藤　文雄
同仙臺市二十人町一四七　一等兵　常松　重律
同遠田郡涌町六三六　一等兵　長崎　清一
同志田郡鹿島臺村廣永上庄下　一等兵　山谷　眞一
同本吉郡大島村四七　上等兵　小野寺盛男
同男鹿郡女川町尾浦　一等兵　小杉　忠吾
同栗原郡長岡村小野寺濠　軍曹　佐藤　七郎
同本吉郡十三濱村字崎山二三六　上等兵　西條　直一
砲兵一等兵　小玉　五郎

聖旨を傳達
山内侍從武官來旅

第一、第二遣外艦隊及び旅順無線電信所へ御差遣の山内侍從武官は三日午前八時三十分軍艦八雲にて旅順港外着久保田駐在武官佐藤無電所長北村見竹艦長倉永若竹艦長は直に挨拶のため八雲に至り、九時三十分八雲汽艇にて一同東港に上陸、碇泊中の第十三驅逐隊を實視、聖旨を傳達の上十時五十分旅順海軍無線電信所より一先づ水交社に至り晝食の上午後一時十分から關東廳旅順醫院陸軍衞戍病院入院中の滿軍入院患者に對し親く御慰問の聖旨を傳へ午後二時白玉山納骨祠に參拜同三十分ヤマトホテルに入つたが、同日午後六時から水交社に於て久保田駐在武官の招宴になる晩餐會に臨み陪賓として山岡長官大谷要塞司令官、林警務、日下内務兩局長、永山市長、矢澤衞戍病院長、渡邊關東廳醫院長を始め在旅海軍武官數名列席する

けさ撫順で
火藥爆發
三昧混和室

二日午前十時四十分撫順古城子火藥製造所第一號工場の火藥爆發し五間と四間の木造三昧混和室は一大音響と共に沖天高く舞ひ上り跡も形もなくふき飛んだ、急報により寺田署長以下現場に急行目下原因調査中であるが日支人各一名負傷者を出したのみで幸ひに被害僅少である、右に關して久保次長を訪へば
又やつたネ、もう之で炭礦が出來て以來四度目だ、三昧混和と云ふのは火藥は弱いが大變危險でネ、何とかしたいと思つてゐる作業にあれ程適當な火藥は外にないのだ一日半噸位の火藥を作るのだがあれ程のものが爆發したのに一人の死者もなかつたのは不幸中の幸である【撫順電話】

遼西の曠野に奮戰した
我勇士の遺骨歸る
けふまた悲しき船出

遼西の曠野を鮮血で染め名譽の戰死をした勇士等、戰史にも未曾有の壯烈極まる全滅を遂げた松尾輜重兵中尉以下廿五名、並に十倍する敵兵の頑强な攻撃に遭ひ無念たほれた不破少佐以下十五名、その他を併せて五十五體の遺骨は白木の小箱に收められ白布に包まれ戰友遺族に護られ乍ら折柄の朔北の風に吹かれ吹かれてそれぞれ懷しの原隊に向けけふ定期船うらる丸で旅立つた

出發にさきだち大連市主催の遺靈祭は午前八時半より埠頭待合室において神式をもつて行はれる寒さも物かは熱誠あふるゝ市民は續々詰めかけ香華と弔旗の林立した祭場は靜寂な最後の慰靈の神事が行はれ修祓降神型の如く齋主の祝詞があつて小川市長祭文を朗讀する悲しくも痛ましい亡き勇士等を弔ふ聲は刷々として祭場に滿ち並居る參集者の間に忍び泣きの聲が聞える次いで山岡關東長官の弔電、辛島民政署長の弔辭あり滿鐵よりは江口副總裁が鄭重な弔辭を述べる次いで和歌山、岡山各縣人代表立つて挨拶をなす、これに對し遺族に代り遺骨輸送指揮官井上三等獸醫は謹しんで答辭をのべ神官遺族市長その他順次玉串奉奠をなすこの間殊に第三十聯隊附歩兵大尉河野基英氏春江未亡人がいたいけな嗣子信夫君外三名の遺兒の手をひいて禮拜する有様にはなみ居る參列者が今更乍ら涙をしぼる

かくて九時半、森本運輸所長、飯島水上署長、松原第二埠頭長等の先導で靜かにかれて設備のうらる丸中甲板祭場に運ばれる、この時は既に岸壁構内、ベランダは埠頭關係一般市民その他で充滿され定刻、お別れのドラが悲しくひゞいて、見送り市民一同はお別れの國の鎮めの喇叭の音に襟を正し午前十時うらる丸は勇士五十五體の遺骨を護つて故國に船首を向けた【寫眞はうらる丸へ移される勇士の遺骨】

河野大尉遺族
も同船し歸國

亡き勇士等の遺骨と共に河野大尉遺族も哀しい氣持を抱いて故山に歸つて行つたが、春江未亡人は出發に先だち遺兒信夫君、佐和子さん、ミチ子さん、誠三君等の無心な樣に今更の如く感慨無量の態で語る
色々皆樣に御世話になりました今更何も申しますまい、只皆樣の御親切が身に沁みてうれしう御座います、今後はそれ等子供等相手に暮し亡き夫の名譽を汚さないつもりです、取敢ず原隊の高田に歸ります

自動車の運轉手を
乘客が拳銃で殺害
眞夜中の旅大道路老座山のトンネル東で兇行

二日午前七時頃旅大道路老座山トンネルを東方へ去る三十米突の地點に旅一〇一號自動車が西側の岩石へ衝突してゐるのを通行中の電信工夫が發見、車内を見ると運轉臺に生々しい血痕多量にあるので驚き直に黄泥川派出所へ屆出でた右の報に接し係官が現場に出張取調べたところ運轉手は該自動車より數米突の先東側の下水排口に後頭部に貫通銃創を受け卽死して隱匿されてある死體を發見した、右は旅順タクシーの運轉手王雲毅(二こといふもので二日午前零時過ぎ旅順迎□の自動電話から
俺は大連のタケウチといふものだが今から大連へ歸るから一臺至急よこしてくれ
との電話があつて出掛けこの兇行にあつたものである、既に兇行後數時間を經て犯人は逃亡してゐるので日本人か支那人か判明しない目下取調中

蟇口と時計を
强奪し逃亡
大體犯人の目星つく

右殺人事件の急報により大連署では小崗子、沙河口兩署に手配すると同時に千葉司法主任以下現場に急行したが、檢證の結果運轉手殺害の兇器はブローニング拳銃で被害者所持の金二圓五十錢在中の蟇口一個及び十八型銀側時計クローム鎖付き一個が强奪されてゐることが判明したので大連署では直に市內各質店に手配した、なほ犯人は不明であるが
この事件に先立つて二日午後九時半頃市內中央映畫館より大タクにて旅順に赴いた擧動不審の一日本人姿の者があり又同じく二日市內某質店に「自分は〇〇のものだが」と目下〇〇〇〇中の〇〇の者と稱して時計を入質したるものがある點、又ブローニング拳銃を所持してゐる點等より搜查の歩を進めてゐる

犯人搜査に
山狩り
被害者、支人

被害者王雲毅は日本語が極めて巧で支那人とは思はれない程であるから日本人運轉手と思はれ相當金を持つてゐると見られたのであらう、略犯人の見當がついたので旅順警察署では壯丁數十名を傭つて山狩に着手した

朝鮮警官來滿

滿洲警備の應援のため朝鮮總督府より派遣された警官二百名の內百二名は二日來滿し安奉線、鳳凰城草河口間の警備部署についた【奉天電話】

霞町の小火

二日午後十時ごろ市內霞町七番地橋本元一氏方より出火せるが家人が發見大事に至らず消し止めた損害輕少原因はストーブの傍に掛けてあつたオーバーにストーブの火が引火したものであると

高山署長夫人

安東警察署長高山勝司夫人醫子さんは豫て入院加療中のところ二日夜永眠した四日葬儀を行ふ由

萬歳亭の開店

今度伊勢町四四番に新らしく開店した萬歳亭は、當家獨特の調理に更らに念入の調味を加へ精々安價に會席さ仕出しを始める事になつた

天氣豫報
北西の風　晴一時曇　四日

各地温度
三日午前十一時　昨最低日

	三日午前十一時	昨最低日
大連	零下五、〇	零下六、四
旅順	同五、五	同五、〇
營口	同九、〇	同九、二
奉天	同九、七	同一二、〇
長春	同一一、一	同一三、九

けふの小△相場(十一時)
金百圓は一六四圓三〇錢

正誤　三日附本紙夕刊掲載大連機械決算公告中資産の部に於て什器二一四、一七六・五〇とせしは一二、六三〇・五六の誤植に付訂正す

武門血笑記 (43)

下村悦夫作　布施長春挿畫

紅蓮の焔 (三)

「おや、青馬の、お巫山戯ぢやないよ、よしておくれ、憚りながらお蓮は、お前に怒鳴られる程、耄碌はしないんだから」
「耄碌はしない筈だ、その色氣ぢや……」
「何だつて?もう一度云つて御覧それが、白鷺のお蓮に云ふ言葉かい?」
お蓮は、膝頭をぐいと立て直して、美しい三ケ月眉を、屹ッと逆立てた。
「何を……」
と、氣色ばんで怒鳴り立てやうとする六兵衞を、横合から
「まあ、兄貴、姐御も、靜かにしねえ」
「話は靜かにしたつて、解らあ、まあい丶つて事よ」
と、牛次と平六が、仲へ割つて入つた。
が、六兵衞は
「手前達あ、皆んな不服なんでござんすが……」
「姿の云ふ事を、聞かれえとお言ひなんだね?」
「まあ、そう云つたやうなわけで」
「ほ、ほ、ほ、お前達まで、そこいらの甚助のお仲間入りをしやうてえんだね」
「何にッ……」
と、血相を變へて立ち上りかける六兵衞を、後の三人が、
「まあ、まあ……」
「兄貴つてば」
「待ちれえつて事よ……」
と、左右から、無理矢理に引止めて、平六、
「ちや、姐御、御前さんごうしてもあの侍を離されえてんだね」
氣色ばんで、乙に絡んだ調子。
「くどい!白鷺のお蓮は、お前達の指圖は受けないよ」
お蓮は、叩きつけるやうに、齒切れの利いた含み聲。
「でなきあ……」
ドスの利いた含み聲。
四人は、いづれも懷中に含んでゐるらしい匕首の柄に、手をかけて、お蓮の周圍を取巻いた。
「ほッ、ほッ、ほッ田舍芝居の眞似ならよしてお呉れな、小娘ぢやあるまいし、相手は、白鷺のお蓮なんだよ、い丶かい、見な」
お蓮は、懷に入れてゐた右の手を、すつくり出すと、一握りの紙包を、手掌の上で、開いて見せた。
「この間中から、お前達の樣子が怪しいと思つてゐたから、肌身離さず持つて居た、懷鐵砲の火藥よ、ほんと圍爐裏の中へ投げりや、この家もお前さん達も、皆んな木端微塵になる迄さ、ほ、ほ、ほ…」
お蓮は、玩具のやうに、手掌の上でその紙包を輕く搖りながら、からくと笑つた。
「うつちやつて置け!女だと思つて、下手に出りや……」
と、猛り立つ。と、お蓮も、
「女がごうしたつて、六兵衞!」
と、眦を立てるのを、
「よしれえつてばさ……」
「こちらの云ふ事も聞きれえ」
「話はその上で……」
牛次と、平六に、龍圓まで加つて、双方を宥めた。
と、平六
「こ丶を、明日にもづらかるに就いて、あの侍を、姐御はごうなさらうてえのか、それを聞きてえ、てな事で、お前さんに來て頂いたのだが」
「妾しや、あの侍さんを、連れて行く、と云つたら、お前達ごうしやうとお言ひなの?」
お蓮は、眉の毛一つ動かさずに、すつぱりとこう云つてのけると、微塵も恐氣のない、活々と冴え澄つた、黑水晶のやうな美しい瞳で、ヂロリと一座を見渡した。
「そりや、姐御……兄貴待ちれえつてば」
と、平六、側から口を出さうとする六兵衞を、手で制して、
切れのい丶聲で、こう云ふと、すつくり立ち上つた。
と、續いて、血相を變へて立ち上つた平六、六兵衞、牛次、龍圓の四人。
「こう、待ちれえ、姐御」
と、平六、續いて青馬の六兵衞
「もう、姐御とは云はせれえ、こうなつたら、仲間の作法に從ふか

ハアマン　パテー社全發聲映畫ガーネットの描く港物語十卷寫眞は主演者酒場の女のツエルヴツリース孃と情夫のコルテッツ【常盤座上映】

毒杯に踊る女　ハアマン

常盤座上映

パテー社一九三一年度特作品映畫「ハアマン」(日本名毒杯に踊る女)十卷はタイ・ガーネット原作監督、エド・スナイアダ撮影、ヘレン・ツエルヴツリース孃主演、ノキリツプ・ホルムス、ジエームス・グレインス、ヘンリイ・スキート、ソカルド・コルテツツ、マジヨリイ・ランボウ孃らの助演で大連には馴染の薄い顏觸れであるが、ハバナ港のインチキ・カフエーを背景とした港物語でストオリイた彩るコメデイ・リリーフが素晴らしく效果的なので面白く見られる全發聲映畫である
物語は脱走して捕はれる闇の女から始まり、インチキ・カフエーに働く酒場の女同志の人情に惡漢やマドロスを配した愛慾の爭闘を描いたもので物凄い亂闘を最後にハピイエンドとなるロマンチツクなものである
主演者のツエルヴツリース孃やコルテツツ、ホルムスらはそれぞれ濃純な氣持を持つ酒場の女や惡漢や船乘の氣分を好演してゐるが、何といつてもこの一篇は愉快な二人の水夫に扮したグレインスとスキートの達者な藝に喰はれてゐる
このコメデイリリーフを活かした手腕はガーネットの老練な監督手法によるところであるがスキートとグレインスのやるギヤグがまたよく考へられてあつて少し氣になる程繰返してゐるが矢張りつり込まれて終ふところに觀衆の興味を狙ひ、また最後のハピイエンドへつなぐ物凄い亂闘シインの展開と相俟つて、そのメロドラマ的手法は立派に效果を示して大衆フアンの喝采を約束する獵奇的興味とマドロス氣分とコメデイを盛つた特異な港町の色彩を持つ作品である

噂話

杉村チエ子一行がいろくな經緯から豫定通り船に乘らなかつたので▲常盤座はその時の用意にとつておいた「ハアマン」を五日から上映することにプロを變更した▲この第一巨彈に次いで六日から中央映畫館は傳明の「榮冠涙あり」▲向ひの遊樂館はブレイガイドの後援で「市街」をいよく上映し▲流行語になつた同映畫の名セリフをそのま丶各館とも「惡く思ふなよ」とクリーンヒットを期待してゐる▲さてそこが「惡く思ふなよ」になるか寶館は小笠原雷音熱演の書入作品お涙頂戴映畫「白痴の兇殺し」で頑張り▲帝國館は「仇討以前」大日活は寛壽郎の「仇討双以緣」と久し振りで卍巴の混戰に入る

獻金琵琶大會

筑前琵琶旭會大連分會では來る六七日の兩夜六時から遊樂館にて軍隊、警察官獻金演奏大會を催すが會費三十錢で曲目左の如し

▲六日(土曜日)　四條畷百武美衣川吉久旭朋、坂本龍馬法練山龜井旭甲、彈丸(五絃)法慈山原旭和、橘中佐法本山綱本旭昇、小栗栖法堀山德重旭一、堅田落法過山廣瀨旭榮、安宅の關法洸山上地旭靜、羅馬の湮法擢山堀越旭幸、人柱法人山田中旭暘、常陸丸(四絃)法塔山大林旭遂、大石主[illegible]法慮山川原旭華、茶臼山法日山田中旭帥
▲七日(日曜日)　櫻田の泡雪吉川旭芳、菊水圓楣旭滿、小栗栖法塔山落合旭湖、西郷隆盛法魏山坂元旭暉、北條時宗法憤山加藤旭明、旅順の乃木大將法曄山和森旭勇、堅田落法暢山藤本旭嶺、玉の御聲法嚴山古内旭州、坂本龍馬法館山篠原旭芳、濱松城法秀山江崎旭友、淺茅の方法就山萱野旭成、東郷大將法哮山烟島旭岑、高松城法命山永島旭山

本社特選　新棋戰(其五)

香落　八段△花田長太郎
六段▲平野信助

【圖は七九飛迄の局面】

▲平野氏「持駒」銀歩歩

△花田氏「持駒」飛桂香歩歩

△五九飛　▲七三飛成
△九一馬　▲六六歩
△七三馬　▲同角
△七九飛　▲七二歩
△六四歩　▲六七歩成
△同金　▲六六歩
△六八金

【土居八段講評】△花田君は五九飛と折角の大駒を防戰のため打つては以下攻勢を採るに困難なるもしかも五九香打では敵に六六歩と打たれ見込ないので本譜の五九飛打は已むを得ない△但し七三馬と交換したのは如何強く指し切り模樣に導く方針の下に七四歩同龍、五五馬、同歩、三六歩と指す處である。

男女〇〇の毛虱をこつそり退治する秘法

入浴前にイマヅ蠅取粉を撒布して、すりこみ風呂にて洗へば、親毛虱は全滅します。尙卵が發つて居りますから五六日後、もう一度退治すれば完全にされます。一度に一錢以内の藥しかいりません。
尙イマヅ蠅取粉は、名は蠅取粉でありますが、毛虱ばかりでなく蠅は勿論。南京虫。蚤。頭の虱。蟎。油虫。衞生大掃除の際の虫退治。衣類書籍の虫除。犬猫の蚤・ダニ。鷄の羽虫。牛馬の虱・蠅・蚊除。庭木・盆栽の虫等、あらゆる家庭害虫を、ごく少量でわけなく全滅する、今津佛國理學博士苦心研究の、專賣特許藥であります から、各家庭にぜひ一罐は必要であります。到る處の藥店にて販賣但し效かぬニセ物あり、是非イマヅと御指定下さい。尙家庭害蟲の退治法は大阪西淀川區大仁本町三今津化學研究所が相談に應じます

滿蒙新國家と貨幣制度（4）

金か銀か＝經濟人に聽く

新國家の實體と過渡期の幣制

金本位、銀本位、複本位の得失 各人、各樣の見解

日本との關係では金本位がよい 中村長吉氏（石炭商泰順洋行主）概念としては銀が良いと思ふ、併し金本位銀本位といふも要は東北四省政權の成立如何によるものと思ふ、政權が日本の意思を尊重し日本の意思が充分徹底するものとすれば、無論金本位が良いと思ふ、だからこの問題を論ずる前に政權の決定的におちつくところを知らねば論ぜられない、金本位にすれば三千萬民衆が不便を感ずるといふ論があるが日清戰爭後の臺灣、日鮮合併後の朝鮮の幣制も銀より金に變へ、又留であつた樺太も金本位にしたけれども何等差支は起らなかつた、これと同樣に滿蒙の幣制も難しくは考へても結局政權さへしつかり日本と諒解されてゐるなら金本位にやつても差支へないと思ふ、又金本位は爲替關係からみても安全だから私は金本位を主張したい。

過渡的便法としての兩本位制 井上輝夫氏（滿洲製麻會社專務）今我々がこの席上に於て新國家の幣制を金本位或ひは銀本位と判定聲明するは多少誤つた考へに囚はれるかも知れない、金或[illegible]實した幣制を提唱したい、金にしろ銀にしろ先づ幣制の過渡期に存するものがなくてはならない、成程古澤さんの銀本位論もよく分る併し又我々日本人の立場も考へてみればならぬ、この過渡期たることを觀點におかねばならぬから總ては未知數である、だから私は此の過渡期の幣制として複本位制を主張する、現在滿洲には金本位制を採る滿鐵線が中央に通つて居りその周圍には奉票を發行するところがあるといふ有樣だ、この場合には金銀の利害得失問題に觸れず先づ充實した幣制確立を提唱すれば良いだらう、即ち差當り金銀兩本位を採り成行によつて過渡期の處置をなせば良いだらう。

村井啓太郎氏（大連商議會頭）さうすると井上さんの說は新に金貨銀貨を發行しそして金銀兩本位にするのですな。

井上氏 さうです。

恩田熊壽郎氏（市會議員）新國家に金本位制を採用するとして日本國家にそれだけの金貨があるのか、而も日本は現在金の輸出を禁じてゐるのだ、ロシアは滿洲に來た時何程かの硬貨を持つて來て信用を得たが日本は今までそんな例がない、金輸出禁止の日本の現況で金を持つて來て金本位に出來るか。

金本位採用は未だ無理がある 佐藤至誠氏（前商議會頭）古澤君から銀本位の意見を述べられたが私は大體同感である、金本位にせんとせばまだ無理がある、されば今日銀本位の方が良いだらう、井上君の兩本位論は今日まで色々考へてみたが實行なかなか難しい僕は銀本位に贊意を表する。

村井氏 銀行家方面の意見をきゝたいな正金、鮮銀としての個別的立場からでなく國家的見地からの意見をきゝたい。

當面の制度は銀本位か兩本位 小林和介氏（大連取引所長）要するに新政府の本體が我々に判らないので幣制問題についても何とも云へない、この新政府の本體をきゝたいものだが草創の折柄滿洲には民衆を安んぜしめる善政を布かねばならず之れには當面兩本位か又は銀本位が必要ぢやないですかな＝つゞく＝

東拓の米資金貸出高增加

五百萬圓に垂んとす

【京城三日發】本年度に於ける東拓會社の米穀資金貸出額は最初三百萬圓と見積つてゐたが其後各手持筋が先高を見越し賣吝んで手放さず低資の融通を申込むものが增加した結果最近の調査によれば總額の金融を合せて五百萬圓に垂んとし本年度東拓低利資金受入額三百萬圓を超過すること二百萬圓の多きに達するの狀況である

連鎖商店の更生策 先づ人の和に努む

新改組案は未だ成らざるも局面の打開に奔走

川崎連鎖商店支配人は就任以來、美川前支配人時代立案された例の改組案につき巨細の點に亘つて檢討を遂ぐる傍ら、從來該案を實現し得なかつた滿鐵當局の意旨を知ることに努力しつゝ更生案の具體化を急いでゐるが未だ內定を得るに至らない、而して氏はかくの如き案を一般に承認せしめ堅實に實行するには、從來連鎖街の致命的缺陷とされてゐる人の和を得ざることを始め協力一致、局面打開の道に進むのが必須の前提條件なりといふ確信のもとに就任以來、無限責任社員有限責任社員の分ちなく個別的に意見の交換をなし極力團結融合を圖つてゐたところ漸次その機運が濃厚となつてきたので改めて二日同社事務所樓上において役員全部の參集を求め、宮本代表社員より挨拶ありたるのち、川崎支配人は三時間に亘つて諸般の業務狀態を報告し、事務整理就中徵收事務刷新の緊急なる所以を力說して社業發展に關する所見と決心を披瀝した、これに對し各員も交々立つて商店街の繁榮に全力を注ぎ協力一致目下の不況打開に邁進すべく意見を交換した、而して同社はその後、出資金拂込の不成績、債務金利の昂騰などに相當惱みもあるも右の如く人の和を得つゝある傾向は同社として面目一新されるかたちにて將來かち得る有形無形の收穫は少くなからうと期待されてゐる

對歐、對米共に海運界不振

上海事件惡化で商談手控へ 臺灣九州向けは旺盛

大連港を中心とする一月中の海運界を概觀するに先づ

近海方面 では大型船の遠洋出動による近海船腹の漸減により運賃市況は緩漫ながら硬化し來つたが、內地向特產物の取引は銀高のため商談はしからず辛ふじて前月並の運賃を維持して船腹を滿たす程度に過ぎなかつた即ち阪神石炭百斤につき五錢、袋物六錢、京濱各一錢高、臺灣、九州方面は比較的に俏動きも旺盛である、臺灣石豆粕七錢、袋物八錢、九州方面は各一錢高を示した、次ぎに

歐洲方面 は前月末に於て市況稍強かりしも爲替の變動甚だしきため商談容易ならず今月に入るも依然商談は見送りの狀態で定期船腹も從つて過剩を告げ賃率も漸次軟化の傾向を示し月初近物二十志、先物二十一志を唱へたが月央各十九志、月末に至るや新米の手渡に伴ふ市場の不安人氣等により賃率は更に軟化し十八志を唱へて尙且つ商談皆無の狀態にある、次いで

米國方面 に於ては市場運賃率には何等の變動なく依然雜穀運賃は二弗七十五仙を維持してゐるが滿蒙問題及び上海事件に起因する日米間の空氣險惡なるため一時的ながら米國向商談手控への方針をとる荷主あるため取引極めて閑散裡に越月した

上海向け撫順炭陸揚げ不能となる

積出し貨物の仕向け先を變更 當分輸出杜絕せん

撫順炭の上海輸出は例の抗日會等の日貨排斥運動により妨害され特に支那人相手の商談は昨年來殆ど杜絕のまゝであるが主として同地の外人方面との取引は殆ど事變前と變らずこれが荷役なども順調に行はれてゐたところ先月末來同地における**日支間の關係漸次險惡となり一日に至り埠頭の荷役苦力が一齊にゼネストを開始した**ので外人筋との既約定品を積み込んで同地に入港した滿鐵撫事部の天山丸の積荷は陸揚げ不可能となつたが撫事部では取敢ず應急處置としてこれを內地市場に振向け更に上海への航行途中にあつた昭光丸（約定品積）も朝鮮仕向に變更するのやむなきに至つたが**日本炭、支那炭を問はず今後石炭の上海供給は荷役不能のため時局の安定せざる限り當分文字通り杜絕するの外なきものと觀られてゐる**なほ撫事部輸出課上海出張員白岡一郎氏は家族を既に內地に送還し近く本社に引揚げる筈

小賣物價騰貴す

大連一月の狀況

關東廳文書課調査＝大連における一月分の小賣物價概要（十五日現在、日用品三十七種）を示せば前月に比べ五分一厘騰貴したが前年同月に比ぶれば尙六分七厘の下落に當り、昭和五年一月に比ぶれば指數七六・二にして二割三分八厘の下落を示してゐる、騰落品目並に類別指數左の如し

▲騰貴十一種 白米（檢查一等、無檢查一等）鷄肉、鷄卵、澤庵（滿洲物）醬油（龜甲萬、滿洲物）白砂糖、清酒（白鶴）、晒木綿、モスリン、カタン糸（外國物）鋼印、毛糸（內地物中太）、蒲團綿、木炭

▲下落一種 煉乳

▲保合二十一種

類別指數（對比百）

	前月對比	前年同月對比
食料品十一種	一〇六・八	九六・一
調料九種	一〇三・三	九〇・七
飲料及嗜好品八種	一〇〇・五	九一・一
衣料品七種	一〇六・二	九七・八
燃料二種	一〇三・三	一〇三・七
總平均三十七種	一〇五・一	九三・三

上海の外銀休業

支那銀行は小額兌換 日銀側は臨機措置

【上海三日發】支那大銀行は臨時紙幣を兌換したので一般兩替店も五弗程度の兌換に應じ中國銀行のみは二百弗を限度として兌換した又外國銀行は時局の現狀に鑑み營業の繼續困難として一時休業することゝなつたが日本側銀行は日本人取引先に對しては臨機便宜を圖つてゐる

株市場落つく

【東京三日發】上海事件に對する英米の抗議を傳へ異常な衝動を受けた株式市場は今朝一齊に落付を示し新東は小十圓方引戾し其他諸株もそれぞれ引戾した

北票炭坑に五萬元

湯玉麟が提供

北票炭坑は二百萬元前後の資本金で經營されてゐるが一月末湯玉麟は同會社に對し同炭坑の保護を名目として五萬元の提供方を申込んで來たので民間株主連は協議の結果その申込に應じたと傳へられてゐる

日滿貿易の伸暢と輸入組合の立場

對策硏究機運の擡頭

全滿輸入組合員を中心とし日滿貿易といふ立場より

▼…滿洲に おける仕入並に配給系統を大觀すれば左の三に大別される

一、滿洲向き商品を內地より輸入し專ら華商側に捌く卸商組合員

二、內地より日本人向商品並に支那人向商品を輸入し、前者は小賣邦商に卸し、後者は華商に捌く卸商組合員

三、日本人向商品を取扱ふ所謂在滿小賣邦商にして一部は內地より直接仕入れ、一部は前揭（二）に相當する卸商より仕入れて、專ら邦人に小賣する小賣組合員

即ち輸入組合はその仕入並に配給系統による組合員種別において相當複雜してをり、その利害關係は必ずしも一致せず、從つて組合の

▼…使命こ する日滿貿易の方策を最も適確有效にめぐらす上において遺憾の點が少くないと而してこのことは從來識者間では多少指摘されたことがあるが、中村輸組常務理事は夙にこの點を重視し、日滿貿易の眞の伸暢を期するには、この見地より何等かの對策を講ぜねばならぬとしてゐる、然し未だ多くは硏究時代を脫せず殊に六七月の候に開催される滿洲輸入組合聯合會ではこの問題を俎上に上すべく、その機運の促進は當分望まれない狀態にあるが

▼…聯合會 としては早晚、南滿三港並に奉天、ハルビンなどに相當存在する卸商組合員の意見交換を求め、その打合せによる代表者を集めて協議することにより、硏究を一步進めたいといふ希望を有してゐるので漸次、對策硏究の機運が擡頭し來るものと思はれる

奉取信託總會

配當七分案可決

奉天取引所信託の第二十一期株主總會において昭和六年下半期營業報告貸借對照表、財產目錄、損益計算書は原案通り可決、其利益金處分左の通り可決（配當は七分）取締役吉川康氏辭任につき經衡委員を舉げ藤田九一郎氏當選取締役慰勞金贈呈の件は重役に一任となつた

利益金處分案

一、金八萬二百七十一圓八十一錢

一、當期總益金 金六萬五百四十二圓五十六錢 當期總損金 差引金一萬九千七百二十九圓四十五錢 當期純益金

一、金五千二百三十六圓九十八錢 前期繰越金

合計二萬四千九百六十五圓二十三錢 此れを處分すること左の如し

一、金一千圓法定積立金

一、金二千圓命令積立金

一、金五百圓社員退職慰勞金

一、金一萬七千五百圓株主配當金

一、金一千九百圓役員賞與金

一、金一千九百六十六圓二十三錢 後期繰越金

公共機關の會議日取

十五日に延期す

市役所、商工會議所、居留民會等全滿四十九公共團體が大連に會合し滿蒙における重要問題を討議することは既報の如く來る十一日に開催される筈のところ當日は各團體において差支あるので日取を十五日午後一時に延期、場所も大連商工會議所樓上に變更された

不渡手形增加

大連手形交換所調査によれば一月中の不渡手形は十三名十八枚一萬三千六百九十二圓五十八錢にして前月に比すれば四名五枚三千五百八十三圓五十八錢の增加を示してゐる

鮮銀券發行高

【京城三日發】二月一日現在

發行高 九一、九五五、三二〇

正貨準備 [illegible]

保證準備 [illegible]

錢鈔市場出來高

錢鈔市場の一月中における出來高は定期二億六千四百六十九萬圓、現物一千二百九十四萬圓にして前月に比較すれば定期四千十八萬圓、現物四百五萬圓を共に減少し、前年同月比較においては定期七百九十萬圓を增し、現物二千六萬圓を減じてゐる、なほ月中最高最低相場は定期において最高七十四圓十錢（四日）最低六十二圓四十錢（十八日）である

萬塵

◇…過去數年間に亘り業績不振の滿洲事業界の前途は遠からずして在滿企業界の不安の影を投げかけてゐた在滿工場は滿洲事變以來面目を一新し前途に光明を認められるやうになつて來た

◇…殊に最近上海事變で上海物の供給が杜絕したゝめ滿洲の需要を一手に占めるやうになり取引活況を呈し既に三四月物まで約定濟さである。

◇…之は一時的現象であるとしても直に在滿纖業界を樂觀する譯には行くまいが新國家の建設に伴ふ移民の增加は消費能力の增進となり纖系布の如きは益々需要を增して行くに疑ひない。

◇…隨つて在滿企業界が過去の事績のみをみて卜することは大なる違算を生ずるであらうことを內地企業家に認識せしむる必要があらう。

埠頭在庫貨物

1月26日 （單位噸）

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	186,405.4	178,880.0
	非混保		
	白眉豆	13,085.7	
	青豆	3,374.0	
	合計	202,865.1	178,880.0
小豆		5,250.0	8,718.8
吉豆		2,280.5	2,093.8
高粱		34,481.8	11,812.0
包米		5,233.6	2,320.3
大米		3,757.6	621.6
小米		1,190.8	755.2
麥子			16.3
蕎麥		2,128.8	2,015.1
[illegible]麻		429.6	6.4
麻子		311.3	92.0
小麻子		964.5	230.3
蘇子		2,356.9	2,784.0
落花生		11,102.6	7,526.5
雜穀		1,380.5	2,127.1
豆粕		109,075.2	29,284.6
餅粕		604.9	217.6
獸骨		154.1	152.7
豆油		1,603.1	842.2
其他ノ油類			
麥粉		1,549.3	10,829.0
燒酎			
セメント		410.9	1,187.8
鐵子		5,795.6	634.5

市況（三日）

錢鈔

日米ボンヤリ 當市弱保合

今朝日米爲替は昨日八分の七纜騰の機に先き第一回第二回とも三十五弗八分の七と四分の一安、日米は六十八仙高の三十六弗十八仙を報じ、當市全然舊正休日氣分にて弱保合を呈す、銀塊は倫敦、紐育とも八分の三安、孟買八分の三高、滿洲申出來不申、滿洲煙六十七兩八〇大洋百二圓九十五錢

◇定期前場（單位錢）寄付 高値 安値 大引 期近 [illegible] 出來高期近 百二十二萬圓

◇現物前場（單位錢）銀對金 銀對洋 金對洋 十時 [illegible] 十一時 [illegible] 出來高（銀對金）十三萬一千圓（銀對洋）三萬八千圓

株式

特產市場休會

內地株强調 五品反撥

北濱定期の寄は大株同事、大新五十錢高、鐘紡八圓六十錢安、東新は百五十七圓臺の見送りに寄りアト六十圓臺を好調を入れ當市の五品は一圓四五十錢乃至二圓高、新豆四五十錢高、錢鈔七八十錢高と反撥し東新は寄三圓高、引八圓高と反撥し滿鐵新も小一圓高と引締つた

◇定期・前場 銘柄 當限 先限 新豆 [illegible] 錢鈔 [illegible] 五品 [illegible]

◇延取引（單位十錢）銘柄 寄値 高値 安値 大引 五品 [illegible] 新豆 [illegible]

滿鐵株（弱保合） 東短前場 滿鐵新株 三十圓 大阪現物 滿鐵舊株 五十九圓

○爲替及受渡日步 錢鈔 氷新 東新 鐘新 滿鐵新 五品 新豆 錢鈔 永新 東新 [illegible]

株 前日突風的な大嵐で七八圓五品は十圓方の暴落をみせたがけさは內地當市共嵐の後の靜けさと言つた形である▲即ち北濱定期の寄は鐘紡鐘新纜落乍ら引は急反撥を示し東新も百六十二圓臺に返した▲當市もこれにつれて五品は二圓摑み新豆錢鈔も小一圓高と引締り▲前場引後東京の五品六圓臺を入れて後場は更に戻しそうな氣配さなつた▲昨日の下げで五品の玉整理も可なり出來たであらうが總株數の六割以上も東京と當市で喰合つてゐるから未だ灰汁拔けしたとは思はれない

銀 材料も大したことないが▲何分すつかり舊正休會氣分なので場況冴へず弱含商狀に終つた▲それでも邦人マバラ筋は時局が時局なので▲全然市場を一時忘れる氣にもなれないさ見えて一時間の立會としては相當商內彈んだ▲一面場立も舊正前後の臨時開市には極力反對してきたものだが▲今朝の模樣を見ると意外に多數入場してゐり▲この調子だと舊正休日の短縮も案外成績がよいやうで結構なことだ

株式出來高（二日）

定期 五、九八〇枚 延取引 六、二五〇枚 合計 一二、二三〇枚（新記錄） 早渡手形 四、二八〇枚 金受額 九五、一五五圓 金額 二、〇〇〇枚 早 四二、六三〇圓

地場はマバラ筋の手仕舞及び新規買で相當商內をみた

銘柄 約定期 値段 棚數 福助 四月限 一三八四 一〇 同 五月限 一三九七 四〇 同 六月限 一四〇四 二〇 同 七月限 一四三九 五〇 同 一四〇六 四〇 出來高 九百二十桶

商品

綿糸反撥 **麻袋休會**

●麻袋 當市は舊年末で市場休會產地は青筋同事纖が八分の一安爲替四留比高當市內氣配は現二十八錢五厘二月二十七錢五厘三月二十六錢四厘四月二十六錢五月二十五錢八厘賣唱

●綿糸 米棉現物二十ポイント安先限十八九安を入れたが大阪三品は各限二三圓摑みの反動高を示し

糸 米棉情報は目星しい買ひ物がないのと實需筋の賣り及手仕舞ひ物が出て市況引緩んだとあり▲現物二十ポイント安先十八九安を示したが大阪三品は前日急落の反動で各限二三圓摑みの反撥を入れ▲當市はマバラ筋の手仕舞ひと新規買で商內活況を呈した▲三品は人氣一本の相場であるから目先株式次第に動くことにならうが結局上海時局の推移如何に左右せられることにならう

市場電報

銀塊及爲替 倫敦銀塊 一九片八分の五 同 先物 一九片八分の五 紐育銀塊 三元仙八分の七 孟買銀塊 [illegible] スチール [illegible] アナコンダ [illegible] 英米爲替 [illegible] 米日爲替 [illegible] 米支爲替 [illegible]

棉花 ●米棉 現物 [illegible] 三月 [illegible] 五月 [illegible] 七月 [illegible] 十月 [illegible] 十二月 [illegible] 一月 [illegible] ●印棉 ベンゴール [illegible] ブローチ [illegible]

大阪期米 當限 中限 先限 前場寄 前場引 [illegible]

東京期米 當限 中限 先限 前場寄 前場引 [illegible]

神戶期米 當限 中限 先限 前場寄 前場引 [illegible]

大阪株式 銘柄 株新 大紡 鐘紡 鐘新 日糖 前場寄 前場引 [illegible]

東京株式 銘柄 東株 東新 五品 豆新 前場寄 前場引 [illegible]

大阪綿糸 限月 前場寄 前場引 [illegible]

大阪棉花 當限 先限 寄付 大引 [illegible]

橫濱生糸 限月 前一節 前二節 [illegible]

印度麻袋 纖筋直積 青筋直積 爲替相場 [illegible]

爲替相場

鮮銀（金勘定）倫敦向電信買 紐育向電信買 上海向電信買 同 賣 日本向電信賣 同十五日拂買 [illegible]

金 銀 **手形交換高**（三日） [illegible]

奧地市況

錢鈔 奉天（現物）（先物） 奉票 大洋票（定期） 開原（當限）（先限） 安東 鎭平銀（當限）（先限） [illegible]

各地特產發送高 ▲開原 大豆 三六車 高粱 一車 豆粕 一一車 雜穀 一車 ▲公主嶺 大豆 三車 高粱 二車 豆粕 一車 雜穀 一車 ▲四平街 大豆 一六車 高粱 三車 豆粕 [illegible] 雜穀 二九車 ▲長春 大豆 二一車 高粱 三五車 豆粕 一〇車 雜穀 三二車